

aprilia製品をお選びいただきありがとうございます。

このマニュアルは、車両を正しく安全に楽しんでいただくために作成されました。初めて運転される前にこのマニュアルをよくお読みください。本書には車両を使用するために必要な情報やヒント、および注意事項が含まれています。また車両の仕様と装備も詳しく解説されており、これをご覧になればaprilia製品をお選びになったことに満足していただけるでしょう。車両の特徴を理解して長くお使いいただくためにも、本書のアドバイスをとお守りください。このマニュアルは車体構成の一部分とみなされ、中古販売の際にも車体とともに販売されます。

# ATLANTIC 250 i.e.



このマニュアルには、車両の使用方法が分かりやすく述べられています。メンテナンス作業の説明や、aprilia正規代理店またはワークショップに依頼していただく定期点検についても記載されています。本書には簡単な修理の方法も述べられていますが、特殊工具や専門知識を必要とする修理については詳しく記述されておりません。そのような修理が必要な場合は、aprilia正規代理店またはワークショップにご依頼ください。



#### ライダーの安全のために

これらの警告事項を厳守しない場合、大きな危険をもたらす危険性があります。



#### 環境保護のために

自然環境に配慮しながらモーターサイクルを使用するための事項が記載されています。



#### 車両保護のために

これらの警告事項を厳守しない場合、重大な損傷をもたらすだけでなく、保証対象外になります。

上記の注意事項は大変重要です。これらは本書の中でも特に注意して読むべき箇所を示すために使われます。それぞれの記号は重要度をすぐに見分けられるように、ご覧のような特定のシンボルで表現されています。エンジンを始動する前に、このマニュアル（特に“安全運転のために”の章）を注意深くお読みください。ライダーと周囲の人の安全は、ライダーの反応の速さや敏捷性によってのみ守られるのではなく、車両とその能力をどれだけご存知であるか、安全運転のルールに関する知識によっても左右されます。安全のために、車両についてよく理解して安全運転を心がけ、路上での運転をマスターしてください。重要 このマニュアルは車体構成の一部とみなされ、中古販売の際にも車体とともに販売されます。



# ATLANTIC 250

i. e.

The Aprilia logo, consisting of the word "aprilia" in white lowercase letters on a red rectangular background.

目次

## 目次

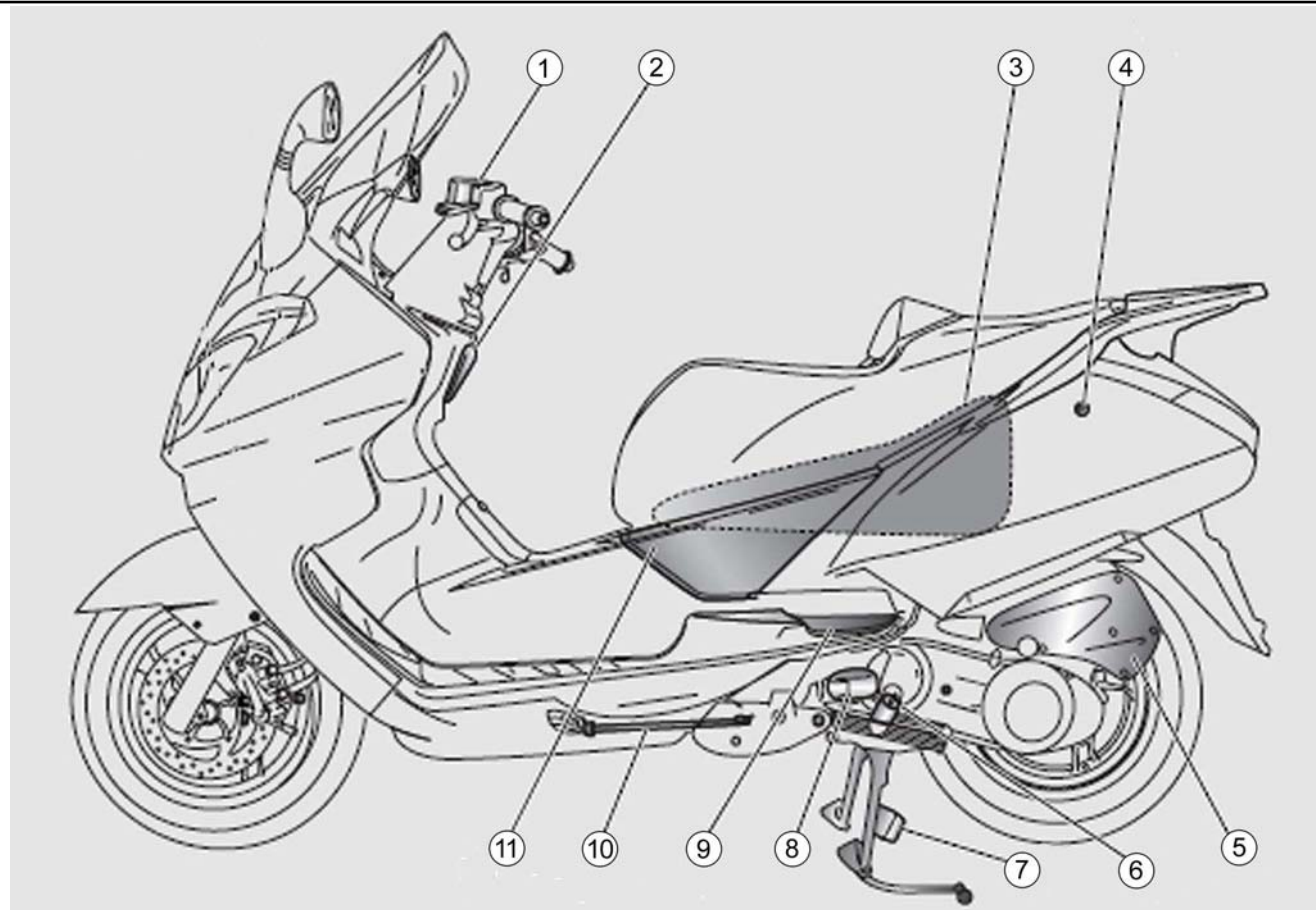
章 01	車両
章 02	用途
章 03	メンテナンス
章 04	諸元
章 05	メンテナンススケジュール

# ATLANTIC 250

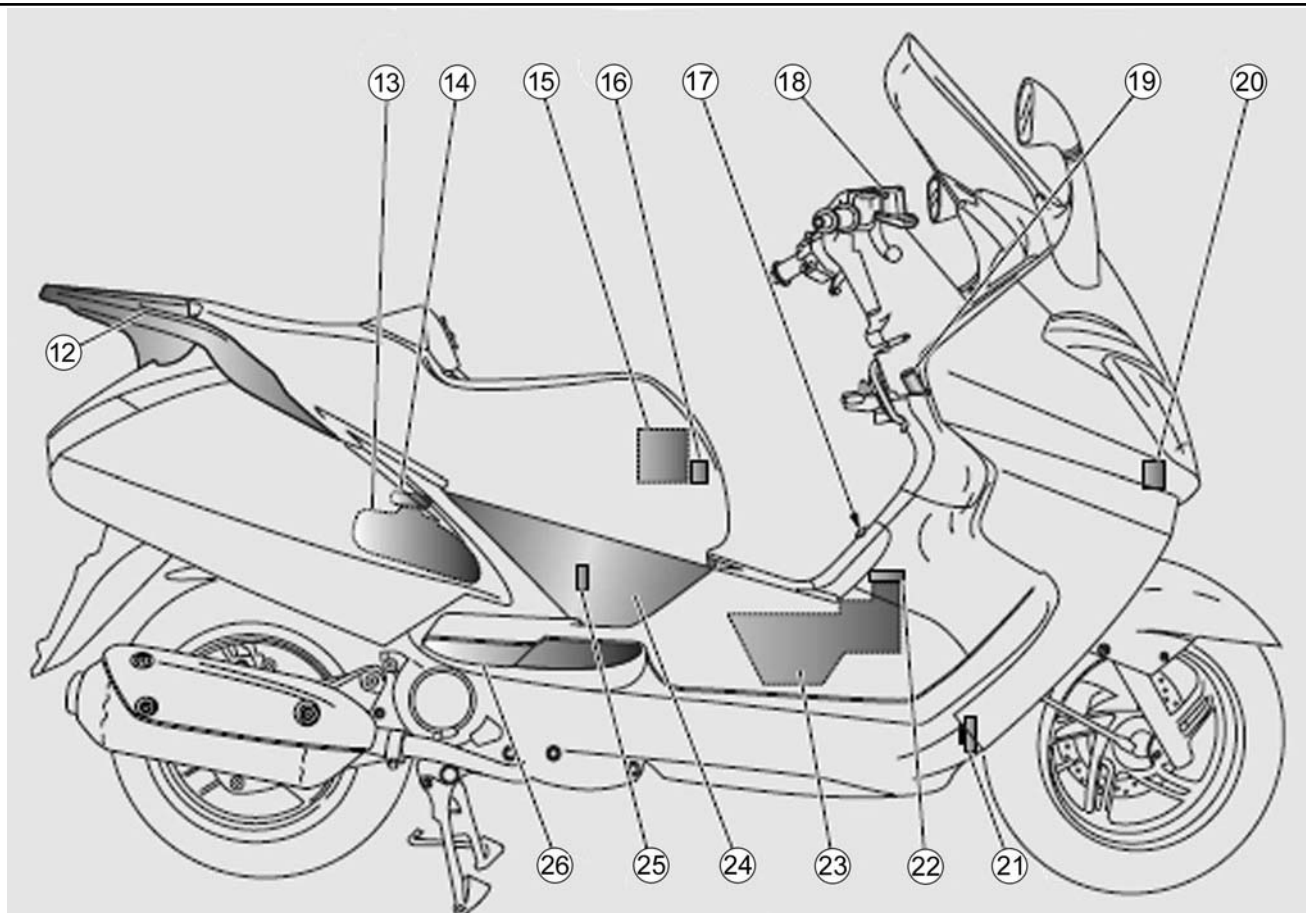
i. e.

The Aprilia logo, consisting of the word "aprilia" in white lowercase letters on a red rectangular background.

章 01  
車両







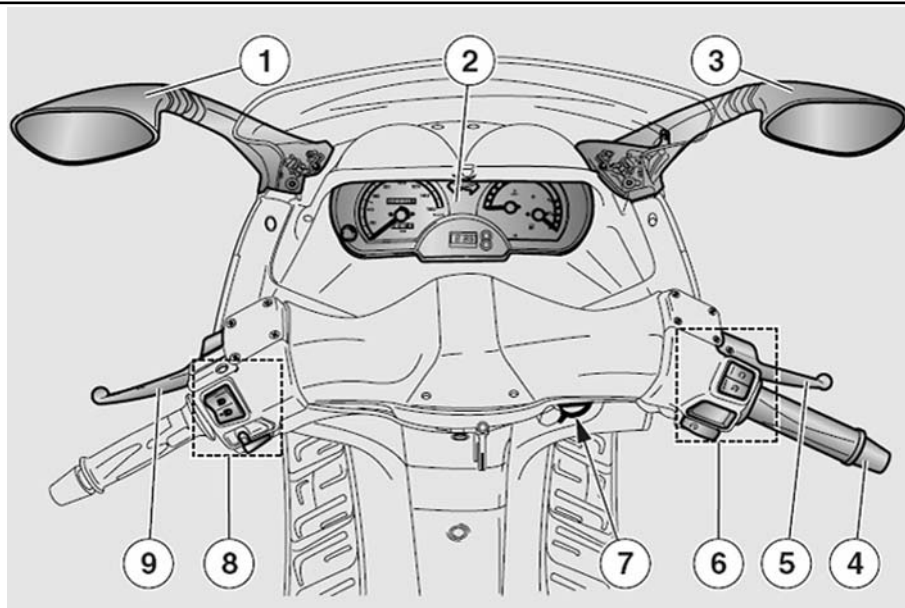
02\_02

## 主要コンポーネントの位置 (02\_01, 02\_02)

各部名称

1. リアブレーキオイルタンク
2. バッグフック
3. ヘルメットコンパートメント
4. シートロック
5. エアフィルター
6. エンジンオイル計量スティックキャップ
7. センタースタンド
8. 変速機吸気口
9. 左パッセンジャーフットレスト
10. サイドスタンド
11. 左インスペクションカバー
12. パッセンジャー用グラブバー
13. エキスパンションタンク
14. 冷却液エキスパンションタンクキャップ
15. バッテリー
16. メインヒューズケース
17. 燃料タンクキャップリッド
18. フロントブレーキオイルタンク
19. イグニッションスイッチ／ステアリングロック
20. 二次ヒューズケース
21. 警告ホーン
22. 燃料タンクキャップ

- 23. 燃料タンク
- 24. 右インスペクションカバー
- 25. スパークプラグ
- 26. 右パッセンジャーフットレスト

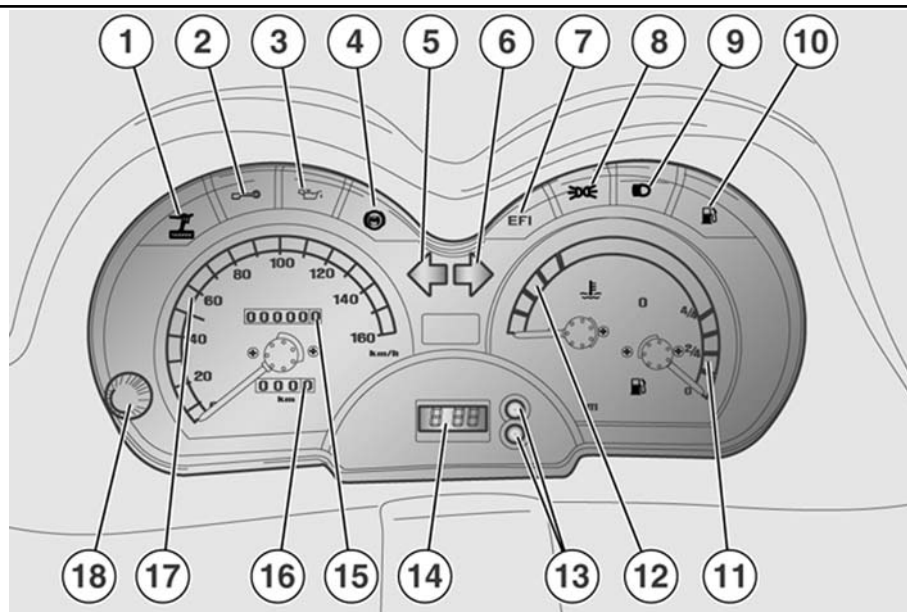


02\_03

ダッシュボード (02\_03)

# 各部名称

1. 左バックミラー
2. メーターパネルと計器
3. 右バックミラー
4. スロットルグリップ
5. フロントブレーキレバー
6. 右ハンドルの電気制御部
7. イグニッションスイッチ／ステアリングロック（《ON》－《OFF》－《LOCK》）
8. 左ハンドルの電気制御部
9. コンパインドブレーキレバー（前後連動）



02\_04

## アナログ式インストルメントパネル (02\_04)

各部名称

1. サイドスタンド警告灯 (黄)
2. 《イモバイザー》盗難防止装置警告灯 (赤) (この配線を装着した車両のみ)
3. エンジンオイル警告灯 (赤)
4. ABS警告灯 (赤) (この配線を装着した車両のみ)
5. 左ウィンカーライトインジケータ (緑)
6. 右ウィンカーライトインジケータ (緑)
7. 《EFI》警告灯 (赤)
8. ロービームインジケータ (緑)
9. ハイビームインジケータ (青)

10. 燃料警告灯（黄）
11. 燃料計
12. 冷却液温度計
13. 機能選択とデジタル時計調整用ボタン
14. デジタル時計
15. オドメーター
16. トリップメーター
17. スピードメーター
18. トリップメーターリセットノブ

## メーターパネルと計器の説明

### 注意



キーを《ON》にすると、取り付けられたすべてのインジケーターと警告灯、メーターパネルライト、3箇所のディスプレイすべてが、メーター類の初期点検のために3秒間点灯します。

## ABS（アンチロックブレーキシステム）警告灯《4》

この配線を装着した車両のみ。ABSの点検を行います。問題がある場合に点灯します。

### 注意



エンジン作動中にこの警告灯が点灯する場合は、ABSが故障していることを示しています。その場合、直ちにエンジンを停止し、aprilia正規代理店にご相談ください。

## 盗難防止装置警告灯（イモビライザー）《2》

この配線を装着した車両のみ。スクーターを停車しているときに、盗難を防ぐために点滅します。盗難防止装置がオンになっていることを確認します。

### エンジンオイル警告灯《3》

イグニッションスイッチを《ON》にして、エンジンを始動しないときに毎回点灯します。これはLEDの動作をテストします。エンジンを始動するとすぐに警告灯は消灯します。

#### 注意



エンジン作動中にこの警告灯が点灯する場合は、オイル系統内の油圧が不足していることを示しています。その場合、直ちにエンジンを停止し、aprilia正規代理店にご相談ください。

### サイドスタンド警告灯《1》

サイドスタンドが下がっているときに点灯します。

#### 注意



サイドスタンドが下がっている場合、この警告灯が点灯します。車両を発進することはできません。

### 電子制御式燃料噴射装置（EFI）警告灯《7》

イグニッションスイッチを《ON》にして、エンジンを始動しないときに毎回約3秒間点灯します。これは燃料噴射装置の動作をテストします。エンジンを始動するとすぐに警告灯は消灯します。

#### 注意



エンジン作動中にこの警告灯が点灯する場合は、電子制御式燃料噴射装置が故障していることを示しています。その場合、直ちにエンジンを停止し、aprilia正規代理店にご相談ください。

さい。

右ウィンカーライトインジケータ―《6》

右ウィンカーの作動時に点滅します。

左ウィンカーライトインジケータ―《5》

左ウィンカーの作動時に点滅します。

ロービームインジケータ―《8》

ロービームの点灯時に点灯します。

ハイビームインジケータ―《9》

ハイビーム点灯時やパッシングライト点灯時に点灯します。

燃料警告灯《10》

タンク内の燃料が1.5リットルになると点灯します。

燃料計《11》

タンク内の概算の燃料残量を示します。針が赤い部分に達したとき、残っている燃料は約1.5リットルです。赤い部分に達した場合は、できるだけ早く燃料を補給してください。

冷却液温度計《12》

エンジン冷却液の概算温度を示します。針が《MIN》マークから離れ始めたときが乗車に適した温度です。針が赤い部分にある場合、または警告灯が点灯した場合は、エンジンを停止して冷却液レベルを点検してください。

注意





温度が許容最高温度（目盛りのMAXの赤い部分）を超えた場合は、エンジンの重大な損傷が考えられます。

## メーター類

デジタル時計《14》

このディスプレイには時刻と日付が表示されます。

オドメーター《15》

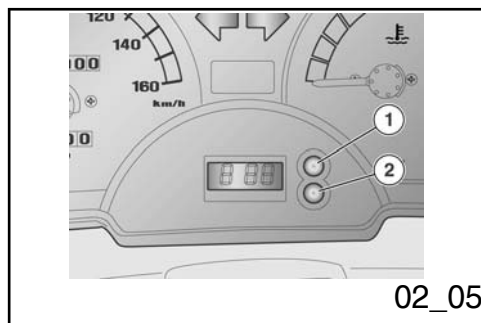
積算距離（km）を表示します。

トリップメーター《16》

区間距離（km）を表示します。リセットするにはリセットノブを使用してください。

スピードメーター《17》

走行速度を示します。



## 時計（02\_05）

カレンダー調整：

- 標準表示：時間と分。
- 日付表示：ボタン《1》を押すと、月と日が表示されます。
- 秒表示：ボタン《1》を2回押してください。

### 重要

時計の電池交換を行う際は、aprilia正規代理店にお問い合わせください。

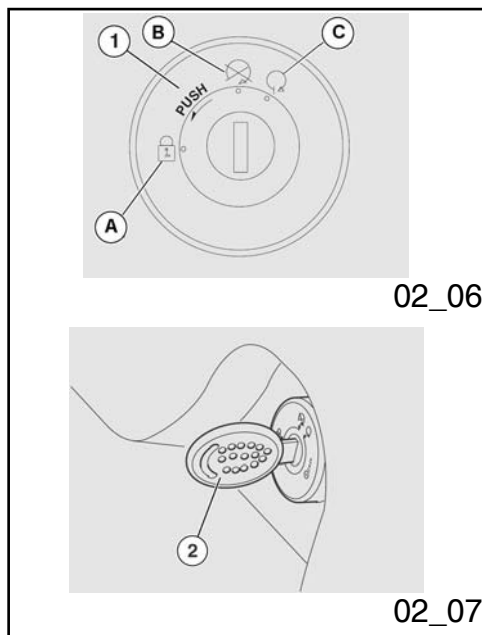
調整：

- ボタン《2》を1回押すと、日付と時刻が交互に表示されます。

- 月： ボタン《2》を再度押すと、左に月が表示されます（その他は消えます）。 ボタン《1》を押すと、月がセットされます。
- 日： ボタン《2》を再度押すと、右に日が表示されます。 ボタン《1》を押すと、日がセットされます。
- 時間： ボタン《2》を押すと、左にアルファベット《A》または《P》（A= am、P= pm）と共に時間が表示されます。 ボタン《1》を押すと、時間がセットされます。
- 分： ボタン《2》を押すと、ディスプレイの右に日が表示されます。 ボタン《1》を押すと、分がセットされます。

これでデジタル時計の調整は終了です。

ボタン《2》を押した後にボタン《1》を押して、元の状態に戻してください。



## キースイッチ (02\_06)

イグニッションスイッチ“1”は右側のステアリングチューブ付近にあります。

### 重要

キー《2》は、イグニッションスイッチ／ステアリングロック、シートロック、グローブボックススリッドとフューエルフラップに使用されます。

納車時には計2本のキー（1本はスペアキー）がついてきます。

### 重要

スペアキーは車両から離れた場所に保管してください。

### スイッチ位置

ON 《C》： エンジンを始動し、ライト類を点灯することができます。 キー抜き不可能。

OFF 《B》： エンジンを始動し、ライト類を点灯することはできません。 キー抜き可能。

LOCK 《A》： ステアリングがロックされています。 エンジンを始動し、ライト類を点灯することはできません。 キー抜き可能。

## ハンドルロック (02\_07)

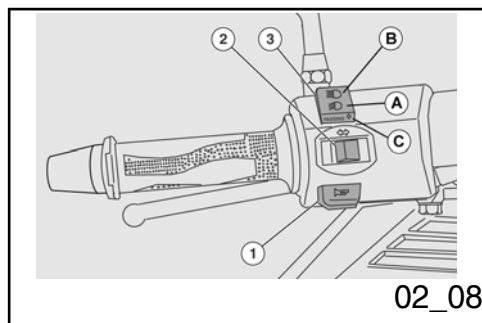
ステアリングをロックするには：

- ハンドルを左いっぱいに切ります。
- キー《2》を押しながら、《LOCK》の位置に回します。

### 注意



走行中に絶対にキーを“LOCK”の位置に回さないでください。車体のコントロールを失う恐れがあります。

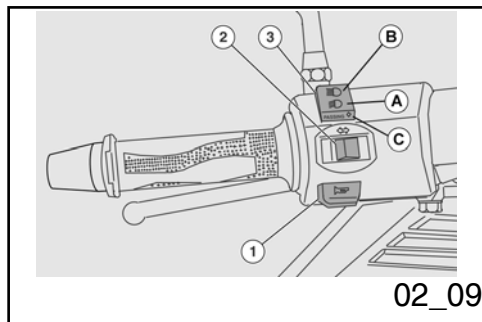


## ターンシグナルランプスイッチ (02\_08)

左側にターンするときはスイッチ《2》を左側に動かします。右側にターンするときはスイッチ《2》を右側に動かします。ウィンカーの作動を停止するときはスイッチ 2 の中央を押します。

### 重要

電装品はイグニッションキーが“ON”の位置にないと機能しません。



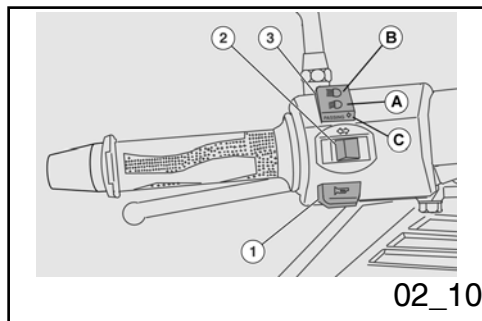
02\_09

## ホーン (02\_09)

ボタン“1”を押すと、警告ホーンが作動します。

### 重要

電装品はイグニッションキーが“ON”の位置にないと機能しません。



02\_10

## ライトスイッチ (02\_10)

ディマースイッチ《3》を《A》にセットするとロービームが点灯します。ディマースイッチを《B》にセットすると、ハイビームが点灯します。

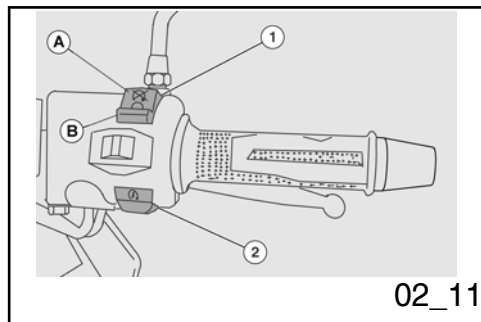
ディマースイッチ《3》を押して《C》（パッシング）にセットすると、ハイビームが点滅します（パッシングライト）。

### 重要

電装品はイグニッションキーが“ON”の位置にないと機能しません。

### 重要

ディマースイッチを“C”のパッシングモードから戻すと、パッシングが停止します。



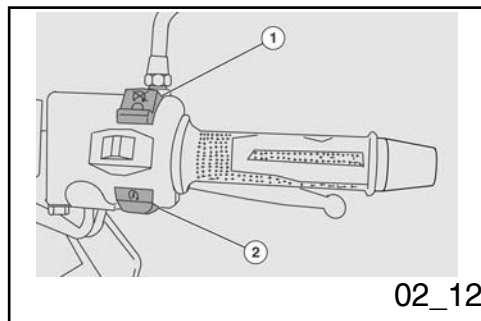
02\_11

## スタータスイッチ (02\_11)

ボタン《2》(RUN)を押すと、スターターモーターが作動しエンジンを始動させます。

### 重要

電装品はイグニッションキーが“ON”の位置にないと機能しません。



02\_12

## キルスイッチ (02\_12)

エンジンキルスイッチ《1》は安全のためと緊急時に使用します。このスイッチが《ON》にセットされているときは、エンジンを始動できます。《OFF》にセットされるとエンジンは停止します。

### 重要

電装品はイグニッションキーが“ON”の位置にないと機能しません。

### 注意

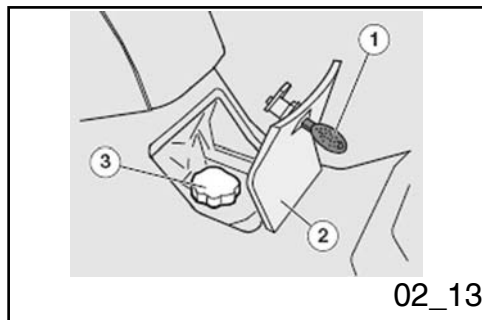


走行中には絶対にこのエンジンキルスイッチを操作しないでください。

### 注意



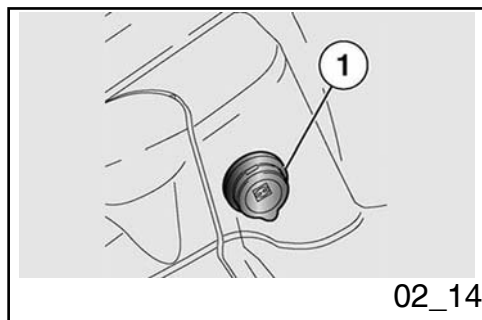
エンジン停止時にイグニッションスイッチが“ON”の位置になっている場合、バッテリーが放電することがあります。エンジンを切って停止した後は、イグニッションスイッチを“OFF”の位置に回してください。



## 燃料タンク (02\_13)

燃料タンクキャップを外すには：

- キー《1》をフットレストの間にあるフューエルフラップロック《2》に差し込みます。
- キーを時計回りに回して、フューエルフラップを引いて開けます。
- 燃料タンクキャップ《3》を回して外します。



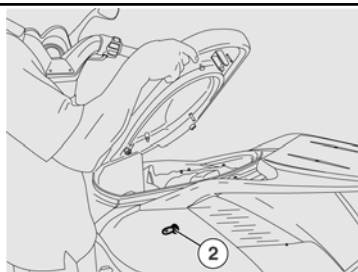
## 電源ソケット (02\_14)

- シート下のヘルメットコンパートメントの内側に12V電源ソケット《1》があります。
- このソケットは、最大180 Wの電気機器（携帯電話、ハンドランプなど）に使用することができます。

注意



長時間このソケットを使用すると、バッテリーが完全に放電してしまう場合があります。



02\_15

## シートを開けます (02\_15)

- シートロックにキー《2》を差し込みます。
- イグニッションキーを押しながら、反時計回りに回します。
- シートをロックするには、（力をかけ過ぎないように）シートを押し下げて、ロックをはめてください。

### 注意



走行前に、シートが正しい位置にロックされているか確認してください。



02\_16

## 識別 (02\_16, 02\_17)

このマニュアルの指定の欄に、フレームナンバーとエンジンナンバーを書き留めてください。

スペアパーツをオーダーする際に、フレームナンバーを使用する場合があります。

### 重要

車体認識番号を変更すると、法により厳しく処罰される場合があります。特にフレームナンバーを変更すると、その時点で保証が無効になります。

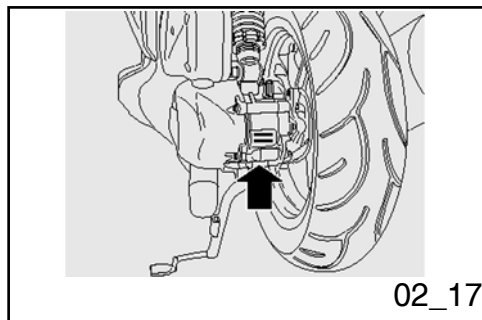
### フレームナンバー

フレームナンバーは、中央のフレームバーに刻印されています。 フレームナンバーを確認するには、グローブボックスを開けて、スナップ式プロテクションを取り外す必要があります。

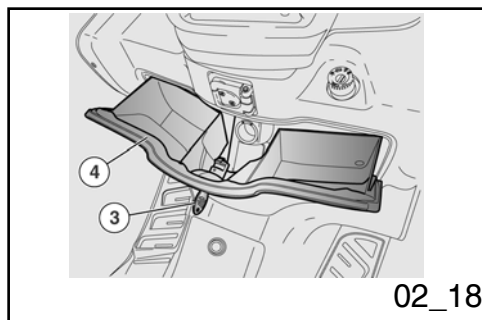
フレームナンバー： .....

### エンジンナンバー

エンジンナンバーは、リアショックアブソーバーの下部サポート付近に刻印されています。



エンジンナンバー： .....

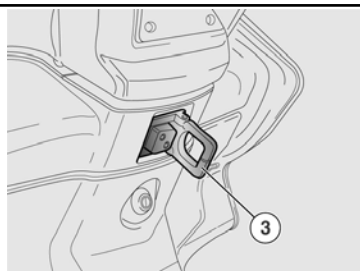


### フロント・ボックスのオープン (02\_18)

グローブボックスのおかげで、駐車後にかさばる荷物を持ち歩く必要がなくなりました。

- ロックにキー《3》を差し込みます。
- キーを押しながら、反時計回りに回します。
- グローブボックスリッド《4》を開きます。





02\_19

## バッグクリップ (02\_19)

バッグフック《3》は内側シールドのフロント部分にあります。

注意

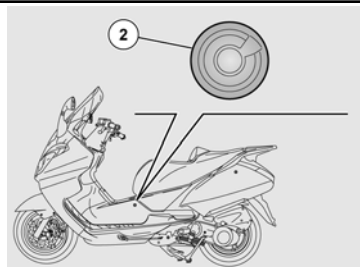


車両の操作や足の動きを妨げないようにするため、フックにかさばる荷物を掛けないでください。

## テクニカル仕様

最大積載量

1.5 kg



02\_20

## インターフォンキット用ジャック (02\_20)

この配線を装着した車両のみ。

- フロントシールドの内側に、インターコムコントロールユニット用の電源ソケットがあります。
- センタートンネルの両側に、2個の標準ソケット《2》があります。これらはインターコム／マイク付きヘッドフォンの接続に使用されます。

取り付けはaprilia正規代理店にご依頼ください。



# ATLANTIC 250

i. e.



章 02  
用途

## チェック

### 注意



正しく安全な運転のために、走行前に必ず車両の点検を表に記したように行ってください。この点検をしないで走行した場合には、重大な人身傷害や車両の損傷を引き起こす危険があります。

操作方法がわからない場合や、故障が検知された、または故障の疑いがある場合は、お気軽にaprilia正規代理店にご相談ください。

点検時間は長くかかりません。結果として安全性が向上します。

### 走行前の点検

特徴	概要/数値
フロントおよびリアディスクブレーキ	ブレーキの効き具合、ブレーキレバーの遊び、ブレーキオイル量、液漏れの有無を点検。ブレーキパッドの摩耗を点検。必要に応じてブレーキオイルを補充。
ブレーキレバー	スムーズに作動することを確認。 必要に応じてジョイント部に潤滑。
スロットル	ハンドルの角度に関わらずスロットルグリップが全開から全閉までスムーズに回転することを確認。 必要に応じて調整や潤滑。
エンジンオイル	エンジンオイル量を点検。必要に応じて補充。

ホイール／タイヤ	タイヤが良好な状態であるかを点検。タイヤの空気圧、摩耗、損傷を点検。
ステアリング	回転が均一でスムーズであり、隙間や緩みがないことを点検。
センタースタンドおよびサイドスタンド	スムーズに動き、スプリングを外したときに通常のポジションに戻ることを確認。必要に応じてカップリングとジョイント部に潤滑。
組み付け部品	クランプ部品が緩んでいないかを点検。  必要に応じてクランプ部品の調整または締め付け。
燃料タンク	冷却液の量を点検し、必要に応じて補充。  系統内に漏れや障害物がないかを点検。  燃料タンクキャップがしっかり閉じていることを確認。
冷却液	エキスパンションタンクの液レベルが“MIN”と“MAX”マークの間にあること。
エンジンキルスイッチ	正常に機能することを確認。
ライト類、インジケーター、警告灯、ホーン、電気機器。	ホーンやライトが正常に作動することを確認。故障の場合はバルブを交換するか、または修理を行う。

## 給油

### 注意



内燃機関で使用される燃料は非常に引火しやすく、特定の条件下では爆発する恐れがあります。燃料補給やメンテナンスは、換気のよい場所でエンジンを止めた状態で行ってください。燃料補給中や燃料ガスが残っている場所では絶対に煙草を吸わないでください。引火や爆発を避けるため、火気、火花、熱源などに燃料を近付けないでください。注入口から燃料がこぼれないようにしてください。エンジンの熱くなった部分に触れると引火する恐れがあります。万一燃料が少しでもこぼれた場合には、スクーターを始動させる前に、その部分が完全に乾いているか確認してください。燃料は暑さや太陽熱で膨張します。そのため補給時には注意し、タンクから溢れるほど一杯には入れないでください。燃料補給後はキャップをしっかり締めてください。燃料が皮膚に触れないように注意してください。ガスを吸い込んだり、燃料を飲み込んだりしないようにしてください。また、ホースなどを使って容器を移し換えることもやめてください。

### 注意



環境保護のため燃料は適切に処理してください。

### 注意



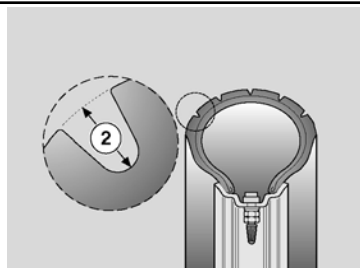
子供の手の届かない場所に保管してください

必ず最低オクタン価95（NORM）および85（NOMM）の無鉛プレミアムガソリンを使用してください

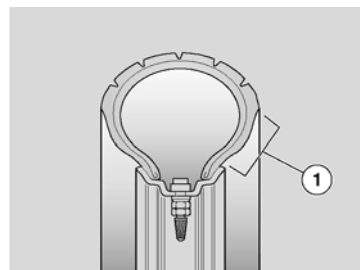
## テクニカル仕様

燃料タンク容量（予備を含む）：  
~ 9.5 l

燃料タンクの予備：  
~ 1.5 l



03\_01



03\_02

## タイヤ空気圧 (03\_01, 03\_02)

この車両は、チューブを使用しない（チューブレス）タイヤを装着しています。

### 注意



タイヤが外気と同じ温度の状態ではタイヤ空気圧を頻繁に点検してください。

タイヤが温まっていると正しく測定できないことがあります。特に長距離走行の前後には必ずチェックを行ってください。タイヤ空気圧が高すぎると、路面の凹凸による衝撃が緩和されず、ハンドルに伝わりやすくなります。その結果、走行快適性が失われ、特に方向転換時のグリップ力が低下します。

反対に、タイヤ空気圧が不足しているとタイヤ側面“1”に大きな圧力がかかり、タイヤがリムの上にかぶったり、リムから外れてしまい、車両のコントロールを失う可能性があります。急ブレーキ時には、タイヤがリムから外れ落ちる危険があります。カーブでは車両が横滑りする可能性が高くなります。タイヤの状態が悪いと路面グリップ力や操縦性を損ないますので、タイヤの接地面や側面の状態、および摩耗を常に点検してください。このスクーター用に承認されたタイヤの種類の中には、摩耗インジケーターを特徴とするものがあります。摩耗インジケーターにはさまざまな種類があります。

摩耗の点検方法については、最寄りの正規代理店にご相談ください。タイヤの消耗について目視点検を行い、摩耗が進んでいる場合は交換してください。古いタイヤは、完全に摩耗していなくても固くなっていて、グリップ力が不足している場合があります。そのような場合はタイヤを交換してください。タイヤが摩耗している場合、またはトレッドに5 mm以上の穴がある場合は、タイヤを交換してください。タイヤを修理した後は、ホイールのバランスを調整してください。タイヤは必ずメーカーが指定するサイズを使用してください。チューブレスタイヤ用のリムにはチューブタイヤを装着しないでください。また、チューブタイヤ用のリムにはチューブレスタイヤを装着しないでください。突然タイヤの空気が抜けることのないように、空気注入バルブにキャップが付いているか確認してください。

交換、修理、メンテナンス、バランス調整は非常に重要な作業であり、その実施には特殊な技術と知識が必要です。そのため、aprilia正規代理店またはタイヤ専門のワークショップに上記の作業を依頼してください。新品のタイヤには滑りやすいコーティングが施されて

いる場合があります。 最初の数キロ間は注意して走行してください。 タイヤに不適切な液体を塗布しないでください。

#### 注意



決して最大積載量を超えないようにしてください。 スクーターに負荷をかけ過ぎると、安定性が損なわれて操縦性が低下し、タイヤが損傷する場合があります。

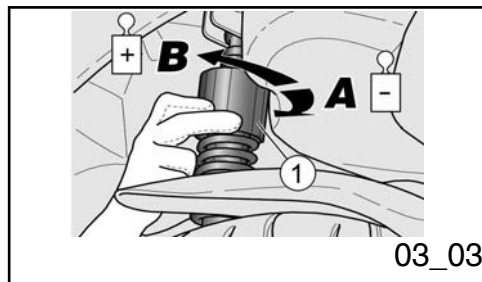
#### テクニカル仕様

最大負荷  
210 kg

#### タイヤ空気圧

特徴	概要/数値
フロントタイヤ空気圧（ライダーのみ乗車時）	2.0 bar
リアタイヤ空気圧（ライダーのみ乗車時）	2.2 bar
フロントタイヤ空気圧（ライダーとパッセンジャー乗車時）	2.2 bar
リアタイヤ空気圧（ライダーとパッセンジャー乗車時）	2.4 bar





## ショックアブソーバーのセッティング (03\_03)

リアサスペンションは、複動式ツインショックアブソーバー（圧側／伸側ダンピング）とサイレントブロックエンジンマウントで構成されています。

メーカーでは、体重約70kgのライダーに合わせて標準サスペンション調整を行っています。体重が異なる場合は、（同梱されている）フックスパナを使用してリングナット“1”を回し、適切な設定にしてください。

リングナットをAの方向へ回す： スプリングプリロードが減少します。スクーターのサスペンションは非常に柔らかい状態です。起伏のある道路やパッセンジャーを乗せずに走行するのに適しています。

リングナットをBの方向へ回す： スプリングプリロードが増加します。スクーターのサスペンションは非常に硬い状態です。平らな道や一般の道路、パッセンジャーを乗せて走行するのに適しています。

### フロントおよびリアサスペンションの点検

メンテナンススケジュール表の指示に従って、フロントサスペンションのオイルを交換してください。

定期的に以下の点検を実施してください。

- フロントブレーキレバーを引いた状態で、ハンドルを繰り返し押して、フォークを下げます。
- ストロークがスムーズで、フォークにオイルの跡がないようにします。
- すべてのコンポーネントがしっかり固定されているか、フロントおよびリアサスペンションのジョイント部が正常であるか点検します。

### 注意



リアサスペンションのオイル交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。正確で迅速なサービスをお約束します。

### 注意



故障の場合、または専門技術者の作業が必要な場合は、スクーターをaprilia正規代理店へお持ちください。

## 慣らし運転

エンジンの慣らし運転は、エンジンの寿命を延ばし、正常な作動を約束するために必要不可欠です。できれば、エンジン、サスペンション、ブレーキが効果的に機能するかをテストするために、カーブや傾斜の多い道を走行してください。

以下の注意をお守りください。

- 慣らし運転中、またはその後でも、低回転時にはスロットルを全開にしないでください。
- 0-100 km 最初の100 kmを走行する間は、急ブレーキや距離の長いブレーキングは避け、ブレーキを慎重に操作してください。そうすることで、ブレーキディスクに対してパッド摩擦材が適切に調整されます。
- 0-500 km 最初の500 kmを走行する間は、規定の最高速度の80%を超えないようにしてください。
- 長距離を一定の速度で走行しないようにしてください。
- 最初の1000 km走行後 最高のパフォーマンスが得られるまで徐々に速度を上げてください。

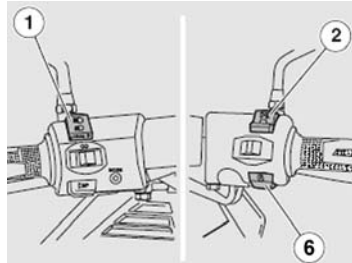
### 注意



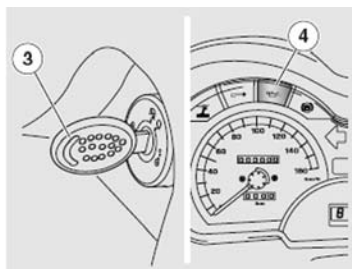
最初の1000 km走行後、ライダーと周囲の人の怪我や車両の損傷を防ぐために、メンテナンススケジュール表の“慣らし運転終了後”の欄に記載された点検を行ってください。

### 重要

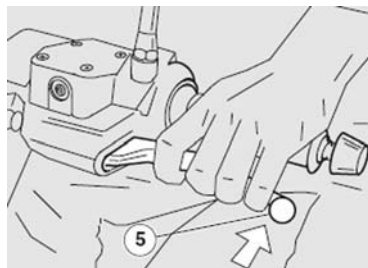
最初の1000 kmの慣らし運転が終了したら、速度および加速に関してスクーターの最高のパフォーマンスを発揮できます。



03\_04



03\_05



03\_06

## エンジン始動 (03\_04, 03\_05, 03\_06, 03\_07, 03\_08, 03\_09, 03\_10, 03\_11)

### 注意



排気ガスには一酸化炭素や、吸い込むと非常に有害な物質が含まれています。密室や十分に換気されていない室内では絶対にエンジンを始動しないでください。

この注意を怠ると、窒息して意識を失ったり、最悪の場合は死に至る危険があります。

始動するために車両にまたがることはしないでください。車両がサイドスタンドで立てるときには、エンジンを始動しないでください。

- エンジンを始動するには、車両をセンタースタンドで立てます。
- ディマースイッチ《1》が《ロービーム》にセットされていることを確認します。
- エンジンキルスイッチ《2》を《ON》にセットします（国別仕様による）。

- イグニッションキー“3”を“ON”の位置まで回します。

### 注意

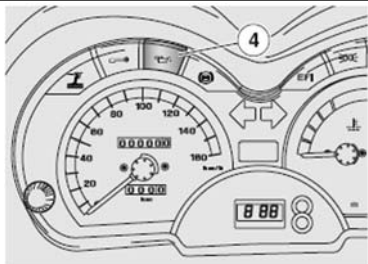


ここで：

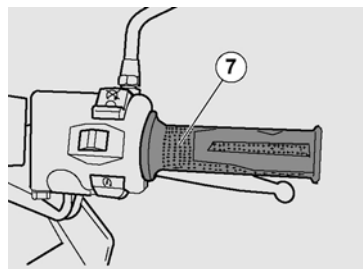
メーターパネルのエンジン油圧警告灯“4”が点灯し、エンジンが始動するまで点灯し続けます。

この警告灯が点灯しない場合、または始動してから3秒後に警告灯が消灯しない場合は、aprilia正規代理店にご相談ください。

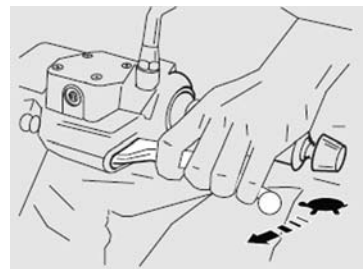
- 片方のブレーキレバー《5》を操作して、少なくとも片方のホイールを固定します。



03\_07



03\_08



03\_09

エンジンが始動しない場合は、スターターリレーに電流が流れていないことが原因です。

- アクセルを開けずにスターターボタン《6》を押して、エンジンが始動したらすぐボタンを放します。

#### 重要

車両を長期間使用しなかった場合、長期間未使用後のエンジン始動の手順にしたがってください。

#### 重要

過度のバッテリー消費を防ぐため、5秒間（長期間使用しなかった場合は10秒間）以上スターターボタンを押したままにしないでください。この時間が経過した後もエンジンを始動できない場合は、10秒間待ってからこの作業を繰り返してください。

#### 注意

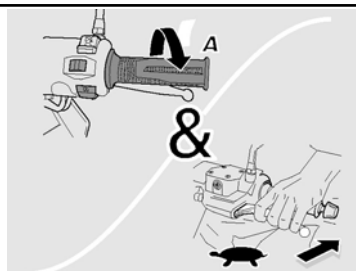
エンジンがすでに作動している場合は、決してスターターボタン《6》を押さないでください。スターターモーターが損傷する場合があります。

#### 注意

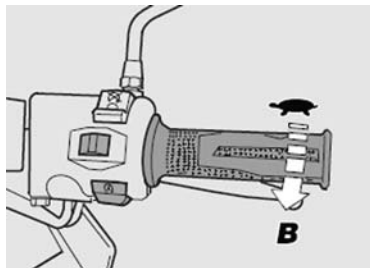


エンジンが作動すると、エンジン油圧警告灯“4”は消灯するはずですが、エンジン作動中にこの警告灯が点灯する場合は、オイル系統内の油圧が不足していることを示しています。その場合、直ちにエンジンを停止し、aprilia正規代理店にご相談ください。エンジン部品を損傷しないようにするため、エンジンオイルが不足した状態では決して車両を使用しないでください。

- 少なくとも片方のブレーキレバーを操作した状態にし、発進するときのみスロットルを開いてください。



03\_10



03\_11

## 注意



エンジン冷間時は急発進しないでください。

大気汚染物質の排出と燃費を最小限に抑えるため、最初の数キロ間は速度を抑えて走行して、エンジンを暖めてください。

発進するには：

- スロットル《7》を放し（ポジションA）、リアブレーキを操作して、スクーターをスタンドから下ろします。
- 車両にまたがり、安定性を維持するため、少なくとも片足を地面に着けます。
- バックミラーの角度を正しく調整します。

## 注意



車両を停止した状態で、バックミラーを見てみてください。ミラーの反射面は凸状になっているため、実際よりも物が遠くに見える場合があります。広角視界のこのミラーに慣れていないと、後方の車両との車間距離を測るのが難しくなります。

- ブレーキレバーを放し、徐々にスロットルを開いて加速します。スクーターが前進し始めます。

## 注意



加速と減速を何度も連続して行わないでください。気付かぬうちに車両のコントロールを失う場合があります。

ブレーキをかけたり減速する必要がある場合、また一定のブレーキングのために両方のブレーキを操作する必要がある場合は、適切な方法で慎重にブレーキを操作してください。

前後の片方のブレーキのみを操作すると、ブレーキパワーが大幅に減少します。片方のホイールがロックしてグリップを失う場合があります。上り坂で停止する場合は、完全に減速し、スクーターを停止した状態にしておくためにブレーキを使用してください。エンジン作動状態でスクーターを停車させると、変速機の過熱の原因になることがあります。

#### 注意

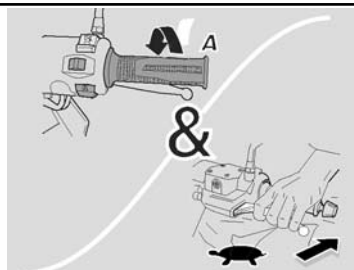


カーブに入る前に減速するかブレーキをかけてください。コーナリング時には控えめな一定の速度で走行するか、わずかに加速させてください。急ブレーキはしないでください。横滑りの危険が高まります。

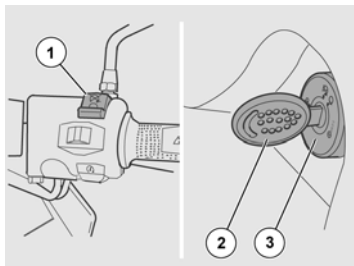
下り坂を走行中に連続してブレーキをかけると、ブレーキパッドが過熱してブレーキの効きが悪くなる場合があります。ブレーキングの際にはエンジンブレーキを優先的に使用してください。下り坂を走行する際、決してエンジンをオフにして走行しないでください。濡れた路面やグリップの悪い路面（雪上、氷上、泥など）を走行する際は、急ブレーキや急激な操作を避けるために、速度を控えめにしてください。急激な操作は、グリップが失われて転倒する原因になります。路上の障害物や路面の変化に注意してください。起伏のある道路、わだち、排水溝、路面にペイントされた道路標示、鉄板などは、雨天時に滑りやすくなることがあります。これらの上は特に注意して走行し、慎重な運転を心がけて、スクーターをできるだけ傾けないようにしてください。

### 始動性が悪い

燃料供給システムは、エンジンの状態（温間／冷間）または周囲の温度と圧力に基づいて点火をコントロールすることができます。



03\_12



03\_13

## エンジン停止 (03\_12, 03\_13)

- スクーターを停止するには、スロットルを放し（ポジションA）、徐々にブレーキを操作します。
- 短時間の停止中は、少なくとも片方のブレーキを操作したままにします。

### 注意



乱暴なブレーキング、急激な減速、過度のブレーキングはできるだけ避けてください。

### 注意



転倒を防ぐため、安全で水平な場所に駐車してください。

車体を壁に立てかけたり、地面に寝かせて置いたりしないでください。

車体の特に熱くなっている部分が周囲の人々や子供にとって危険にならないよう注意してください。 エンジンがかかった状態や、イグニッションスイッチにキーを差し込んだ状態で放置しないでください。

スタンドを下ろしているときにはシートに座らないでください。

- 車両を停止します。
- エンジンキルスイッチ《1》をOFFにします。
- キー《2》を回してイグニッションスイッチ《3》をOFFの位置にします。
- スクーターをスタンドで立てます。
- ステアリングをロックし、キーを抜き取ります。

### 注意



エンジン停止時にイグニッションスイッチが《ON》の位置になっている場合、バッテリーが放電することがあります。

**注意**

イグニッションスイッチにキーを差し込んだままにしないでください。

**キャタライザー付きサイレンサー**

スクーターのオーナーは、以下のことが法律で禁止されていることに注意してください。

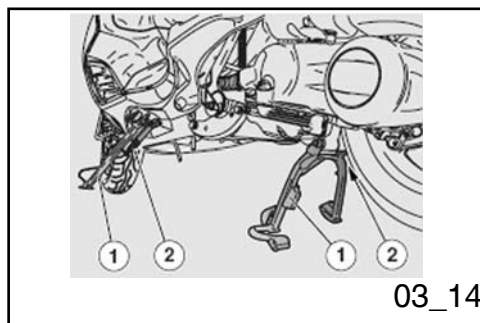
- メンテナンスや修理、交換の目的以外で、販売前、お客様への納車前、または販売後に騒音を調整するために新しい車両の装置や部品を取り外したり、車両を正常に作動しない状態にするすべての処置。
- 装置や部品を取り外した後、または正常に作動しない状態にした後でスクーターを使用すること。

マフラーとマフラーパイプを点検し、錆や穴がなく、エグゾーストシステムが正常に機能するか確認してください。

排気騒音がひどくなった場合は、速やかにスクーターをaprilia正規代理店へお持ちください。

**重要**

エグゾーストシステムに手を加えないでください。

**スタンド (03\_14, 03\_15)**

スタンド“1”はスムーズに回転しなければなりません。

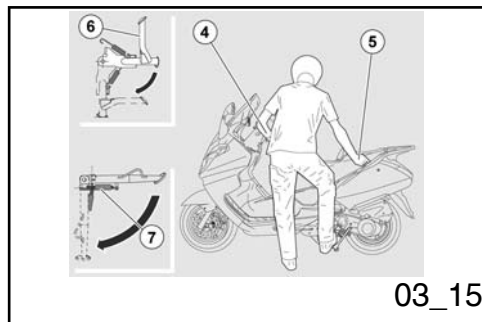
以下の点検を実施してください。

- スプリング2に損傷、摩耗、錆、緩みのないこと。
- スタンドがスムーズに回転すること。必要に応じてジョイント部にグリスを塗布してください。

**重要**

以下の記述は片方のスタンドに関するものですが、両方のスタンドに当てはまります。





車両をスタンドで立てる

センタースタンド

- ハンドグリップ《4》とパッセンジャー用ハンドグリップ《5》をつかみます。
- スタンドのレバー《6》を押します。

サイドスタンド

- ハンドグリップ《4》とパッセンジャー用ハンドグリップ《5》をつかみます。
- サイドスタンド《7》を右足で完全に下ろします。
- スタンドが地面に着くまで車両を傾けます。
- ハンドルを左いっぱいに切ります。

注意



スクーターが安定しているか確認してください。

## 盗難防止のためのアドバイス

イグニッションキーは必ずロックから抜き取り、ステアリングロックをかけてください。

車庫や監視のある場所などの安全な場所に駐車してください。

できる限りapriliaの“Body-Guard”ケーブルロックまたは盗難防止装置を使用してください。

すべての車両書類が整っていて、道路税が払われていることを確認してください。

個人情報と電話番号をこのページに記入してください。盗難時にスクーターを引き取る際に、オーナーであることを確認しやすくなります。

姓： .....

名： .....

住所： .....

.....

電話番号： .....

#### 注意

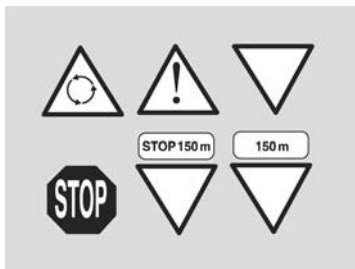
ディスクロックは使用しないでください。これを忘れてしまうと、ブレーキ系統に深刻なダメージを与える原因となります。その結果、事故で怪我をしたり、場合によっては死亡する危険があります。

#### 重要

大抵の場合、盗難にあった車両は、使用とメンテナンスのマニュアルに記載されているデータで識別することができます。



03\_16



03\_17

### 安全運転 (03\_16, 03\_17, 03\_18, 03\_19, 03\_20, 03\_21, 03\_22, 03\_23, 03\_24, 03\_25, 03\_26, 03\_27)

#### 安全のための主なルール

車両を運転するには、すべての法規定に従わなければなりません（運転免許、年齢制限、精神のおよび肉体的な適性、保険、税と料金の支払い、登録、ナンバープレート等）。

車両を完全に熟知するまで、通行がない場所や私有地で車両の運転を練習する必要があります。

医薬品やアルコール、麻薬や向精神薬を服用して運転すると、事故の危険が劇的に高まります。

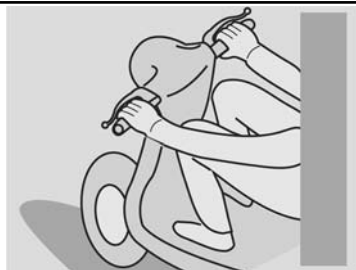
疲れているときや眠いときには車両を運転しないでください。常に精神のおよび肉体的に安定した状態で走行するようにしてください。

モーターサイクルの事故の主な原因は、使用者の経験不足です。

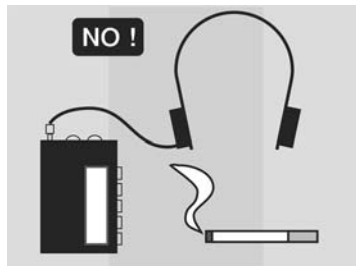
決して車両を初心者に貸さないでください。そのライダーが安全運転に必要な条件をすべて満たしているか、必ず確認してください。

国や自治体の交通標識や規則を厳密に守ってください。

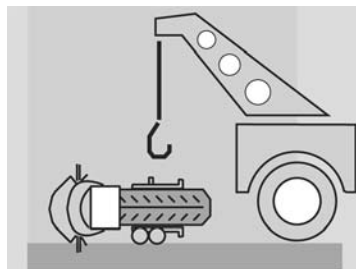
ライダー自身と周囲の人の安全のため、急で危険な運転はしないでください（前輪を浮かせて走る、速度制限を守らないなど）。また、常に路面や視界の状況などに注意を払ってください。



03\_18



03\_19



03\_20

車両に損傷を与え、コントロールを失う原因となる障害物にはぶつからないようにしてください。

速度を上げるために前方車両のすぐ後ろを走行することはしないでください。

注意



運転中は常に両手でハンドルを握り、両足をフットレストに乗せて正しい運転姿勢を保ってください。

運転中は絶対にシートから腰を上げたり、体を伸ばしたりしないでください。

走行中は常に周囲に注意して、他の人や物、行動（煙草、飲食、読み物など）により気がそれたり影響を受けないようにしてください。

燃料や潤滑油は、“油脂類表”に載っている、この車両に指定されている種類のみを使用してください。燃料やオイル、冷却液が正しい量になっているかを頻繁に点検してください。

事故の場合、または車両の転倒や衝突後は、コントロールレバー、パイプ、ケーブル、ブレーキ系統、車両の主要部品が損傷していないか確認してください。

必要に応じて、特にフレーム、ハンドル、サスペンション、安全に関わるコンポーネント、専門技術者でなければ扱えない装置の点検をaprilia正規代理店に依頼してください。

作業をスムーズにするため、どのような不具合でもエンジニアやメカニックに伝えてください。

安全性に支障をきたすような損傷を受けた場合は、決して車両を運転しないでください。

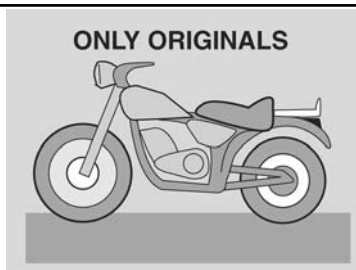
次のような部品の取り付け位置、傾き、色などを絶対に変更しないでください：ナンバープレート、ターンインジケーター、ライト類、ホーンなど。

車体を改造した場合は正規保証外の扱いになります。

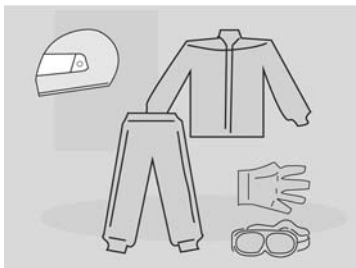
車体を改造したり純正部品を取り外すと、車両の性能が低下することがあり、それが原因で安全性が低下したり、正常に走行できなくなることさえあります。

車両の装備に関して、国や自治体のあらゆる法と規則に従ってください。

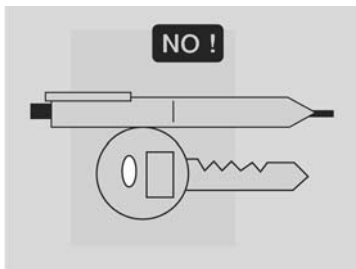
特に性能を向上させるための技術的変更を加えないでください。いかなる場合でも車両本来



03\_21



03\_22



03\_23

の仕様を変更しないでください。

この車両でレースをしないでください。

決してオフロードを走行しないでください。

#### 服装

走行前にヘルメットをしっかりと着用してください。ヘルメットが承認された型であり、適切なサイズで損傷がなく、バイザーに汚れのないことを確認してください。

身体を保護する適切な服を着てください。できれば明るい色の反射素材を使用した服を着用してください。そうすることで他のドライバーから見えやすくなるため、衝突の危険が低下し、転倒時にも体が保護されます。

必ず袖や裾の締まったぴったりフィットする服装をしてください。紐やベルト、ネクタイなどを掛けしないでください。これらの物が車両の一部や特殊な動きによって絡まって、安全運転に支障をきたすことのないようにしてください。

ポケットには、キーやペンなどの先の尖った物、ガラス瓶など、転倒の際に危険となるようなものを入れないでください（パッセンジャーも同じ）。

#### アクセサリ

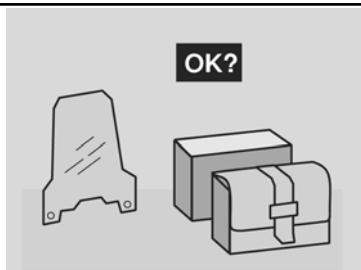
アクセサリーの取り付けと使用に関しては、ユーザー個人が責任を負います。

アクセサリーを取り付ける際、警報装置のサイレンやライトを妨げていないか、その正常な作動に悪影響を与えていないか確認してください。また、サスペンションストロークやハンドルの動きを妨げていないか、操作部を妨害していないか、最低地上高とコーナリング時の傾きを小さくしていないか確認してください。

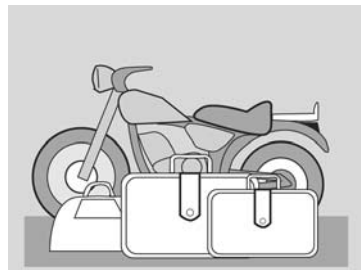
操作部を扱いにくくするようなアクセサリーは使用しないでください。緊急時の対応が遅れる原因になります。

フェアリングや大型ウインドシールドを装着すると、特に高速走行時に空気抵抗が増して、車体の安定性を損なう場合があります。

アクセサリーがしっかりと車体に固定され、走行中にいかなる危険ももたらさないことを確認してください。



03\_24



03\_25



03\_26

車両の許容電力を上回る電気装備品を追加したり変更しないでください。突然停止したり、警報装置のサイレンやライトの作動に必要な電力が不足する原因になります。

apriliaはオリジナルのアクセサリー（aprilia純正アクセサリー）の使用をお勧めします。

### 積載

車両に負荷をかけ過ぎないようにしてください。荷物はできるだけ車両の重心の近くに固定して、バランス良く荷重を左右均等に配分してください。特に長距離を走行するときには、荷物が車両にしっかりと固定されているか点検してください。

ハンドル、マッドガードやフォークには、突き出た物、かさばる物、重い物、危険な物などを掛けないでください。コーナリング性能が悪化し、操縦性も低下します。

車両の横から突き出る荷物は積載しないでください。他の人や物に当たって車両のコントロールを失う可能性があります。

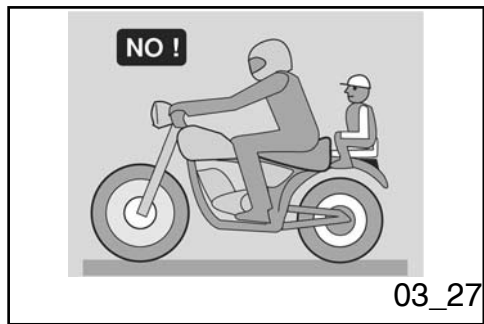
車両にしっかりと固定されない荷物は運搬しないでください。

ラゲッジラックから突き出る荷物、警報装置のサイレンやライトを妨げる荷物は積載しないでください。

決して動物やお子様を小物入れトランクやラゲッジラックに乗せて走行しないでください。

ラゲッジラックの最大積載量を超えないようにしてください。

車両に負荷をかけ過ぎると、安定性が損なわれて操縦性が低下する場合があります。

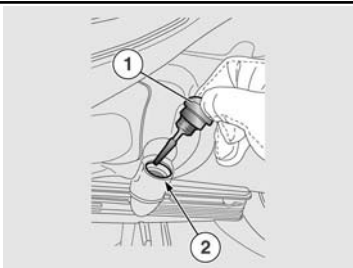


# ATLANTIC 250

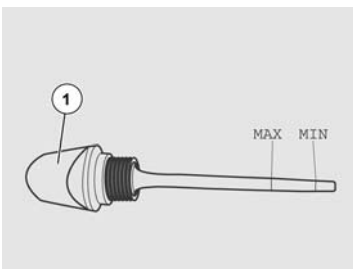
i. e.



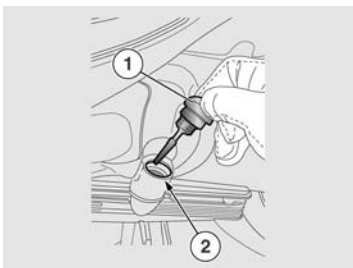
章 03  
メンテナンス



04\_01



04\_02



04\_03

## エンジンオイル・レベル

エンジンオイル量を頻繁に点検してください。

エンジンオイルの点検と交換については、メンテナンススケジュール表をご覧ください。

交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。

### 注意



オイルを毎日使用したり、長い間使用したりすると、肌に危害を及ぼす恐れがあります。

オイルを取り扱った後は、丁寧に手を洗ってください。

メンテナンス作業を行う際は、ゴム手袋の着用をお薦めします。

子供の手の届かない場所に保管してください

環境保護のためオイルは適切に処理してください。

### 注意



慎重に作業してください。

オイルを撒き散らさないようにしてください。

コンポーネントや作業場とその周辺を汚さないように注意してください。

オイルが付着した場合は丁寧に洗い流してください。

オイル漏れや不具合のある場合は、車両をaprilia正規代理店にお持ちください。

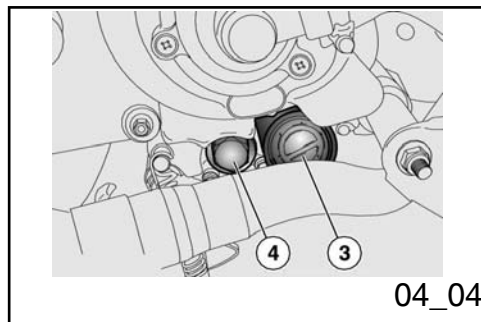
### 重要

エンジンオイルの補充時に、“MAX”マークを超えないようにしてください。

### 重要

指定油脂類表に記載されている種類のオイルを使用してください。





## レベル・チェック (04\_01, 04\_02)

- 車両をセンタースタンドで立てます。

### 注意



安全で水平な場所に駐車してください。

### 注意



エンジンや排気系統は非常に高温になり、エンジンを止めた後もしばらくの間は熱くなっています。これらの部品を取り扱う際は断熱手袋を着用するか、または、エンジンと排気系統が冷めるまでお待ちください。

- エンジンを停止して、クランクケースのオイルが流れ落ちて冷めるまでお待ちください。

### 重要

これらの手順を踏まないと、エンジンオイル量の読み取りが正しく行われない場合があります。

- 計量スティック“1”のキャップを緩めて抜きます。
- きれいな布を使用し、オイルのついていない部分を拭き取ります。
- 計量スティック“1”を元の注油口“
- 2”に戻してキャップをよく閉めます。
- もう一度計量スティック“1”を抜き取り、スティックに残っているオイルのレベルを読み取ります。

MAX = 最大レベル

MIN = 最低レベル

《MAX》と《MIN》間のおよその差：

200 cc

- 計量スティックにマークされたレベルが《MAX》に近い場合は、オイルレベルは正常です。
- 必要に応じて補充します。

#### 注意



エンジンに重大な損傷を与える危険があるので、液面が“MAX” マークを超えない、また決して“MIN” マーク以下にならないよう注意してください。

## オイルの注入

- 注油口“2”の中に少量のオイルを流し込み、オイルパンの中まで一様に入り込むまで1分ほど待ちます。
- オイルレベルを測り、必要であれば補充します。
- オイルが正しい量になるまで、少しずつ補充を続けます。
- 補充終了後は、計量スティック“1”のキャップをよく閉めます。

#### 注意



注油が十分でない場合、または潤滑油が汚れているときや正しくないときは、車両を走行しないでください。可動部分の磨耗が早まり、修復できない損傷につながる場合があります。

## オイル交換 (04\_03, 04\_04)

エンジンオイルとフィルターの交換

交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。

## 注意



安全で水平な場所に駐車してください。

- 車両をセンタースタンドで立てます。

## 注意



エンジンや排気系統は非常に高温になり、エンジンを止めた後もしばらくの間は熱くなっています。これらの部品を取り扱う際は断熱手袋を着用するか、または、エンジンと排気系統が冷めるまでお待ちください。

- エンジンを停止してそのまま冷やします。これによりオイルがクランクケースに移り、冷やされます。
- 計量スティック《1》を回して取り外します。
- エンジンオイルフィルター《3》を緩めて取り外します。

## 注意



注油が十分でない場合、または潤滑油が汚れているときや正しくないときは、スクーターを走行しないでください。摩耗や可動部分の亀裂時期が早まり、修復できない損傷につながる場合があります。

- オイルドレンプラグ《4》を緩めて取り外し、エンジンオイルをすべて排出します。
- 新品のオイルフィルター《3》を取り付け、特に注意してフィルターのOリングに注油します。
- エンジンオイルドレンプラグ《4》を元どおりに締めます。

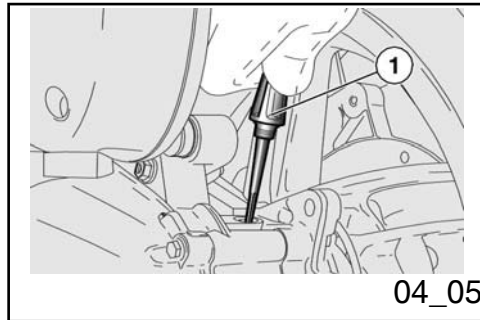
- エンジンオイル注入口《2》からオイルを補充します。
- 計量スティック《1》を取り付けて締めます。
- エンジンを始動し、数分間アイドリングさせます。 エンジンを停止してそのまま冷やします。 計量スティック《1》を使用してエンジンオイルレベルを再点検します。必要に応じて補充し、《MAX》レベルを超えないように注意してください。

補充や交換時には必ず、指定油脂類表に記載されている種類の新品のオイルを使用してください。

注意



使用済みのオイルは環境に有害な物質を含んでいるので、オイルの交換はaprilia正規代理店に依頼してください。 aprilia正規代理店では、法規制に従って環境に配慮した方法で使用済みオイルを処理することができます。



## ハブのオイルレベル (04\_05, 04\_06, 04\_07)

- 車両をセンタースタンドで立てます。

注意

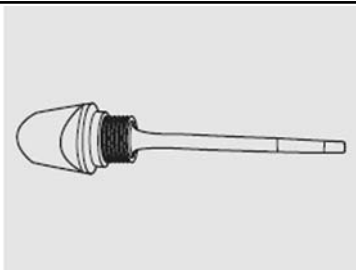


安全で水平な場所に駐車してください。

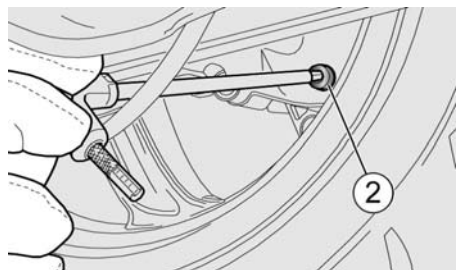
注意



エンジンや排気系統は非常に高温になり、エンジンを止めた後もしばらくの間は熱くなっています。これらの部品を取り扱う際は断熱手袋を着用するか、または、エンジンと排気系統が冷めるまでお待ちください。



04\_06



04\_07

- ・ 計量スティック“1”のキャップを緩めて抜きます。
- ・ きれいな布を使用し、オイルのついている部分を拭き取ります。
- ・ 計量スティック“1”を元の注油口に戻してキャップをよく閉めます。
- ・ もう一度、計量スティック“1”を抜き取り、スティックに残っているオイルのレベルを読み取ります。

MAX = 最大レベル

MIN = 最低レベル

- ・ 計量スティックにマークされたレベルが《MAX》に近い場合は、オイルレベルは正常です。
- ・ 必要に応じて補充します。

## 注意



液面が“MAX”マークを超えないようにしてください。また決して“MIN”マーク以下にならないよう注意してください。エンジンに重大な損傷を与える危険があります。

## 補充

- ・ 注油口に少量のオイルを注入し、オイルがクランクケースに均一に流れるように約1分間待ちます。
- ・ オイルレベルを点検し、必要に応じて補充します。
- ・ 規定のレベルに達するまで、少量ずつオイルを補充します。
- ・ この作業が終了したら、計量スティック《1》を取り付けて締めます。

補充や交換時には必ず、指定油脂類表に記載されている種類の新品のオイルを使用してください。

## 注意



注油が十分でない場合、または潤滑油が汚れているときや正しくないときは、スクーターを走行しないでください。摩耗や可動部分の亀裂時期が早まり、修復できない損傷につながる場合があります。

### 推奨商品

AGIP GEAR SYNTH SAE 75W-90  
トランスミッションオイル  
API GL4, GL5

### ギアボックスのオイル交換

交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。

#### 注意



安全で水平な場所に駐車してください。

- 車両をセンタースタンドで立てます。

#### 注意



エンジンや排気系統は非常に高温になり、エンジンを止めた後もしばらくの間は熱くなっています。これらの部品を取り扱う際は断熱手袋を着用するか、または、エンジンと排気系統が冷めるまでお待ちください。

- エンジンを停止して、クランクケースのオイルが流れ落ちて冷めるまでお待ちください。

#### 注意



トランスミッションオイルを交換する際は、オイルがリアブレーキディスクに付着しないようにしてください。

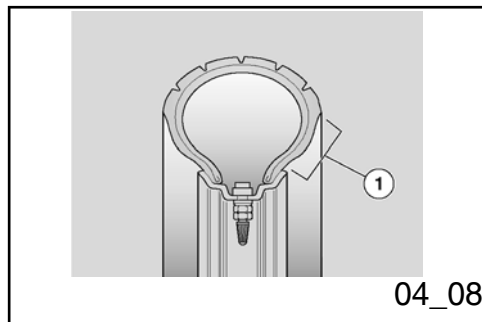
- 計量スティック《1》を回して取り外します。
- トランスミッションオイルドレンボルト《2》を緩めて取り外します。
- トランスミッションオイルを完全に排出し、適切な大きさの容器に集めます。
- トランスミッションオイルドレンボルト《2》を取り付けて締めます。
- 指定油脂類表に記載されている種類のトランスミッションオイルを適量補充します。
- 計量スティック《1》を取り付けて締めます。
- 計量スティック《1》を使用してトランスミッションオイルレベルを再点検します。必要に応じて補充し、《MAX》レベルを超えないように注意してください。

補充や交換時には必ず、指定油脂類表に記載されている種類の新品のオイルを使用してください。

### テクニカル仕様

オイル量：

250 cc



### タイヤ (04\_08, 04\_09)

タイヤ

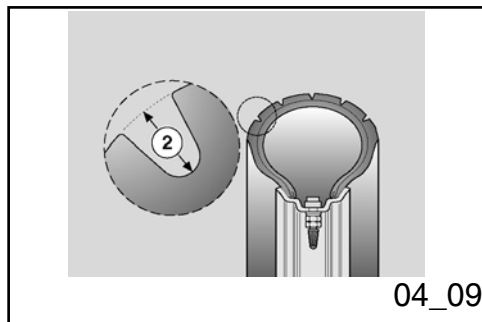
この車両は、チューブを使用しない（チューブレス）タイヤを装着しています。

注意



タイヤが外気と同じ温度の状態ですら、タイヤ空気圧を頻繁に点検してください。

タイヤが温まっていると正しく測定できないことがあります。特に長距離走行の前後にタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が高すぎると、路面の凹凸による衝撃が緩和されず、ハンドルに伝わります。その結果、走行快適性が失われ、特に方向転換時のグリップ



04\_09

プ力が低下します。

反対に、タイヤ空気圧が不足しているとタイヤ側面“1”に大きな圧力がかかり、タイヤがリムの上にかぶったり、リムから外れてしまい、車両のコントロールを失う可能性があります。急ブレーキ時には、タイヤがリムから外れ落ちる危険があります。カーブでは車両が横滑りする可能性が高くなります。タイヤの状態が悪いと路面グリップ力や操縦性を損ないますので、タイヤの接地面や側面の状態、および摩耗を常に点検してください。このスクーター用に承認されたタイヤの種類の中には、摩耗インジケーターを特徴とするものがあります。摩耗インジケーターにはさまざまな種類があります。

摩耗の点検方法については、最寄りの正規代理店にご相談ください。タイヤの消耗について目視点検を行い、摩耗が進んでいる場合は交換してください。古いタイヤは、完全に摩耗してなくても固くなっていて、グリップ力が不足している場合があります。そのような場合はタイヤを交換してください。タイヤが摩耗している場合、またはトレッドに5 mm以上の穴がある場合は、タイヤを交換してください。タイヤを修理した後は、ホイールのバランスを調整してください。タイヤは必ずメーカーが指定するサイズを使用してください。チューブレスタイヤ用のリムにはチューブタイヤを装着しないでください。また、チューブタイヤ用のリムにはチューブレスタイヤを装着しないでください。突然タイヤの空気が抜けることのないように、空気注入バルブにキャップが付いているか確認してください。

交換、修理、メンテナンス、バランス調整は非常に重要な作業であり、その実施には特殊な技術と知識が必要です。そのため、aprilia正規代理店またはタイヤ専門のワークショップに上記の作業を依頼してください。新品のタイヤには滑りやすいコーティングが施されている場合があります。最初の数キロ間は注意して走行してください。タイヤに不適切な液体を塗布しないでください。

### タイヤ磨耗限界の溝の深さ“2”

特徴	概要/数値
フロント :	1.5 mm
リア :	1.5 mm

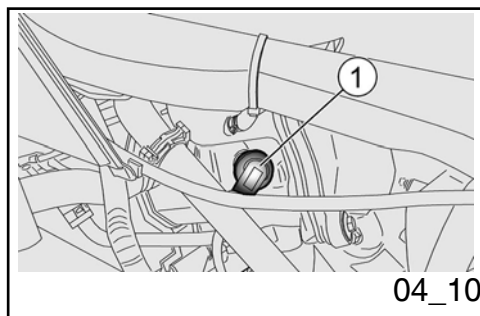


### タイヤ磨耗限界の溝の深さ“2” (USA仕様)

特徴	概要/数値
フロント (USA仕様)	3 mm
リア (USA仕様)	3 mm

### タイヤ形式

特徴	概要/数値
フロントタイヤ	BRIDGESTONE 110/90 -13" 56P HOOP
リアタイヤ	BRIDGESTONE 130/70 -13" 63P REINF HOOP
フロントタイヤ	SAVA 110/90-13" ' 56P MC28 DIAMONDS
リアタイヤ	SAVA 130/70 13" ' 63P REINF MC28 DIAMONDS



04\_10

### スパークプラグの取り外し (04\_10)

メンテナンススケジュールの作業を行うごとにスパークプラグを点検してください。定期的にスパークプラグを取り外して、付着したカーボンなどを取り除き、必要に応じて交換してください。

スパークプラグを取り外すには：

- 右インスペクションカバーを取り外します。

取り外しと清掃：

## 注意



火傷の危険がありますので、エンジンおよびマフラーが室温に戻るまで冷ましてから以下の作業を始めてください。

- 高圧ケーブルのキャップ《1》をスパークプラグから外します。
- スパークプラグ本体の汚れを拭き取ります。 ツールキットのスパナを使用してスパークプラグを緩めて、埃やゴミなどがシリンダーに入らないように注意しながら台座から取り外します。
- スパークプラグの電極と絶縁碍子にカーボンや錆が付着していないか確認してください。 必要に応じて、適切なスパークプラグクリーナーや針金、ブラシを使用して清掃してください。
- 取り除いた汚れがエンジンに入らないように、強力なエアブラストで圧縮空気を吹き付けてください。 スパークプラグの絶縁材に亀裂がある場合や、電極が腐食していたり付着物が多い場合は、スパークプラグを交換してください。
- すき間ゲージを使用して電極間のギャップを点検します。 ギャップは0.7 - 0.8 mm 間でなければなりません。 必要に応じて、接地電極を慎重に曲げてギャップを調整してください。
- ワッシャーの状態を確認します。 ワッシャーが取り付けられている場合は、ネジ部を傷つけないようにスパークプラグを手で締め付けます。
- ツールキットのスパナを使用して、ワッシャーを圧縮するためにスパークプラグを半回転させて締め付けます。

## 注意



スパークプラグを正しく締め付けてください。 そうしないと、エンジンがオーバーヒートし、致命的な損傷が起こることがあります。 スパークプラグは必ず推奨されている種類を使用してください。 その他の種類を使用すると、エンジンの性能と寿命に悪影響を与える可能性があります。

## テクニカル仕様

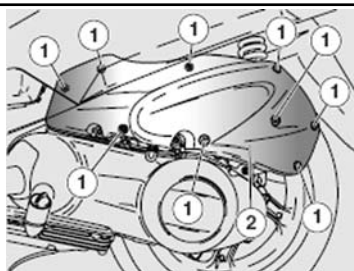
スパークプラグの締め付けトルク：

12 ÷ 14 Nm (1.2 ÷ 1.4 kg)

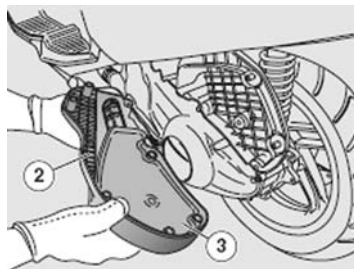
スパークプラグ電極間のギャップ

0.7 -0.8mm

- スパークプラグキャップは、エンジンの振動で外れてしまわないように正しく取り付けてください。
- 右インスペクションカバーを取り付けます。



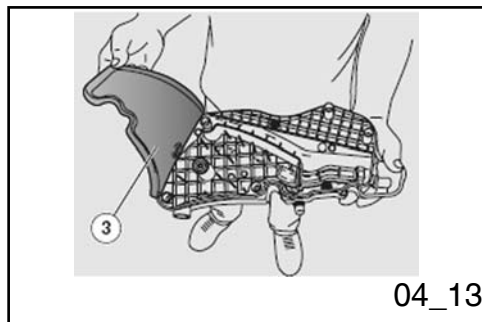
04\_11



04\_12

## エアフィルタの取り外し (04\_11, 04\_12)

- 車両をセンタースタンドで立てます。
- 9本のネジ《1》を緩めて取り外します。
- フィルターハウジングカバー《2》をフィルターエレメント《3》と共に取り外します。
- フィルターエレメント《3》を点検し、必要に応じて交換します。



04\_13

## エアフィルターのクリーニング (04\_13)

メンテナンススケジュール表の指示に従って、エアフィルターの清掃と点検を行ってください。埃っぽい道路や濡れた路面でスクーターを使用した場合は、より頻繁にフィルターの清掃と交換を行ってください。

- 清掃のため、フィルターエレメントをスクーターから取り外します。
- 圧縮空気を吹き付けてフィルターエレメント《3》を清掃します。

### 注意



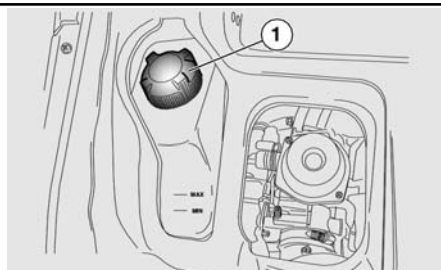
火災や爆発の危険を避けるため、フィルターエレメントの清掃にはガソリンや可燃性の溶剤を使用しないでください。

フィルターハウジングに湿気が入らないようにするため、清掃時には添加剤や液体を使用しないでください。圧縮空気のみを使用してください。

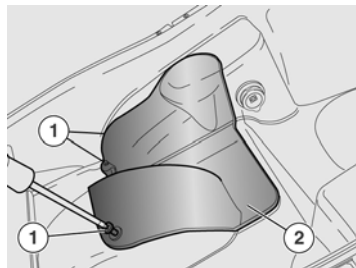
### 注意



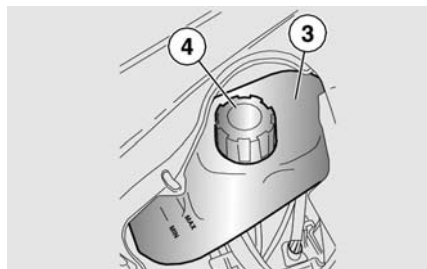
フィルターエレメントには注油しないでください。注油するとオイルがベルトハウジングに入り、損傷や滑りが生じる場合があります。



04\_14



04\_15



04\_16

## クーラントレベル (04\_14, 04\_15, 04\_16)

冷却液レベルの点検は定期的に行うか、または長距離を走行した後に行ってください。冷却液は2年に1度aprilia正規代理店で交換してください。

冷却液は水50%と不凍液50%で作られています。この混合率の冷却液は通常の使用温度範囲において最適であり、また防錆効果も良好です。この混合率の冷却液は蒸発による減少が小さく、補充回数も少なくて済みますので、夏季も含めて一年中この混合率を維持するようお勧めします。そのため、水分の蒸発によるラジエーター内の塩の沈着も最小限に留まり、冷却システムの性能に悪影響を及ぼしません。外気温が0°以下になる場合は頻繁に冷却システムの点検を行ってください。必要に応じて不凍液の混合率を（最大60%まで）上げてかまいません。

エンジンを損傷しないようにするため、冷却液には蒸留水を使用してください。

注意



冷却液のレベルが規定レベル“MIN”以下のときは車両を使用しないでください。

注意



冷却液は有毒ですので決して飲み込まないでください。また、皮膚に付いたり眼に入ったりすると炎症の原因になります。冷却液が眼に入ったり、皮膚に付いたりした時は、流水で十分に洗い落とし医師の診察を受けてください。誤って飲み込んだ場合には吐き出してから喉、口を水で十分に洗浄し、直ちに医師の診察を受けてください。

注意



環境保護のためオイルは適切に処理してください。

注意



子供の手の届かない場所に保管してください

#### 注意

高温になっているエンジンのコンポーネントに冷却液をかけないように注意してください。引火して目に見えない炎が発生する場合があります。メンテナンス作業を行う際は、ゴム手袋の着用をお薦めします。交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。

#### 注意



エンジンが熱い間は冷却液が加圧されており液温も高いので、補助タンクの栓《4》を決して外さないでください。冷却液が皮膚や衣服につくとひどい火傷や衣類の損傷をおこすことがあります。

#### 点検

エンジンを停止して、冷めるまでお待ちください。

- シート下のヘルメットコンパートメントを開きます。
- ネジ《1》を緩めて、インスペクションカバー《2》を取り外します。
- エキスパンションタンク《3》の冷却液のレベルが《MIN》と《MAX》の間にあることを確認します。

MIN = 最低レベル

MAX = 最大レベル

別の方法：

- 注入口のキャップ《4》を（時計回りに回して）緩めます。ただし、取り外しません。
- 圧力を逃がすために数秒間待ちます。
- キャップ《4》を緩めて取り外します。

#### 注意



冷却液の点検や補充はエンジンが冷えている時に行ってください。

## 注意



冷却液は有毒ですので決して飲み込まないでください。また、皮膚に付いたり眼に入ったりすると炎症の原因になります。冷却液が入っているかどうかを点検する際に、指や物を入れないようにしてください。

## 補充

- 冷却液レベルが《MAX》マーク付近になるまで冷却液を補充します。
- 注入口のキャップ《4》を取り付けます。
- インスペクションカバーを取り付け、正しく固定されたか慎重に確認します。

## 注意

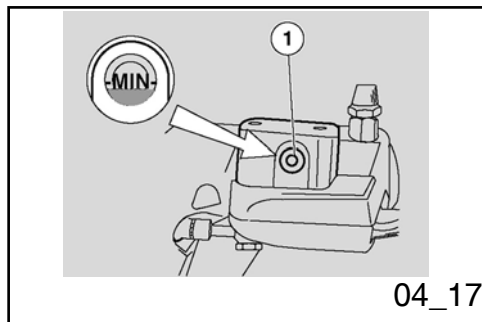


補充する際、“MAX”レベルを超えないようにしてください。入れ過ぎると、エンジン作動時に液が流れ出る可能性があります。

## 注意



冷却液の消費が激しい場合、またはリザーバーが空になっている場合、系統内に漏れがないか点検してください。修理は aprilia 正規代理店にご依頼ください。



## ブレーキ油レベルの点検 (04\_17)

以下の説明は一つのブレーキシステムについてですが、内容はフロント、リア共に共通です。

ブレーキパッドが摩耗している場合、リザーバーのブレーキオイルレベルが下がり、自動的に摩耗を補います。

ブレーキオイルリザーバーはハンドルのブレーキレバー取り付け部付近にあります。

リザーバーのブレーキオイルレベルとブレーキパッドの摩耗を頻繁に点検してください。

### 重要

このモーターサイクルはフロント、リアともそれぞれ独立した油圧システムによるディスクブレーキを装備しています。

### 注意



ブレーキシステムにオイル漏れが確認された場合は、車両を使用しないでください。

レベルを点検するには：

### 注意



安全で水平な場所に駐車してください。

- 車両をセンタースタンドで立てます。
- ハンドルを回して、ブレーキオイルリザーバーのオイルが《MIN》マーク（点検窓《1》）と平行になるようにします。
- リザーバーのオイルが《MIN》マーク（点検窓《1》）を超えているか点検します。

MIN = 最低レベル

### 注意





ブレーキオイルの量が規定レベル“MIN”以下のときは車両を使用しないでください。

注意

ブレーキオイル液面はブレーキパッドの摩耗につれて徐々に下がってきます。

オイルレベルが低すぎる場合：

- ブレーキパッドおよびディスクの摩耗を点検します。

パッドおよび（または）ディスクを交換する必要がある場合：

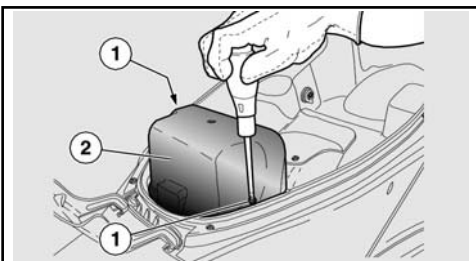
- オイルの補充はaprilia正規代理店にご依頼ください。

注意

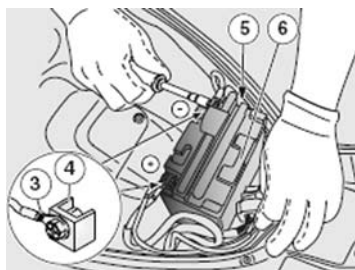


ブレーキの効き具合を点検してください。

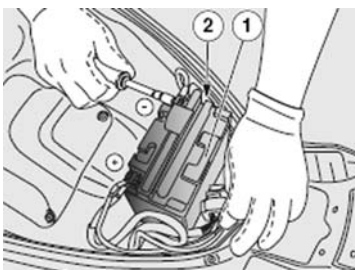
ブレーキレバーのストロークが大き過ぎる場合や、ブレーキ系統の性能が低下している場合は、系統のエア抜きを行う必要があるかもしれませんので、スクーターをaprilia正規代理店へお持ちください。



04\_18



04\_19



04\_20

## バッテリー (04\_18, 04\_19)

バッテリー電解液のレベルとターミナルの締め付け具合を、メンテナンススケジュール表の中で排気量別に記載されている指示に従って点検します。

### 注意



火災の危険があります。燃料や引火しやすいものを電気部品に近付けないでください。

バッテリー液は硫酸を含んでいるため毒性と腐食性があり、皮膚に触れると火傷する危険があります。作業時は防護服を着用し、顔や目もプロテクターを使用してください。バッテリー液が皮膚に付着した場合は直ちに冷水で十分に洗い流してください。

もしも目に入った場合は、15分間ほど多量の水で洗い流し、直ちに眼科医の診断を受けてください。

飲み込んでしまった場合には、大量の水か牛乳を飲み、それから、酸化マグネシウム液か植物性オイルを飲み、直ちに医者に見せてください。

バッテリーは爆発性のガスを発生しますので、火気、火花、たばこ、その他の熱源などから遠ざけてください。

バッテリーの充電または使用は、換気の良い場所で行ってください。バッテリーの充電時に放出されるガスを吸い込まないようにしてください。

バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください

車両を傾け過ぎ、バッテリー電解液をこぼさないように注意してください。

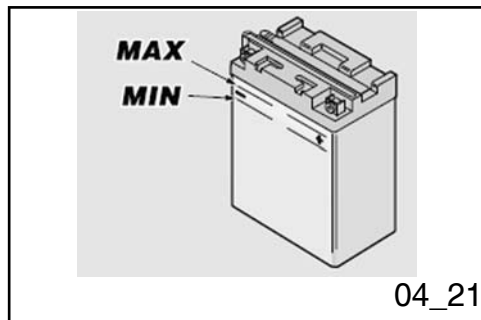
### 注意



バッテリーのリード線を逆に接続しないでください。

イグニッションスイッチを「OFF」の位置にした状態で、バッテリーの接続と取り外しを行ってください。そうしないと、コンポーネントを損傷する可能性があります。先にプラスターミナル(+)を接続してから、マイナスターミナル(-)を接続してください。接続を外すときは逆の順序で行ってください。

バッテリー液には腐食性があります。



特にプラスチックの部分にバッテリー液がこぼれたり飛び散らないようにしてください。

装着されている“メンテナンスフリー”のバッテリーを充電する際は、専用バッテリーチャージャー（一定電圧／電流または一定電圧タイプ）を使用してください。

その他のバッテリーチャージャーを使用すると、バッテリーを損傷する場合があります。

#### バッテリーカバーの取り外し

- イグニッションスイッチが《OFF》の位置になっていることを確認します。
- シートを持ち上げます。
- 2本のネジ《1》を緩めて取り外します。
- バッテリーカバー《2》を外します。

#### 注意



安全で水平な場所に駐車してください。

#### リード線とターミナルの点検と清掃

- バッテリーカバーを取り外します。
- イグニッションスイッチが《OFF》の位置になっていることを確認します。
- バッテリーのリード線《3》とターミナル《4》が以下の状態であるか点検します。
  - 良好な状態である（腐食がなく、付着物がない）
  - 中性グリスまたは石油ゼリーが塗布されている

必要に応じて：

- 先にマイナスのリード線（-）を外してから、プラスのリード線（+）を外します。
- 金属製の毛ブラシで腐食をすべて取り除きます。
- 先にプラスのリード線（+）を接続してから、マイナスのリード線（-）を接続します。
- リード線とターミナルに中性グリスまたは石油ゼリーを塗布します。

#### バッテリーの取り外し

- バッテリーカバーを取り外します。
- 先にマイナスのリード線 (-) を外してから、プラスのリード線 (+) を外します。
- バッテリー《6》をハウジングから取り外し、涼しくて湿気のない場所に水平に置きます。

#### 注意



バッテリーを取り外した後は、子供の手の届かない安全な場所に置いてください。

- バッテリーカバーを取り付けます。

#### 注意



バッテリーの電解液がブリーザパイプからこぼれないように、最大限の注意を払って取り扱ってください。

#### バッテリーの充電

- バッテリーを取り外します。
- バッテリーをバッテリーチャージャーに接続します。
- バッテリー定格電流の1/10の電流で充電することをお勧めします。

#### 重要

必ずチャージャーを外してから5-10分経過した後にバッテリーを取り付けてください。外した後もバッテリーは少しの間ガスを生成し続けるためです。

#### 新品バッテリーの使用 (04\_20)

- バッテリーカバーを取り外します。

- バッテリー《1》をハウジング内の元の場所に戻します。
- プリーザパイプ《2》をバッテリーに接続します。

## 注意



バッテリーには必ずプリーザパイプを接続してください。さもないとあふれた電解液が電装系、塗装面、ゴム部品、ガスケットなどを腐食させます。

- 先にプラスのリード線 (+) を接続してから、マイナスのリード線 (-) を接続します。
- リード線とターミナルに中性グリスまたは石油ゼリーを塗布します。
- バッテリーカバーを取り付けます。

## 電解液レベルの点検 (04\_21)

電解液レベルを点検するには

- バッテリーカバーを取り外します。
- 電解液レベルが、バッテリー側面に刻印された《MIN》と《MAX》マークの間にあるかどうか点検します。

不足している場合：

- セルキャップを取り外します。
- 蒸留水を加えて電解液レベルを調整します。

## 注意



電解液を補充するときは必ず蒸留水をお使いください。充電中に電解液レベルが上昇するので、補充するときは《MAX》を越えないようにしてください。

## 長期間使用しない場合

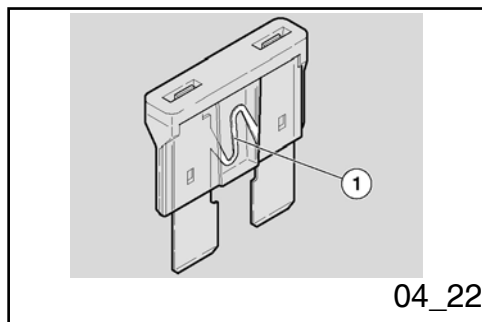
スクーターを15日間以上使用しない場合は、硫酸化を防ぐためにバッテリーを充電する必要があります。

- バッテリーを取り外し、涼しく湿気のない場所に置いてください。

冬季や車両を動かさないときには、劣化を防ぐために、時々（月に1回程度）充電量を点検してください。

- 通常の充電時は満充電してください。

バッテリーを車両に取り付けたままにする場合は、ターミナルからケーブルを外してください。



## ヒューズ (04\_22, 04\_23, 04\_24, 04\_25, 04\_26)

注意



不良ヒューズを修理して使うことはやめてください。規格に合ったヒューズ以外は決して使わないでください。ショートした場合には電気系統に損傷を与えるだけでなく火災の危険もあります。

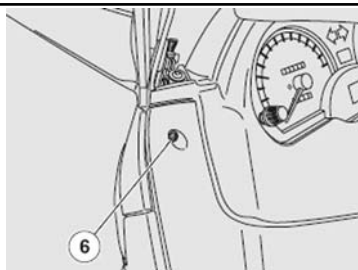
注意



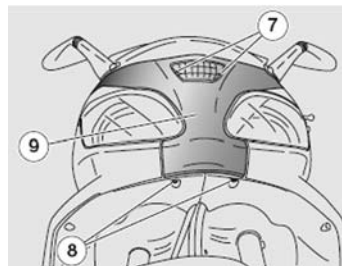
頻繁にヒューズが飛ぶ場合は、ショートや過負荷が原因となっている場合があります。aprilia正規代理店にご相談ください。

電気部品が作動しなかったり動作が不規則な場合、またはエンジンの始動ができない場合などは各ヒューズを点検してください。

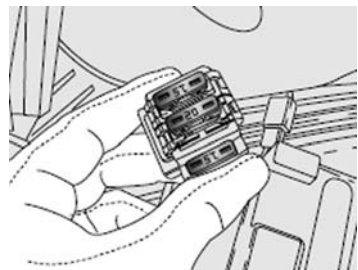
先に15Aのヒューズを点検してから、20Aのヒューズを点検してください。



04\_23



04\_24



04\_25

以下の手順でヒューズを取り外します：

車両をセンタースタンドで立てます。

メインヒューズ：

- バッテリーカバーを取り外します。

二次ヒューズ：

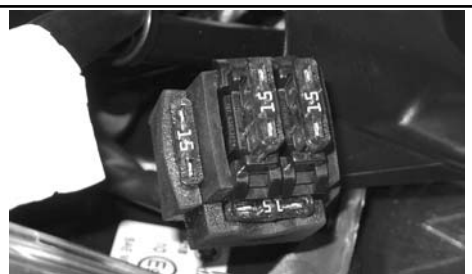
- 2本のネジ《6》を緩めて取り外します。
- 2本のネジ《7》を緩めて取り外します。
- 2本のネジ《8》を緩めて取り外します。
- フロントカバー《9》を慎重に引いて取り外します。

点検を行うには：

- ヒューズを一つずつ取り出し、フィラメント《1》が切れていないか点検します。
- 切れたヒューズを交換する前に、できるだけ切れた原因を調べてください。
- ヒューズが切れている場合は同じ電流容量の新しいヒューズに交換します。

#### 重要

交換にスペアヒューズを使用した場合は、新品の同じヒューズを必ずその場所に補充しておいてください。



04\_26

### メインヒューズの配置（バッテリーコンパートメント）

特徴	概要/数値
20Aヒューズ	バッテリーから イグニッションスイッチ、クーリングファンリレー、コントロールユニット
15Aヒューズ	バッテリーから プラグソケット、ヘルメットコンパートメントライト

### 二次ヒューズの配置（フロントカバー）

特徴	概要/数値
15Aヒューズ	イグニッションスイッチから メーターパネル警告灯、ライト、警告ホーン、ブレーキライト
15Aヒューズ	イグニッションスイッチから イグニッションセーフティ回路、イ



---

## インジェクションリレー、メーター パネル警告灯

---

### ランプ

#### 注意



火災の危険があります。 燃料や引火しやすいものを電気部品に近付けないでください。

#### 注意



電球を交換する前に、イグニッションスイッチを“OFF”にして、電球が冷めるまで数分お待ちください。

電球を交換する際は、清潔な手袋を着用するか、乾いた清潔なウエスを使用してください。

電球に指紋を付けないでください。電球が熱くなりすぎたり切れたりする原因になります。手袋を着用せずに電球に触れた場合は、電球の損傷を防ぐため、アルコールで指紋をふき取ってください。

電気ケーブルを無理に取り扱うことのないようにしてください。

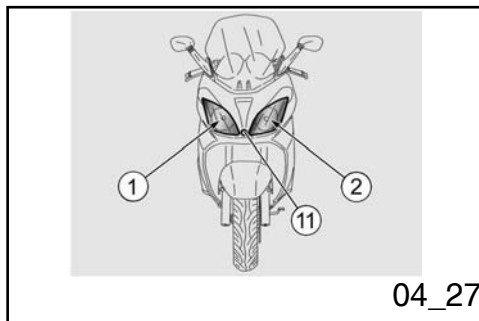
#### 重要

電球を交換する前に各ヒューズを点検してください。

### バルブ

特徴	概要/数値
リアライトバルブ/ブレーキ	12V - 5W/21W

ウィンカーライトバルブ	12V - 10W
テールライトバルブ	12V - 16W
ハイビームライトバルブ	12V - 55W
ロービームライトバルブ	12V - 55W
メーターパネルライト	12V - 1.2W
ウィンカーライトインジケーター	12V - 1.2W
エンジンオイル警告灯	12V - 1.2W
ロービームインジケーター	12V - 1.2W
ハイビームインジケーター	12V - 1.2W
燃料警告灯	12V - 1.2W



## フロントランプユニット (04\_27, 04\_28, 04\_29, 04\_30, 04\_31)

フロントライトバルブの交換

フロントライトの構成：

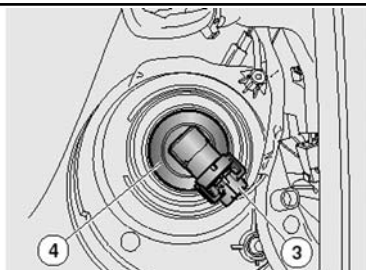
- ハイビームライトバルブ《1》
- ロービームライトバルブ《2》
- フロントポジションライトバルブ《11》

交換する場合：

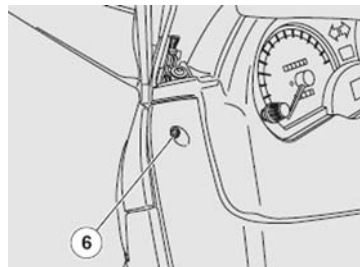
- グローブボックスを開き、ストロークロッドの端を軽く押し下げて外します。

ハイビームとロービームのバルブ

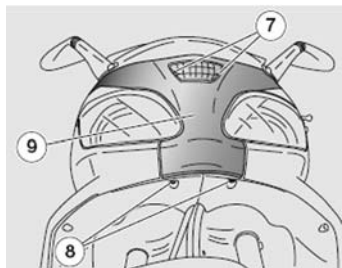
- バルブコネクター《3》をつかみ、バルブから引き抜きます。



04\_28



04\_29



04\_30

- バルブ《4》を反時計回りに回し、皿型のフィッティングから取り外します。

取り付け時：

- バルブ《4》を皿型のフィッティングに取り付け、時計回りに回します。
- バルブコネクター《3》を接続します。

#### 注意

バルブコネクターを外すときに、電気ケーブルを引っ張らないでください。

#### 重要

バルブの3つのツメがバルブホルダーの溝に合うようにして、バルブを皿型のフィッティングに差し込んでください。

#### ポジションライトバルブの交換

- 車両をセンタースタンドで立てます。
- 2本のネジ《6》を緩めて取り外します。

- 2本のネジ《7》を緩めて取り外します。
- 2本のネジ《8》を緩めて取り外します。

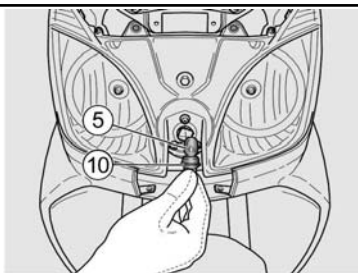
#### 注意



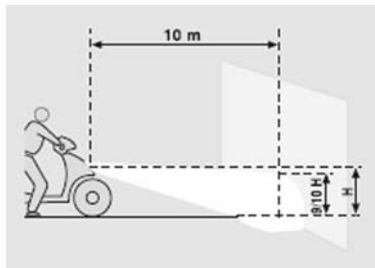
取り外す際に、トングに取り付けられているクリップが落ちないように注意してください。

- フロントカバー《9》を慎重に引いて取り外します。

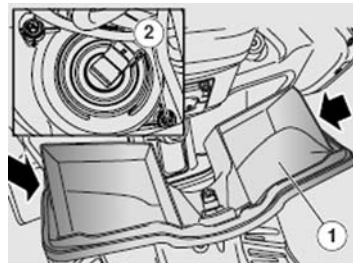
- バルブホルダー《10》の後部から、バルブホルダー全体を回して引き抜きます。



04\_31



04\_32



04\_33

- バルブ《5》をフィッティングから引き抜きます。
- 同型の新品のバルブを正しく取り付けます。取り付け時は、逆の手順で行ってください。

#### 重要

ポジションライトバルブの交換のために、ヘッドライトレンズや皿型フィッティングの作業や取り外しを行う必要はありません。

#### 注意



慎重に作業してください。

ツメやツメに合わせる溝を損傷しないようにしてください。

プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。

#### 重要

2つのガイドピンがバルブホルダーのガイドに合うようにして、バルブ《5》をバルブホルダー《10》に差し込んでください。

#### 重要

取り付け時は、適切なクリップを使用してツメを溝に差し込んでください。

### ヘッドランプの調整 (04\_32, 04\_33, 04\_34)

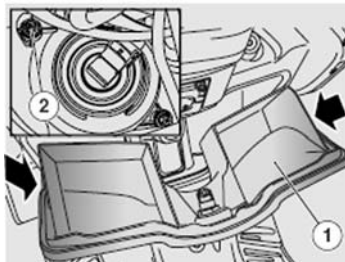
#### 縦方向の光軸の調整

フロントライトの光軸の向きを簡単に点検するには、平らな地面であることを確認して、スクーターを垂直な壁から10 m離れた場所に停車してください。

ロービームを点灯してスクーターに着座し、壁に投影された光がヘッドライトの高さよりも少し下にあるか点検します（高さの約9/10のところ）。

光軸を調整するには：

- グローブボックス《1》を開き、ストロークロッドの端を軽く押し下げて外します。



04\_34

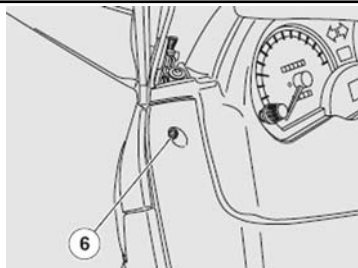
- 上部の取り外し用トングを押して、左右のプロテクションカバーを取り外します。
- ドライバーまたは8 mmコンビネーションスパナを使用して、両方のヘッドライト用の下部調整ネジ《2》を外します。
  - 時計回りに回すと光軸が下向きになります。
  - 反時計回りに回すと光軸が上向きになります。

#### 横方向の光軸の調整

- グローブボックス《1》を開き、ストロークロッドの端を軽く押し下げて外します。
- 上部の取り付け用トングを使用して、左右のプロテクションカバーを取り外します。

光軸を調整するには：

- ドライバーまたは8 mmコンビネーションスパナを使用して、両方のヘッドライト用の上部調整ネジ《2》を外します。 時計回りに回すと光軸が左へ移動します（走行方向に向かって）。 反時計回りに回すと光軸が右へ移動します（走行方向に向かって）。



04\_35

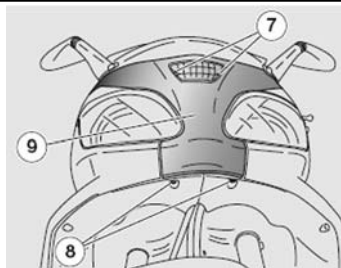
#### フロントターンシグナルランプ (04\_35, 04\_36, 04\_37)

##### バルブの交換

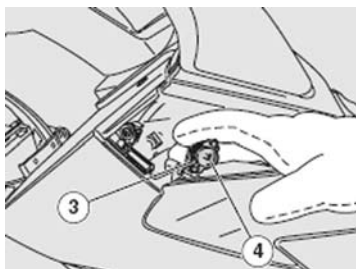
交換する場合：

- 車両をセクタースタンドで立てます。
- 2本のネジ《6》を緩めて取り外します。
- 2本のネジ《7》を緩めて取り外します。
- 2本のネジ《8》を緩めて取り外します。

注意



04\_36



04\_37

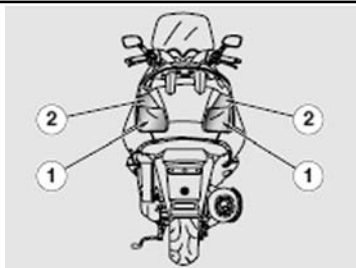


取り外す際に、トングに取り付けられているクリップが落ちないように注意してください。

- フロントカバー《9》を慎重に引いて取り外します。
- 車両のフロント部分からホルダー《3》をバルブ《4》と共に時計回りに回し、フィッティングから取り外します。
- バルブ《4》を軽く押しながら、反時計回りに回します。
- バルブをフィッティングから取り外します。
- 同型のバルブを正しく取り付けます。
- 取り付けるときは逆の順序で行ってください。

#### 重要

2つのガイドピンが電球ホルダーのガイド穴に合うようにして、電球を電球ホルダーに差し込んでください。



04\_38

## テールランプユニット (04\_38, 04\_39, 04\_40)

リアライトバルブの交換

リアライトの構成：

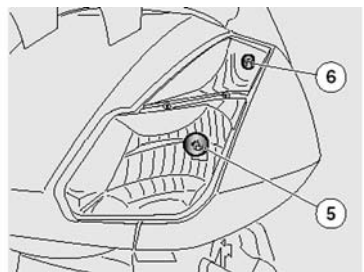
- 2個のテールライト／ブレーキライトバルブ《1》
- 2個のリアウィンカーライトバルブ《2》

交換する場合：

- 2本の固定ネジ《3》を緩めて、レンズ《4》を取り外します。



04\_39



04\_40

**重要**

以下の記述は片方のライトに関するものですが、両方のライトに当てはまります。

**注意**

慎重に作業してください。

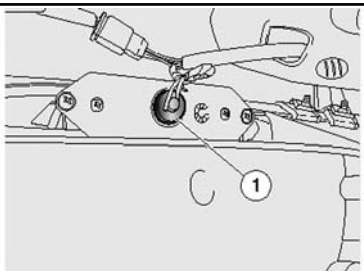
ツメやツメに合わせる溝を損傷しないようにしてください。

プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。

- テールライト／ブレーキライトバルブ《5》またはウィンカーライトバルブ《6》を反時計回りに回して外します。
- 同型のバルブを正しく取り付けます。

**注意**

取り付ける際に、レンズ《4》を正しい位置に取り付けてください。



04\_41

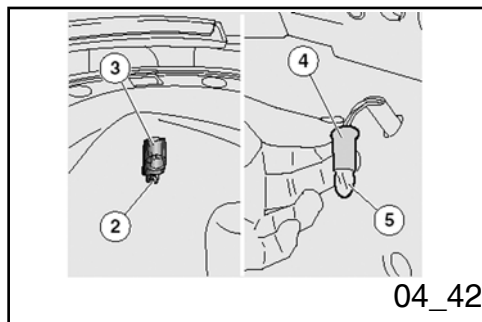
**ナンバープレート照明 (04\_41)**

交換する場合：

- バルブホルダー《1》をつかんで引き、台座から取り外します。
- バルブを外し、同型のバルブと交換します。

**注意**

バルブホルダーを外すときに、電気ケーブルを引っ張らないでください。



04\_42

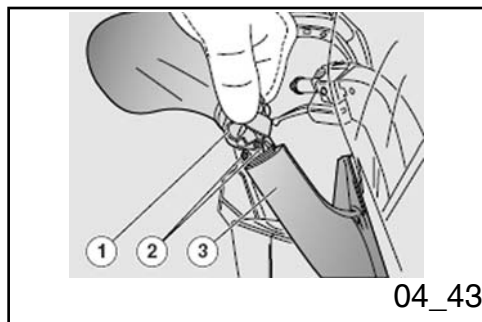
## ヘルメット収納スペース照明のバルブ (04\_42)

交換する場合：

- シートを持ち上げます。
- バッテリーカバーレンズの固定ネジ《2》を緩めて取り外します。
- レンズ《3》を取り外し、下方へ外します。
- バルブホルダー《4》をつかんで引き、台座から取り外します。
- バルブ《5》を外し、同型のバルブと交換します。

注意

バルブホルダーを外すときに、電気ケーブルを引っ張らないでください。



04\_43

## バックミラー (04\_43, 04\_44)

以下の記述は片方のバックミラーに関するものですが、両方のバックミラーに当てはまります。

- 車両をセンタースタンドで立てます。
- 保護ラバーリング《1》を持ち上げ、2本の固定ネジ《2》を外します。
- プロテクションカバー《3》を取り外します。
- 2本の固定ネジ《5》を取り外します。
- バックミラー《4》を取り外します。

重要

左右バックミラーのコンポーネントは別々に組み立ててください。

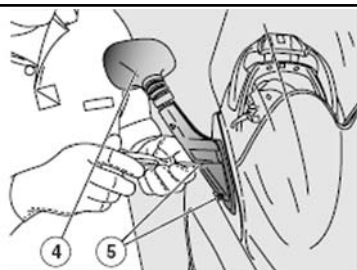
注意



バックミラー“4”が誤って落ちないように保持してください。

注意

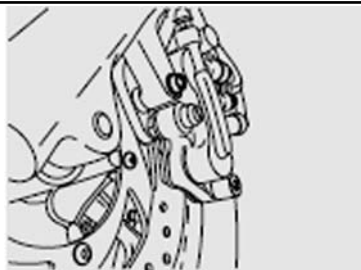




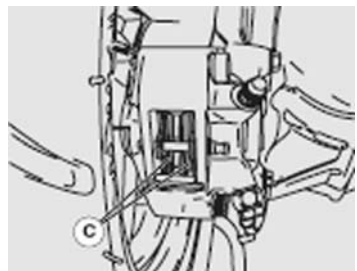
04\_44



プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。



04\_45



04\_46

## フロント、リアディスクブレーキ (04\_45, 04\_46, 04\_47)

### 重要

この車両には、油圧系統を個別に備えたフロントおよびリアディスクブレーキが装着されています。以下の記述は片方のブレーキ系統に関するものですが、両方のブレーキ系統に当てはまります。

### 注意



突然ブレーキレバーの遊びが変わったり、重くなったりした時は、油圧系統に何らかの不具合が発生した可能性があります。ブレーキ系統が正常に機能しているか疑わしい場合や、通常の点検が実施できない場合は、aprilia正規代理店にご相談ください。

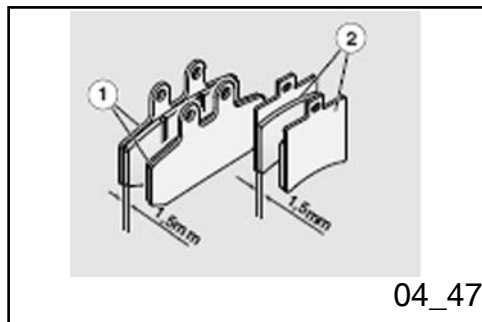
### 注意



ブレーキディスクとブレーキパッドには特に注意し、メンテナンス作業や点検の後には特にオイルやグリスが付着していないか確認してください。

ブレーキパイプがねじれたり擦り切れていないか確認してください。

環境保護のためオイルは適切に処理してください。



バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください

#### 注意



ブレーキは安全性を確保するために最も重要なコンポーネントであるため、常に完璧な状態でなければなりません。走行前には毎回チェックしてください。

ディスクが汚れているとパッドも汚れ、ブレーキの効きが悪くなります。汚れたパッドを交換し、高品質の脱脂剤を使用して汚れたディスクを清掃してください。

ブレーキオイルは2年に1度aprilia正規代理店で交換してください。

ブレーキシステムが正常に機能しているか疑わしい場合や、通常の点検が実施できない場合は、お気軽にaprilia正規代理店にご相談ください

#### パッドの摩耗点検

メンテナンススケジュール表の指示に従って、ブレーキパッドの摩耗を点検してください。

ディスクブレーキパッドの摩耗は使用状況や走行スタイル、走行路によって異なります。

#### 重要

以下の記述は片方のブレーキシステムに関するものですが、両方のブレーキシステムに当てはまりません。

#### 注意



走行前には必ずブレーキパッドの摩耗を点検してください。

パッドをすばやく点検するには：

- 車両をセンタースタンドで立てます。

- 以下のようにブレーキディスクとパッドの目視点検を行います。

フロントブレーキキャリパー

- 両キャリパーの前方下側から

リアブレーキキャリパー

- 両パッドの後方下側から《C》

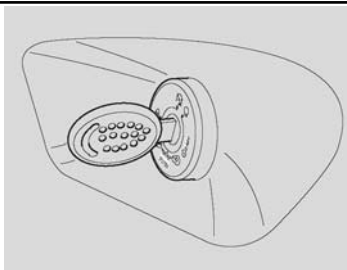
#### 重要

摩擦材の過度の摩耗により、パッドのメタルサポートがディスクに接触します。これがキャリパー内で金属音や火花を引き起こします。それにより、ブレーキの効きとディスクの安全性および性能が低下する危険があります。

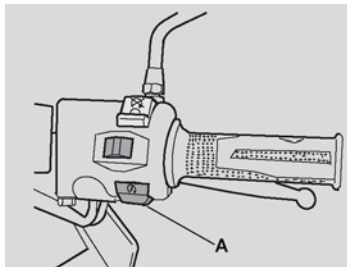
- 摩擦材の厚さ（片側のパッドだけでも）が約1.5 mmになった場合は、両方のパッドを交換してください。
- フロントパッド《1》
- リアパッド《2》

#### 注意

交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。



04\_48



04\_49

## 使用していない期間 (04\_48, 04\_49)

スクーターを使用しないことによって悪影響が生じないように、いくつかの処置を行ってください。また、スクーターを保管する前には通常の修理と点検を実施してください。後からでは実施し忘れてしまう場合があります。

次の作業を行ってください：

- 燃料タンクを完全に空にします。
- スパークプラグを取り外します。
- 小さじ1杯 (5 -10 cm) のエンジンオイルをシリンダーに入れます。

### 重要

飛び散るオイルから保護するため、シリンダーのスパークプラグ取り付け部付近に清潔な布をかけてください。

- オイルをシリンダーの表面に均一に分散させるため、イグニッションスイッチを“ON”にして、スターターボタン“ A”を数秒間押します。
- 保護用の布を取り外します。
- スパークプラグを取り付けます。
- バッテリーを取り外します。
- スクーターを洗車して乾かします。
- 塗装面を磨きます。
- タイヤに空気を入れます。
- 専用のサポートを使用して、両方のタイヤが地面に着かないようにしてスクーターを置いてください。
- 直射日光の当たらない、涼しく乾燥した温度変化の少ない場所に保管してください。
- マフラーの先端にビニール袋をかぶせて、湿気が入らないように縛ってください。
- スクーターにカバーを掛けてください。ただし、プラスチック素材や防水性のものを使用しないでください。

長期間使用しなかった後では：

- カバーを外し、スクーターを清掃します。
- バッテリーが充電された状態であるか確認してから取り付けます。
- 燃料タンクに燃料を充填します。
- 走行前に点検を行ってください。

## 注意



試験的に数キロ間、通行が少ない場所で速度を控えめにして走行してください。

## 洗車

次のような地域や条件下で走行した場合は、スクーターを頻繁に清掃してください。

- 環境汚染地域（市街地、工業地区）。
- 塩分や湿度の高い地域（海辺、高温多湿の気候）。
- 環境／季節による特殊条件の地域（冬季は道路に塩や凍結防止剤を撒く地域）。
- 産業による埃や汚染物質が車体に付着しないように特に注意してください。タールの汚れ、昆虫の死骸、鳥の糞なども取り除いてください。
- 木の下には駐車しないようにしてください。季節によっては車に落ちる樹脂、木の实、葉などに含まれる物質で塗装を傷めることがあります。

## 注意



洗車後、ブレーキの摩擦面に付いた水が、一時的にブレーキの効きに影響を及ぼす場合があります。事故を防ぐため、制動距離が長くなることを予測して運転してください。正常な状態に戻すためにはブレーキ操作を繰り返し行ってください。走行前に点検を行ってください。

塗装面に付着した埃や泥を落とすには、低い圧力で水を噴射して、汚れた部分すべてを慎重に濡らしてください。水で薄めた洗剤（水に対して洗剤が2～4 %）に洗車用の柔らかいスポンジを浸して泥や汚れを拭き取ります。さらに水で充分すすぎ落としてからセーム皮などで水分を拭き取ります。エンジンの外側部分を清掃するには、脱脂剤とブラシおよびウエスを使用してください。

## 重要

## 洗車に関するアドバイス

1. フロントカバーとヘルメットコンパートメント内の物をすべて取り出します。ヘルメットコンパートメント内のモケットカーペット（敷物）を取り外します。
2. すべてのコンパートメントが完全に閉じていることを確認します。
3. 中性洗剤のみを使用して洗車し、圧力をかけずに水で洗い流します。

### 注意



シリコンワックスで磨く前に丁寧に洗車することを忘れないでください。つや消し塗装部分には研磨剤入りのクリームを使用しないでください。日光のあたる場所、特に夏の暑い日差しの下で車体が熱くなっている時には洗車しないでください。洗剤が洗い流す前に乾いてしまい塗装を傷めます。スクーターのプラスチック部品の清掃には、40 °C以上の液体を使用しないでください。次の部分には高圧の水や空気、蒸気などを直接吹き付けしないでください：ホイールハブ、左右ハンドルの各装置、ベアリング、マスターシリンダー、メーターパネルと計器、マフラー、グローブボックス／ツールキット、イグニッションスイッチ／ステアリングロック。ゴム部品やプラスチック部品の洗浄には、アルコールやガソリン、溶剤などを使用せず、中性洗剤と水のみを使用してください。シートの清掃には、溶剤やガソリンの副産物（アセトン、トリクロロエチレン、テレピン油、ガソリン、シンナー）を使用しないでください。その代わりに、界面活性剤の含有が5%以下の洗剤を使用してください（中性洗剤、脱脂剤またはアルコール）。清掃後、シートをよく乾かしてください。

### 注意

滑る危険がありますのでシートには保護ワックスなどを塗らないでください。

## 輸送

### 重要

スクーターを輸送する前には、燃料タンクを空にして、完全に燃料が抜き取られたか確認してください。

スクーターの輸送中は、燃料やオイル、冷却液が漏れないように、常に垂直な状態でしっかりと固定されているようにしてください。

故障の際は、けん引輸送ではなく、輸送車両を使用してください。

燃料タンクを空にする

注意



火災の危険があります。

エンジンとマフラーが冷めるまでお待ちください。

燃料ガスは健康に害を及ぼします。

作業を行う前に、換気のよい場所であるか確認してください。

燃料ガスを吸い込まないようにしてください。

煙草を吸ったり、火気を近付けたりしないでください。

環境保護のため燃料は適切に処理してください。

- 安全で水平な地面に車両をセンタースタンドで立てます。
- エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。
- タンク内の燃料が入る容器をスクーターの左側に置きます。
- 燃料タンクキャップを取り外します。
- タンクの燃料を排出するため、ハンドポンプなどを使用します。ポンプユニットを損傷しないように注意してください（タンクの燃料レベルを正確にチェックしてください）。

注意

タンクが空になったら、燃料タンクキャップを正しく取り付けてください。





# ATLANTIC 250

i. e.

The Aprilia logo, consisting of the word "aprilia" in white lowercase letters on a red rectangular background.

章 04  
諸元

### テクニカルデータ

特徴	概要/数値
全長	2085 mm
全幅	785 mm
全高（ウインドシールドを含む）	1370 mm
シート高	790 mm
ホイールベース	1480 mm
最低地上高	190 mm
車両重量（走行可能状態）	170 kg
変速機形式	オートマチック無段変速
一次伝動	Vベルト
2次減速機構	ギアリダクションユニット
エンジン／ホイールのトータルレシオ	最小 1:19.30 最大 1:6.80
燃料タンク容量（リザーブ含む）	9.5 l
リザーブ	1.5 l
エンジンオイル	1300 cm <sup>3</sup>
ギアボックスオイル容量	150 cm <sup>3</sup>
冷却液容量	1200 cm <sup>3</sup>
乗車定員	2
最大積載量（ライダー + パASSE	210 kg

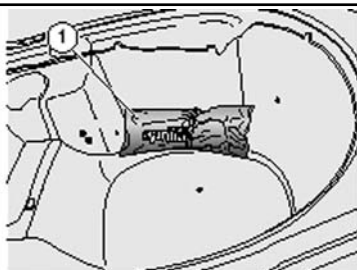
ンジャー + 荷物)	
フレーム形式	シングルスパー、アッパーダブルクレードル
ステアリング傾斜アングル	28°
フロントストローク	104 mm
フロントサスペンション	油圧式テレスコピックフォーク
フロントサスペンションストローク	105 mm
リアサスペンション	油圧ショックアブソーバー
リアサスペンションストローク	105 mm
フロントブレーキ	240 mm径ディスクブレーキ、油圧式
リアブレーキ	190 mm径ディスクブレーキ、油圧式、フロントブレーキと連動
フロントホイール	E - 13 x 3.00 DOT - D
リアホイール	E - 13 x 3.50 DOT - D
タイヤ形式	チューブ不使用（チューブレス）
フロントタイヤ	110 /90 -13' ' 56P
リアタイヤ	130 /70 -13' ' 63P
フロントタイヤ空気圧	200 kPa
リアタイヤ空気圧	220 kPa
フロントタイヤ空気圧（パッセンジャー乗車時）	220 kPa
リアタイヤ空気圧（パッセンジャー乗車時）	240 kPa

一乗車時)	
バッテリー	12V - 12Ah
ヒューズ	20- 15- 7.5 A
オルタネーター（永久磁石）	12V - 235W

### エンジンテクニカルデータ

特徴	概要/数値
エンジン	M23AM
エンジン形式	単気筒、4ストローク、4バルブ、ウェットサンプ潤滑方式、SOHC
気筒数	1
総排気量	244 cm <sup>3</sup>
ボア／ストローク	72 x 60 mm
圧縮比	11.0 ± 0.5 : 1
点火方式	セルモーター
クラッチ	遠心
変速装置	自動
冷却方式	水冷（水50% + 冷却液50%）、強制循環方式
バルブクリアランス	吸入0.10／排出0.15
燃料供給	32 mm径スロットルボディ

燃料	無鉛プレミアムガソリン、最低オクタン価95 (NORM) および85 (NOMM)
始動方式	容量放電点火方式、可変進角
点火進角	コントロールユニットによる進角制御 4° /アイドリング - 15° /4000 ~6000 rpm
スパークプラグ	標準：NGK - CR8EB 交換可能：CHAMPION RG6YC, CHAMPION RG4HC, NGK - CR7EB, NGK - CR9EB



05\_01

### 装備キット (05\_01)

- ツールキット《1》はシートの下、ヘルメットコンパートメント/グローブボックスの内側に固定されています。

取り出すには：

- シートのロックを外します。

提供される工具：

- ドライバー2本
- 16 mmボックスレンチ
- ツールケース



# ATLANTIC 250

i. e.



章 05  
メンテナンススケジュール

## メンテナンススケジュール表

### 注意



火災の危険があります。

燃料や引火しやすいものを電気部品に近付けないでください。

車両のメンテナンスや点検を行う前に、エンジンを停止してキーを抜き取ってください。エンジンと排気系統が冷めるまでお待ちください。可能であれば、固く水平な地面の上で、車両を特殊ツールで持ち上げてください。

作業を行う前に、換気のよい場所であるか確認してください。

火傷することのないように、熱くなったエンジンや排気系統の部品には特に注意してください。

機械部品や車両の部品を口にくわえないでください。部品を飲み込んでしまう危険があります。部品の中には有害で毒性を持つものもあります。

### 重要

特に指示のない限り、ユニットの取り付けは取り外しの逆の手順で行ってください。

メンテナンス作業を行う際は、ゴム手袋の着用をお薦めします。

通常のメンテナンスに関しては、ユーザーが作業を実施できます。場合によっては特殊工具や専門知識が必要です。

サポートや技術的なアドバイスを必要とする場合は、aprilia正規代理店にご相談ください。正確で迅速なサービスが行われます。

修理やメンテナンススケジュールに従った作業の後は、スクーターの路上テストをaprilia正規代理店にご依頼ください。

また、メンテナンス作業後は走行前に点検を行ってください。

### メンテナンススケジュール表



適切なメンテナンスは、車両の長寿命、最適な動作やパフォーマンスを確実にするための基本事項です。

そのため、apriliaでは点検とメンテナンスのサービスを提供しています（有料）。これらは次の一覧表に記載されています。どんな小さなことでも不具合がある場合は、次に予定されたサービスの時期まで待たずに、お早めにaprilia正規代理店にご相談ください。

予定された作業を遅れずに実施することは、確実に保証を有効にしておくために必要です。保証手続きや“メンテナンススケジュール”に関する詳細情報については、保証書をご覧ください。

## 2年ごと

### 作業

冷却液 - 点検

ブレーキオイル - 交換

## 5000 KMごと

### 作業

エンジンオイル - レベル点検／補充

ブレーキパッドの摩耗 - 点検

## 1,000 KM走行後

### 作業

セーフティロック - 点検

スロットルレバー - 調整
エンジンオイルフィルター - 交換
電気系統とバッテリー - 点検
冷却液レベル - 点検
ブレーキオイルレベル - 点検
エンジンオイル - 交換
ブレーキパッドの摩耗 - 点検
タイヤの空気圧と摩耗 - 点検
車両とブレーキのテスト - テスト走行
トランスミッションオイル - 交換
ステアリング - 点検

### 10,000 KM、50,000 KM、70,000 KM走行後

作業
セーフティロック - 点検
スロットルレバー - 調整
エアフィルター - 清掃
駆動ベルトカバーのエアフィルター - 点検
エンジンオイルフィルター - 交換
電気系統とバッテリー - 点検
冷却液レベル - 点検
ブレーキオイルレベル - 点検

エンジンオイル - 交換

ブレーキパッドの摩耗 - 点検

タイヤの空気圧と摩耗 - 点検

車両とブレーキのテスト - テスト走行

トランスミッションオイル - 点検

サスペンション - 点検

ステアリング - 点検

15,000 KM、45,000 KM、75,000 KM走行後

作業

駆動ベルト - 交換

20,000 KM、40,000 KM、80,000 KM走行後

作業

スパークプラグ - 交換

スロットルレバー - 調整

エアフィルター - 清掃

駆動ベルトカバーのエアフィルター - 点検

エンジンオイルフィルター - 交換

バルブクリアランス - 点検

電気系統とバッテリー - 点検

冷却液レベル - 点検
ブレーキオイルレベル - 点検
エンジンオイル - 交換
ブレーキパッドの摩耗 - 点検
スライディングブロック／変速ローラー - 交換
タイヤの空気圧と摩耗 - 点検
車両とブレーキのテスト - テスト走行
トランスミッションオイル - 交換
サスペンション - 点検
ステアリング - 点検

### 30,000 KM走行後

#### 作業

セーフティロック - 点検
駆動ベルト - 交換
スロットルレバー - 調整
エアフィルター - 清掃
駆動ベルトカバーのエアフィルター - 点検
エンジンオイルフィルター - 交換
電気系統とバッテリー - 点検
冷却液レベル - 点検
ブレーキオイルレベル - 点検

エンジンオイル - 交換
--------------

ブレーキパッドの摩耗 - 点検
-----------------

スライディングブロック／変速ローラー - 交換
-------------------------

タイヤの空気圧と摩耗 - 点検
-----------------

車両とブレーキのテスト - テスト走行
---------------------

トランスミッションオイル - 点検
-------------------

サスペンション - 点検
--------------

ステアリング - 点検
-------------

## 60,000 KM走行後

### 作業

スパークプラグ - 交換
--------------

駆動ベルト - 交換
------------

スロットルレバー - 調整
---------------

エアフィルター - 清掃
--------------

駆動ベルトカバーのエアフィルター - 点検
-----------------------

エンジンオイルフィルター - 交換
-------------------

バルブクリアランス - 点検
----------------

電気系統とバッテリー - 点検
-----------------

冷却液レベル - 点検
-------------

ブレーキオイルレベル - 点検
-----------------

エンジンオイル - 交換
--------------

ブレーキパッドの摩耗 - 点検
スライディングブロック／変速ローラー - 交換
タイヤの空気圧と摩耗 - 点検
車両とブレーキのテスト - テスト走行
トランスミッションオイル - 交換
サスペンション - 点検
ステアリング - 点検

### 指定油脂類表

製品	概要	特徴
AGIP CITY HI TEC 4T	エンジンオイル	API SL, ACEA A3, JASO MA
AGIP GEAR SYNTH SAE 75W-90	トランスミッションオイル	API GL4, GL5
AGIP FORK 5W または FORK 20W	フォークオイル	-
AGIP GREASE SM2	ベアリングや潤滑が必要な部分用のモリブデン入りリチウムグリス	NLGI 2
AGIP BRAKE FLUID DOT 4	ブレーキオイル	FMVSS DOT4+
AGIP PERMANENT PLUS	冷却液	CUNA NC 956-16



## サービスの役割

常に技術力の向上を図り、製品に応じた技術トレーニングを続けるaprilia正規サービスネットワークのメカニックは、この車両のすべてに精通し、正確なメンテナンスおよび修理に必要な専用工具を所有しています。

車両の信頼性は機能コンディションに基きます。このためには乗車前の点検、推奨された間隔での適切なメンテナンス、aprilia純正部品の使用が重要となります。

最寄りの正規代理店やサービスセンターに関する情報については、イエローページをご覧になるか、または以下のaprilia公式ウェブサイトのマップで直接検索してください。

[www.aprilia.com](http://www.aprilia.com)

車両の設計段階からすでに研究とテストが実施されている部品は、aprilia純正部品だけです。品質管理の下で製造されたすべてのaprilia純正部品は、完全な信頼性と長寿命を保証します。

この冊子に含まれる記述とイラストには法的拘束力はありません。本書の中で記述および図解されている諸元の基本的な部分を除き、apriliaは製品の改良に必要であると判断された場合や製造上の都合により、いつでも予告なしにコンポーネント、パーツ、アクセサリーに変更を加える権利を有します。

本書に記載されている製品の仕様は国によって異なる場合があります。実際に販売されている仕様については、アプリリア正規販売代理店にお問い合わせください。

© Copyright 2006- aprilia. All rights reserved. 本書の全部もしくは一部を無断で複製することを禁じます。aprilia - アフターセールスサービス

apriliaの商標はPiaggio & C. S.p.A. に属します。





## **APRILIA WOULD LIKE TO THANK YOU**

for choosing one of its products. We have drawn up this manual to provide a comprehensive overview of your vehicle's quality features. Please read it carefully before riding the vehicle for the first time. It contains information, tips and precautions for using your vehicle. It also describes features, details and devices to assure you that you have made the right choice. We believe that if you follow our suggestions, you will soon get to know your new vehicle well and will use it for a long time at full satisfaction. This booklet is an integral part of the vehicle, and should the vehicle be sold, it must be transferred to the new owner.

# **ATLANTIC 250 i.e.**



The instructions in this manual are intended to provide a clear, simple guide to using your vehicle; brief descriptions of maintenance procedures and periodical controls to be carried out on the vehicle by **authorised Aprilia Dealers or Workshops have been also included**. The booklet also contains instructions for simple repairs. Any operations not specifically described in this manual require the use of special tools and/or particular technical knowledge: for these operations, please take your vehicle to an **authorised aprilia Dealer or Workshop**.



### **Personal safety**

Failure to completely observe these instructions will result in serious risk of personal injury.



### **Safeguarding the environment**

Sections marked with this symbol indicate the correct use of the vehicle to prevent damaging the environment.



### **Vehicle intactness**

The incomplete or non-observance of these regulations leads to the risk of serious damage to the vehicle and sometimes even the invalidity of the guarantee.

*The recommendations above are very important. They are used to highlight those parts of the booklet that should be read with particular care. As you can see, each sign consists of a different graphic symbol, making it quick and easy to locate the various topics. Before starting the engine, read this manual carefully, particularly the "SAFE RIDING" section. Your safety as well as other's does not only depend on the quickness of your reflexes and agility, but also on how well you know your vehicle, its efficiency and your knowledge of the rules for SAFE RIDING. For your safety, get to know your vehicle well so as to safely ride and master it in road traffic IMPORTANT This booklet is an integral part of the vehicle, and should the vehicle be sold, it must be transferred to the new owner.*



# **ATLANTIC**

## **250 i.e.**



**INDEX**

## INDEX

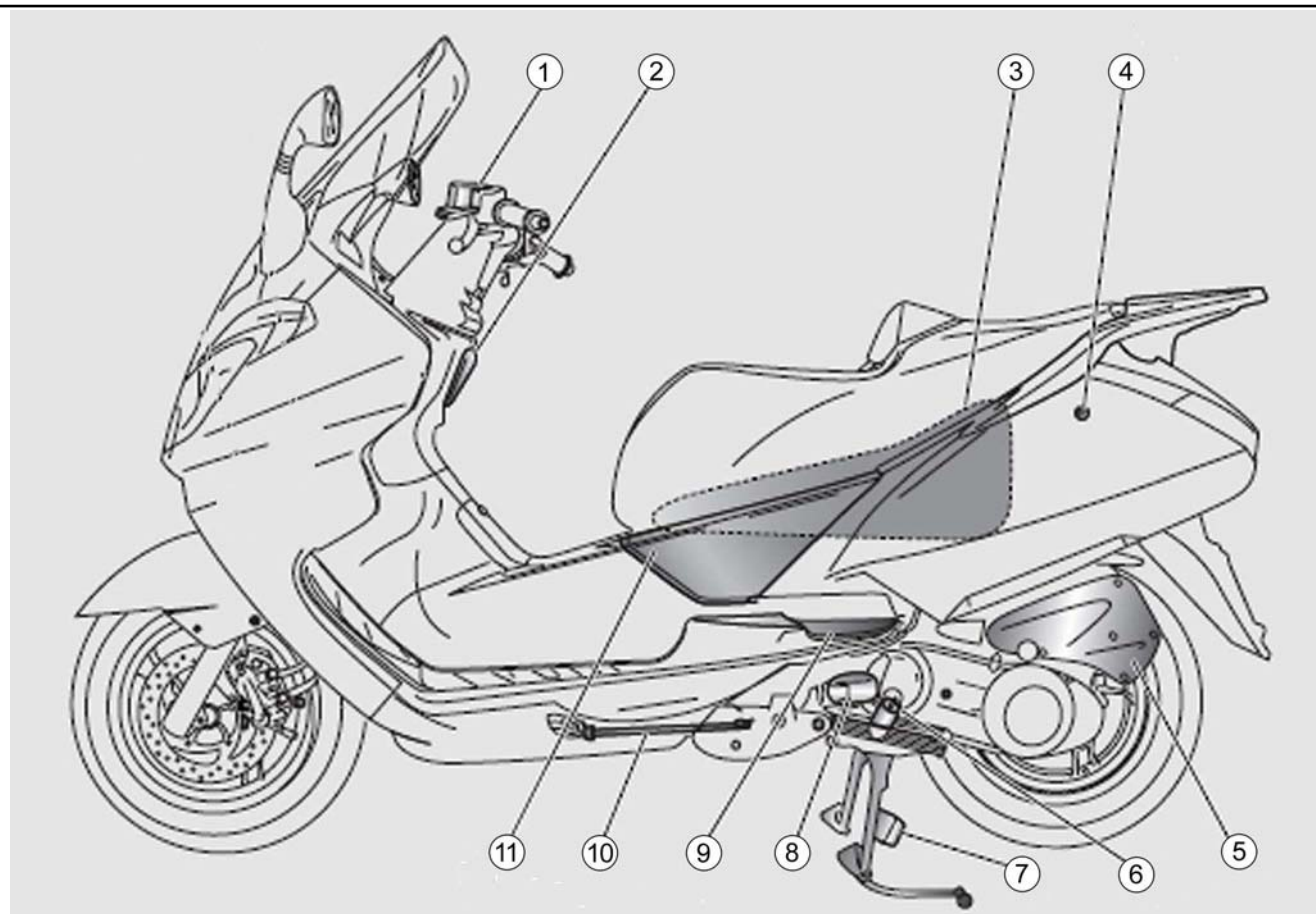
Chap. 01 .....	Vehicle
Chap. 02 .....	Use
Chap. 03 .....	Maintenance
Chap. 04 .....	Technical data
Chap. 05 .....	Programmed maintenance

# **ATLANTIC**

## **250 i.e.**

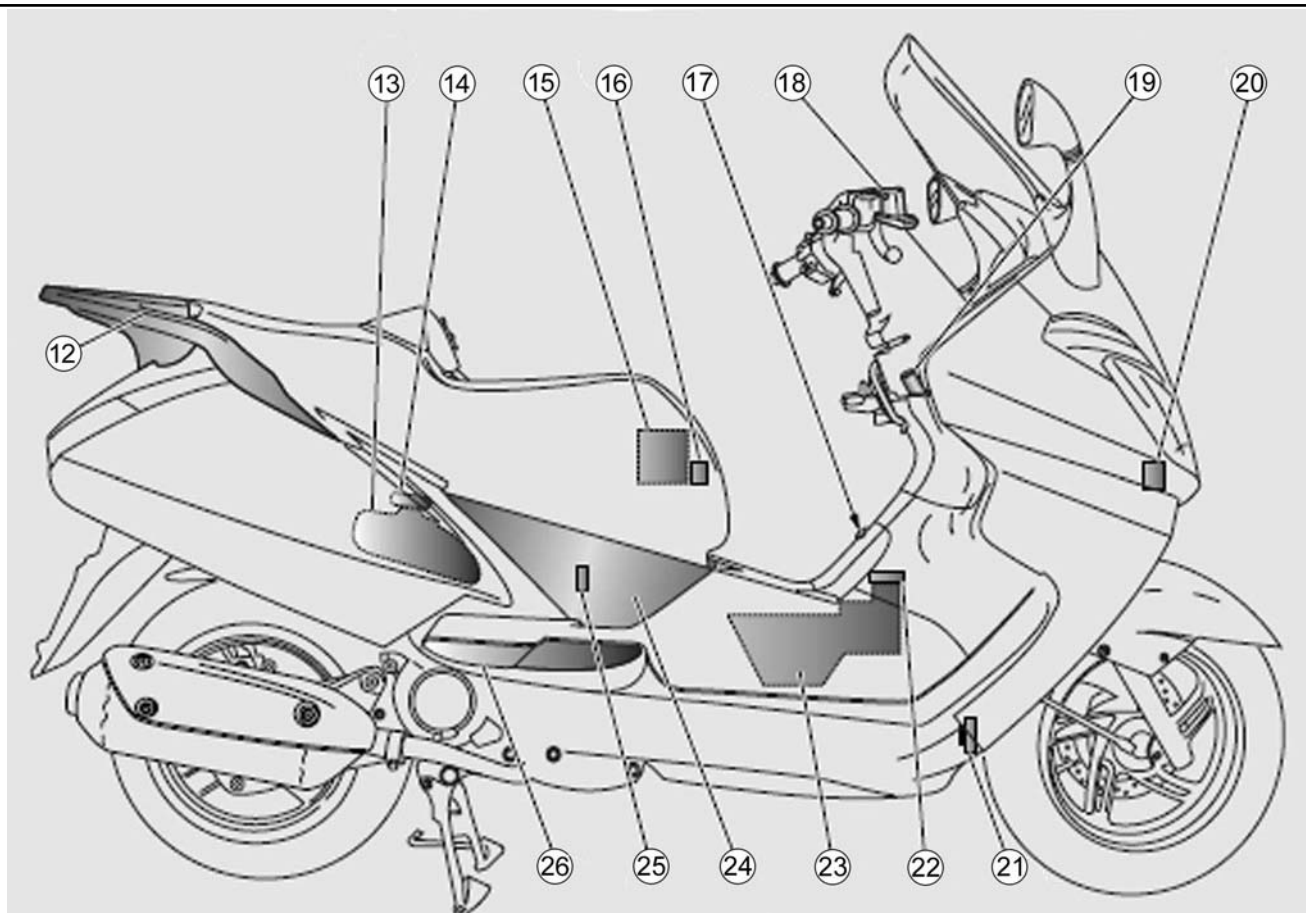


**Chap. 01**  
**Vehicle**



02\_01





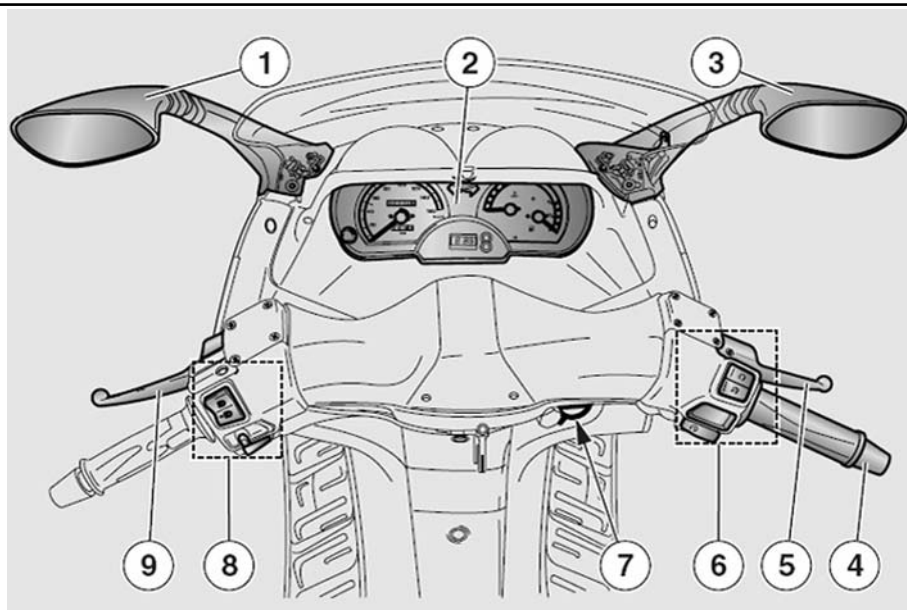
02\_02

## **Arrangement of the main components (02\_01, 02\_02)**

### **KEY**

1. Rear brake fluid reservoir
2. Bag hook
3. Helmet compartment
4. Saddle lock
5. Air filter
6. . Engine oil level/refill cap
7. Centre stand
8. Variator air intake
9. Left passenger footrest
10. Side stand
11. Left inspection cover
12. Passenger handgrip
13. Expansion tank
14. Coolant expansion tank cap
15. Battery
16. Main fuse box
17. Fuel tank cap lid
18. Front brake fluid reservoir
19. Ignition /steering lock switch
20. Secondary fuse box
21. Horn

- 22. Fuel tank cap
- 23. Fuel tank
- 24. Right inspection cover
- 25. Spark plug
- 26. Left passenger footrest

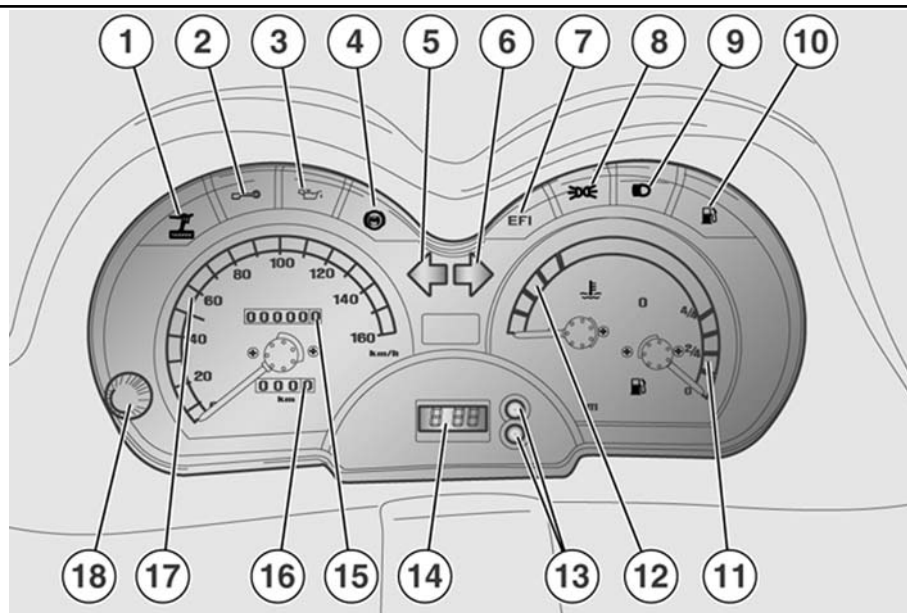


02\_03

## Dashboard (02\_03)

### KEY

1. Left rear-view mirror
2. Instrument panel and gauges
3. Right rear-view mirror
4. Throttle grip
5. Front brake lever
6. Electric controls on the right side of the handlebar
7. Ignition / steering lock switch ( «**ON**» - «**OFF**» - «**LOCK**» )
8. Electric controls on the left side of the handlebar
9. Combined brake lever (front and rear)



02\_04

## Analogue instrument panel (02\_04)

### KEY

1. Side stand lowered amber warning light
2. «IMMOBILIZER» antitheft device red warning light (only for vehicles fitted with this wiring)
3. Engine oil pressure red warning light
4. ABS red warning light (only for vehicles fitted with this wiring)
5. Left turn indicator green warning light
6. Right turn indicator green warning light
7. Red «EFI» warning light

8. Low-beam light green warning light
9. High-beam blue warning light
10. Low fuel yellow amber warning light
11. Fuel level gauge
12. Coolant temperature gauge
13. Function selection and digital clock adjustment buttons
14. Digital clock
15. Total odometer
16. Trip odometer
17. Speedometer
18. Trip odometer resetting knob

## INSTRUMENT AND GAUGE DESCRIPTION

### CAUTION



**WITH THE KEY SET TO «ON» ALL THE PRE-INSTALLED WARNING LIGHTS, INSTRUMENT PANEL LIGHTING AND ALL THE SEGMENT IN DISPLAY 3 TURN ON FOR THE FIRST 3 SECONDS FOR AN INITIAL INSTRUMENT CHECK.**

### **ABS (Anti-lock Braking System) warning light «4»**

Only for vehicles fitted with this wiring. Carries out the anti-locking system check. Turns on if there is a problem.

### CAUTION



**IF THE WARNING LIGHT TURNS ON DURING REGULAR ENGINE OPERATION, THIS MEANS THAT THERE IS A FAILURE IN THE ANTI-LOCKING SYSTEM. IN THIS EVENT, STOP THE ENGINE AT ONCE AND CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**

**Antitheft warning light (immobilizer) «2»**

Only for vehicles fitted with this wiring. When the scooter is off, it flashes as a deterrent against thieves. Confirms that the antitheft system is on.

**Engine oil pressure warning light «3»**

Turns on every time the ignition switch is set to «ON» and the engine has not been started, this tests LED operation. The warning light should turn off as soon as the engine is started.

**CAUTION**

**IF THE WARNING LIGHT TURNS ON WHILE THE ENGINE IS WORKING PROPERLY, THIS MEANS THAT THE OIL PRESSURE IN THE CIRCUIT IS NOT ENOUGH. IF THIS OCCURS STOP THE ENGINE AT ONCE AND CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**

**Side stand lowered warning light «1»**

Turns on when the side stand is lowered.

**CAUTION**

**WHEN THE SIDE STAND IS LOWERED, THE WARNING LIGHT TURNS ON AND THE VEHICLE CANNOT BE STARTED.**

**Electronic fuel injection (EFI) check warning light «7»**

Turns on for about three seconds every time the ignition switch is set to «ON» and the engine has not been started, this tests the injection system operation. The warning light should turn

off as soon as the engine is started.

#### CAUTION



**IF THE WARNING LIGHT TURNS ON WHILE THE ENGINE IS WORKING PROPERLY, THIS MEANS THAT THERE IS A FAILURE IN THE ELECTRONIC FUEL INJECTION SYSTEM. IF THIS OCCURS, STOP THE ENGINE AT ONCE AND CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**

#### **Right turn indicator warning light «6»**

Flashes when in right turning mode.

#### **Left turn indicator warning light «5»**

Flashes when in left turning mode.

#### **Low-beam warning light «8»**

Turns on with the low-beam lights.

#### **High-beam warning light «9»**

Turns on when the front headlamp high-beam bulb is activated or when the high-beam light is flashed (PASSING).

#### **Low fuel warning light «10»**

Turns on when there is a 1.5-litre fuel reserve in the tank.



**Fuel gauge «11»**

Shows the approximate fuel level in the tank. When the needle reaches the red area, there are about 1.5 litres of fuel left. **If this occurs, refill the tank as soon as possible.**

**Coolant temperature gauge «12»**

Shows the approximate temperature of the coolant in the engine. When the needle starts to move away from the «**MIN**» mark, the temperature is adequate to ride the scooter. If the needle enters the red area or the warning light turns on, stop the engine and check the coolant level.

**CAUTION**

**IF THE TEMPERATURE EXCEEDS THE MAXIMUM ALLOWED ("MAX" RED AREA OF THE SCALE), THE ENGINE CAN BE SERIOUSLY DAMAGED.**

**Instruments****Digital clock «14»**

View time and date in this display.

**Total odometer «15»**

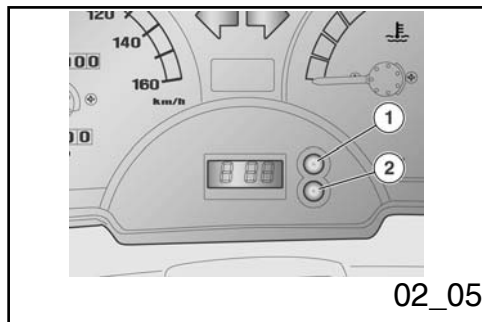
Shows the total number of kilometres covered.

**Trip odometer «16»**

Shows the total number of kilometres partially travelled. To reset it, use the resetting knob.

**Speedometer «17»**

Shows riding speed.



## Clock (02\_05)

### Calendar adjustment:

- Standard display: hours and minutes.
- Date display: pressing the button «1» shows month and day numbers.
- Seconds display: press the button «1» twice.

### NOTE

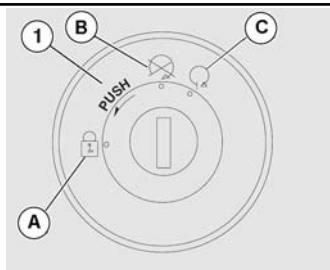
**CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER TO HAVE THE CLOCK BATTERY REPLACED.**

### Adjustment:

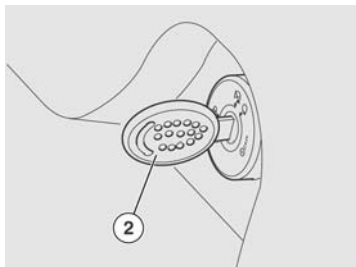
- Pressing the button «2» once displays date and time alternatively.
- Month: pressing «2» again displays the month on the left (the rest disappears). Pressing the button «1» sets the desired month.
- Day: pressing «2» again displays the day on the right. Pressing the button «1» sets the desired day.
- Time: pressing the button «2» displays the time on the left with the letter «A» or «P» (A= am, P= pm). Pressing the button «1» sets the desired time.
- Minutes: pressing the button «2» displays the day to the right of the display. Pressing the button «1» sets the desired minutes.

So the digital clock has been adjusted.

Press the button «2» and then button «1» to return to regular operation.



02\_06



02\_07

## Key switch (02\_06)

The ignition switch "1" is found on the right side, near the headstock.

### NOTE

**THE KEY «2» ACTIVATES THE IGNITION SWITCH / STEERING LOCK, THE SADDLE LOCK, THE GLOVE-BOX LID AND THE FUEL FLAP.**

The vehicle is supplied with two keys (one is the spare key).

### NOTE

**KEEP THE SPARE KEY IN DIFFERENT PLACE, NOT WITH THE VEHICLE.**

### SWITCH POSITION

**ON «C»:** The engine and lights can be set to work. It is not possible to withdraw the key.

**OFF «B» :** The engine and lights cannot be set to work. It is possible to remove the key.

**LOCK «A» :** The steering is locked. It is impossible to start the engine or switch on the lights. It is possible to remove the key.

## Locking the steering wheel (02\_07)

To lock the steering:

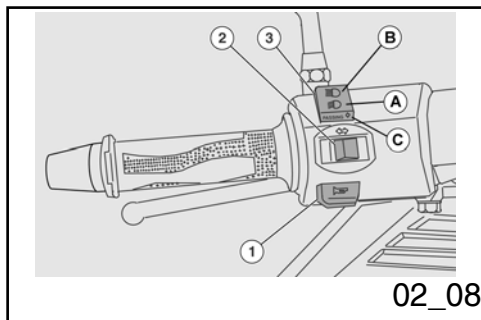
- Turn the handlebar completely to the left.
- Press the key «2» and then turn it to «**LOCK**».

### CAUTION



**AVOIDING LOSING CONTROL OF THE VEHICLE, NEVER TURN THE KEY TO "LOCK"**

WHILE RIDING.

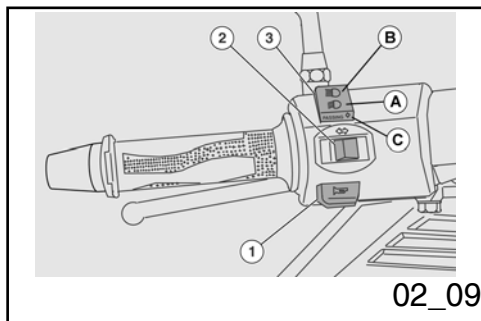


### Switch direction indicators (02\_08)

Move the switch «2» to the left, to indicate a left turn; move the switch «2» to the right, to indicate a right turn. Press the central part of the switch 2 to deactivate the turn indicator.

#### NOTE

ELECTRICAL COMPONENTS FUNCTION ONLY WHEN THE IGNITION KEY IS SET TO "ON"

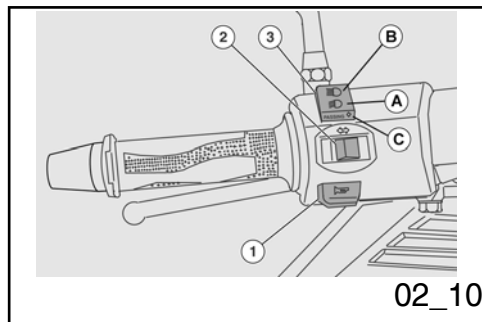


### Horn button (02\_09)

Pressing the button "1" activates the horn.

#### NOTE

ELECTRICAL COMPONENTS FUNCTION ONLY WHEN THE IGNITION KEY IS SET TO "ON"



## Light switch (02\_10)

If the light switch «3» is set to «A», the low-beam light is activated; if it is set to «B», the high-beam light is activated.

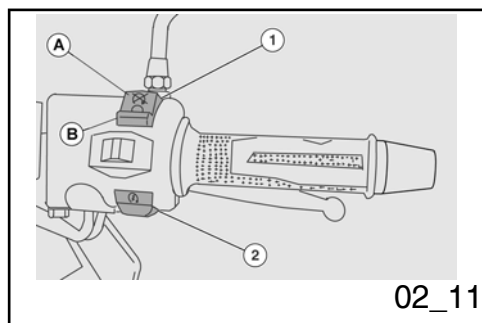
If the light switch «3» is pressed when set to «C» (PASSING), the high-beam light flashes.

### NOTE

**ELECTRICAL COMPONENTS FUNCTION ONLY WHEN THE IGNITION KEY IS SET TO "ON"**

### NOTE

**ONCE THE LIGHT SWITCH IS RELEASED FROM THE PASSING MODE IN "C" THE HIGH-BEAM LIGHT STOPS FLASHING.**

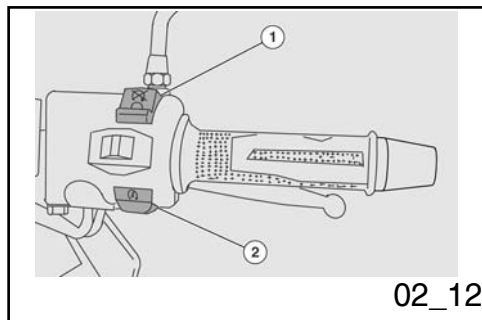


## Start-up button (02\_11)

By pressing the button «2» (RUN), the starter motor starts the engine.

### NOTE

**ELECTRICAL COMPONENTS FUNCTION ONLY WHEN THE IGNITION KEY IS SET TO "ON"**



02\_12

## Engine stop button (02\_12)

The engine stop switch «1» functions as a safety and emergency switch. When this switch is set to «ON», it is possible to start the engine; when it is set to «OFF», the engine stops.

### NOTE

**ELECTRICAL COMPONENTS FUNCTION ONLY WHEN THE IGNITION KEY IS SET TO "ON"**

### CAUTION

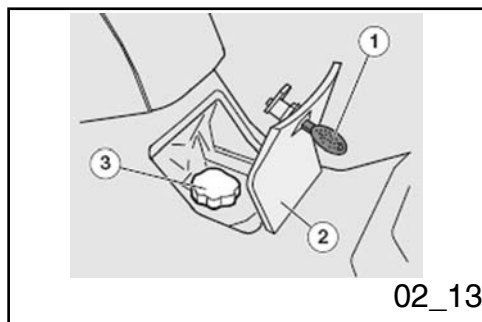


**DO NOT ACTION THE ENGINE STOP SWITCH WHILE RIDING THE VEHICLE.**

### CAUTION



**WITH THE ENGINE OFF AND THE IGNITION SWITCH SET TO "ON" THE BATTERY MAY DISCHARGE. WITH THE ENGINE OFF AND AFTER IT STOPS TURN THE IGNITION SWITCH TO "OFF".**

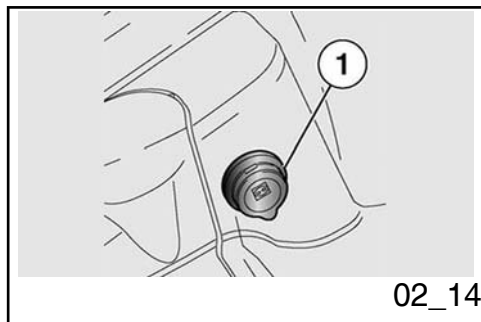


02\_13

## Fuel tank (02\_13)

To reach the fuel tank cap:

- Insert the key «1» in the fuel flap lock «2», located between the footrests.
- Turn the key clockwise and pull it to open the fuel flap.
- Unscrew the fuel tank cap «3».



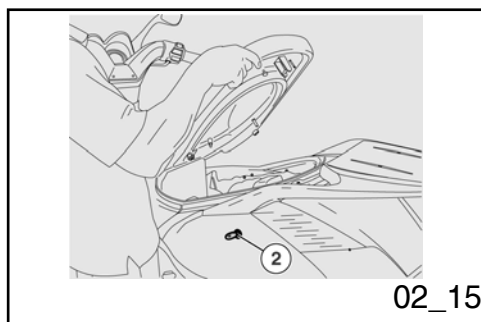
### Power supply socket (02\_14)

- There is a 12V plug socket «1» inside the helmet compartment, under the saddle.
- This socket can be used to power equipment with a maximum power of 180 W (mobile telephones, hand lamp, etc.).

#### CAUTION



**USING THIS SOCKET FOR A LONG PERIOD CAN RESULT IN A FULLY DISCHARGED BATTERY.**



### Opening the saddle (02\_15)

- Insert the key «2» in the saddle lock.
- Push and turn the ignition key anticlockwise.
- To lock the saddle, lower and press it (without forcing it) to trip the lock.

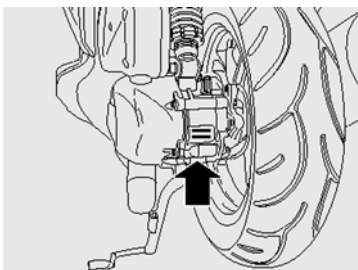
#### CAUTION



**BEFORE RIDING MAKE SURE THAT THE SADDLE IS CORRECTLY LOCKED INTO POSITION.**



02\_16



02\_17

## Identification (02\_16, 02\_17)

Write down the chassis and engine numbers in the specific space in this manual.

The chassis number can be used to order spare parts.

### NOTE

**ALTERING IDENTIFICATION NUMBERS CAN BE SERIOUSLY PUNISHED BY LAW, PARTICULARLY MODIFYING THE CHASSIS NUMBER WILL IMMEDIATELY INVALIDATE THE GUARANTEE.**

### Chassis number

The chassis number is stamped on the central chassis bar. To read the chassis number it will be necessary to open the glovebox and remove the snap-on protection.

Chassis No.: .....

### Engine number

The engine number is stamped near the rear shock absorber lower support.

Engine No.: .....



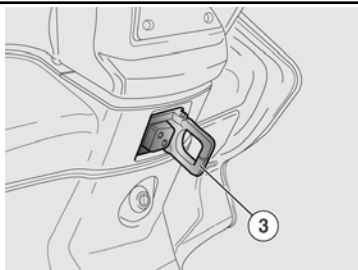


02\_18

## Rear top box opening (02\_18)

Thanks to the glove-box it is not necessary to carry bulky items with you after parking your scooter.

- Insert the key «3» in the lock.
- Press and turn the key anticlockwise.
- Open the glove-box lid «4».



02\_19

## Bag clip (02\_19)

The bag hook «3» is located at the front of the internal shield.

### CAUTION

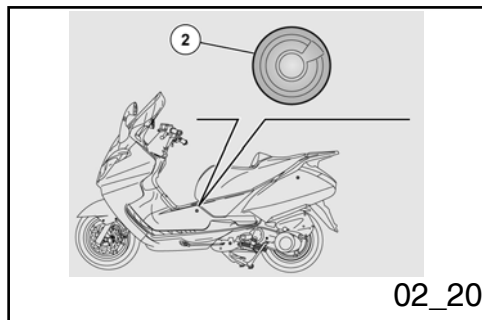


**DO NOT HANG BULKY BAGS OR PACKAGES ON THE HOOK SO AS NO TO SERIOUSLY OBSTRUCT VEHICLE HANDLING AND FEET MOVEMENT.**

### Characteristic

**Maximum allowed weight**

1.5 kg



## Interphone kit presetting (02\_20)

Only for vehicles fitted with this wiring.

- There is a power socket for the intercom control unit inside the front shield.
- To both sides of the central tunnel there are two standard jack sockets «2» which are used to connect the intercom/microphone headsets.

Take your scooter to an **Official aprilia Dealer** to carry out the installation.

# ATLANTIC

## 250 i.e.



**Chap. 02**  
**Use**

## Checks

### CAUTION



**BEFORE RIDING, ALWAYS PERFORM A PRELIMINARY CHECK OF THE VEHICLE, FOR CORRECT AND SAFE OPERATION AS SHOWN IN THE TABLE. FAILURE TO DO SO MAY LEAD TO SEVERE INJURY OR VEHICLE DAMAGE.**

**DO NOT HESITATE TO CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER IF YOU DO NOT UNDERSTAND HOW SOME CONTROLS WORK OR IF MALFUNCTION IS DETECTED OR SUSPECTED.**

**CHECKS DO NOT TAKE LONG AND RESULT IN ENHANCED SAFETY.**

### PRE-RIDE CHECKS

Specification	Desc./Quantity
Front and rear disc brake	Check for proper operation. Check brake lever free play and brake fluid level. Check for leaks. Check the brake pad wear. If necessary top-up with brake fluid.
Brake levers	Check they function smoothly. Lubricate the joints if necessary.
Throttle grip	Check it functions smoothly and that it can be fully opened and closed in all steering positions. Adjust and/or lubricate if necessary.

Engine oil	Check and/or top up as required.
Wheels/tyres	Check that tyres are in good conditions, check inflation pressure, tyre wear and possible damage.
Steering	Check that the rotation is homogeneous, smooth and there are no signs of clearance or slackness.
Centre and side stands	Check that they work smoothly and they go back to their normal position when the springs are released. Lubricate couplings and joints if necessary.
Fasteners	Check that the clamping elements are not loose.  If necessary, adjust or tighten them.
Fuel tank	Check the coolant level and refill if necessary.  Check the circuit for possible leaks or obstructions.  Check that the tank cover closes correctly.
Coolant	Fluid level inside the expansion tank should be between the <b>"MIN"</b>

	and <b>"MAX"</b> marks.
Engine stop switch	Check for correct operation.
Lights, warning lights, horn and electrical devices	Check the correct operation of the horn and lights. Replace the bulbs or intervene in case of failure.

## Refuelling

### CAUTION



FUEL USED TO POWER INTERNAL COMBUSTION ENGINES IS HIGHLY FLAMMABLE AND CAN BECOME EXPLOSIVE UNDER SPECIFIC CONDITIONS. CARRY OUT REFILLING AND MAINTENANCE OPERATIONS IN A WELL VENTILATED PLACE AND WITH THE ENGINE OFF. DO NOT SMOKE WHILE REFUELLING OR WHEN CLOSE TO FUEL VAPOURS, AVOID CONTACT WITH NAKED FLAMES, SPARKS OR ANY OTHER SOURCE THAT MAY CAUSE FUEL TO CATCH FIRE OR EXPLODE. AVOID SPILLING FUEL OFF THE FILLER AS IT MAY CATCH FIRE IN CONTACT WITH THE ENGINE HOT SURFACES. IN CASE OF ACCIDENTAL FUEL SPILLS, CHECK THAT THE AREA IS COMPLETELY DRY BEFORE STARTING THE SCOOTER. FUEL EXPANDS WHEN EXPOSED TO HEAT OR SUN RAYS, THEREFORE BE CAREFUL AND DO NOT REFILL THE TANK UP TO THE TOP. CLOSE THE CAP ADEQUATELY AFTER REFUELLING. BE CAREFUL THE FUEL DOES NOT GET INTO CONTACT WITH THE SKIN, DO NOT BREATHE VAPOURS OR SWALLOW FUEL. DO NOT TRANSFER FUEL FROM ONE CONTAINER TO ANOTHER USING A HOSE.

### CAUTION



DO NOT DISPOSE OF FUEL INTO THE ENVIRONMENT.

**CAUTION**

**KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN**

Use premium unleaded petrol only with minimum octane rating of 95 (NORM) and 85 (NOMM)

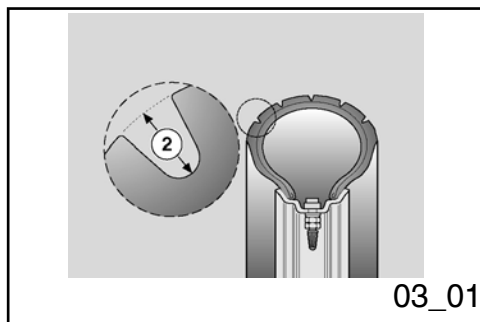
### **Characteristic**

**Fuel tank capacity (including reserve):**

~ 9.5 l

**Tank reserve:**

~ 1.5 l



### **Tyre pressure (03\_01, 03\_02)**

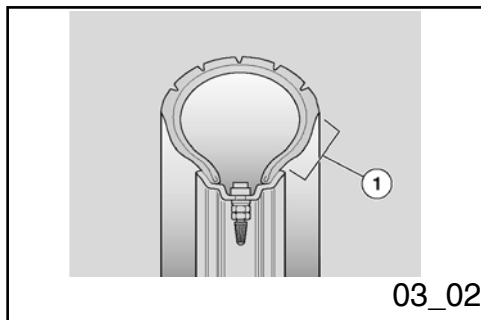
This vehicle is fitted with tyres without inner tubes (tubeless).

**CAUTION**

**CHECK FREQUENTLY TYRE PRESSURE WITH TYRES AT AMBIENT TEMPERATURE.**

**THE MEASUREMENT MAY BE INCORRECT IF TYRES ARE WARM. CHECK TYRE PRESSURE PARTICULARLY BEFORE AND AFTER A LONG JOURNEY. IF TYRE PRESSURE IS TOO HIGH, THE SURFACE UNEVENNESS IS NOT CUSHIONED AND IS SENT TO THE HANDLEBAR, RESULTING IN UNPLEASANT RIDING AND POOR ROAD GRIP SPECIALLY WHEN TURNING.**

**CONVERSELY, WITH INADEQUATE TYRE PRESSURE, TYRE SIDES "1" BEAR MORE STRESS AND THE TYRE CAN SLIDE ON THE RIM OR EVEN GET DETACHED RESULT-**



ING IN LOSS OF CONTROL OVER THE SCOOTER. IN CASE OF SHARP BRAKING, TYRES CAN EVEN GET OFF THE RIMS. LASTLY, THE VEHICLE MIGHT SKID IN A BEND. INSPECT THREAD SURFACE AND CHECK FOR WEAR. BADLY WORN TYRES ADVERSELY AFFECT TRACTION AND HANDLING. SOME TYRE TYPES HOMOLOGATED FOR THIS SCOOTER FEATURE WEAR INDICATORS. THERE ARE SEVERAL TYPES OF WEAR INDICATORS.

CONSULT YOUR DEALER ON METHODS TO CHECK FOR WEAR. CARRY OUT A VISUAL INSPECTION FOR TYRE CONSUMPTION, REPLACE THEM IF WORN. OLD TYRES THAT ARE NOT FULLY WORN CAN GET HARD RESULTING IN LACK OF GRIP. REPLACE TYRES IF THIS OCCURS. REPLACE TYRES WHEN WORN OR IF THE TREAD HAS A HOLE BIGGER THAN 5 MM. AFTER A TYRE IS MENDED, BALANCE THE WHEELS. USE ONLY TYRE SIZES INDICATED BY THE MANUFACTURER. DO NOT FIT TYRES WITH INNER TUBES ON RIMS FOR TUBELESS TYRES OR VICE VERSA. CHECK THAT THE INFLATION VALVES HAVE THEIR CAPS IN ORDER TO AVOID UNEXPECTED FLAT TYRES.

REPLACEMENT, REPAIR, MAINTENANCE AND BALANCING OPERATIONS ARE HIGHLY IMPORTANT AND SO THEY SHOULD BE CARRYING OUT USING THE SPECIFIC AND WITH THE ADEQUATE KNOWLEDGE. IT IS THEREFORE ESSENTIAL TO TAKE YOUR SCOOTER TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER OR SPECIALISED TYRE WORKSHOP TO CARRY OUT THE OPERATIONS ABOVE. NEW TYRES CAN BE COVERED BY A SLIPPERY COAT: RIDE WITH CAUTION DURING THE FIRST KILOMETRES. DO NOT APPLY UNSUITABLE LIQUIDS ON TYRES.

#### CAUTION



NEVER EXCEED THE MAXIMUM WEIGHT ALLOWED TO BE TRANSPORTED. OVERLOADING THE SCOOTER MAY RESULT IN LACK OF STABILITY, POOR HANDLING AND TYRE DAMAGE.

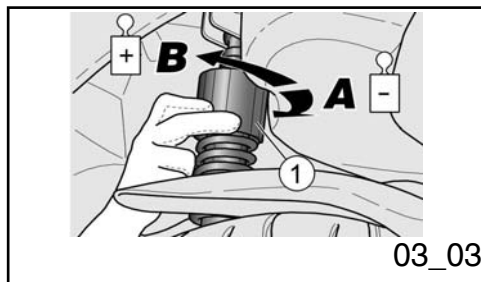
#### Characteristic



**MAX load**  
210 kg

### **TYRE PRESSURE**

<b>Specification</b>	<b>Desc./Quantity</b>
Front tyre pressure (rider only)	2.0 bar
Rear tyre pressure (rider only)	2.2 bar
Front tyre pressure (rider + passenger)	2.2 bar
Rear tyre pressure (rider + passenger)	2.4 bar



### **Shock absorber adjustment (03\_03)**

The rear suspension consists of a double-acting shock absorber (compression/rebound damping), with silent-block engine mount.

The manufacturer has set the standard suspension adjustment for a rider weighing about 70 kg. For other weights, use a hook spanner (supplied) on the ring nut "1" to define the ideal running settings.

Turning the ring nut to **A**: Spring preloading decrease. The scooter suspension is very soft. To be used on uneven roads or when riding without passenger.

Turning the ring nut to **B**: Spring preloading increases. The scooter suspension is very hard. To be used with even or ordinary surfaces or when riding with passenger.

### Front and rear suspension inspection

Change front suspension oil according to the indications in the Scheduled maintenance chart.

Carry out the following checks regularly:

- With the front brake lever pulled, press repeatedly on the handlebar lowering the fork.
- The travel should be progressive and there should be no signs of oil on the stems.
- Check that all organs are tightened and the joints of the front and rear suspension work properly.

#### CAUTION



**TO HAVE THE REAR SUSPENSION OIL CHANGED TAKE YOUR VEHICLE TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER WHO WILL PROVIDE A PRECISE AND QUICK SERVICE.**

#### CAUTION



**IN CASE OF FAILURE OR WHEN THE INTERVENTION OF SPECIALISED PERSONNEL IS REQUIRED, TAKE YOUR SCOOTER TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**

## Running in

Engine run-in is essential to ensure engine long life and correct operation. If possible, ride on roads with lots of bends and/or slopes to test that the engine, suspensions and brakes perform efficiently.

Follow these indications:

- Do not twist the throttle grip fully at low rpm whether during or after run-in.
- **0-100 km (0-62 miles)** During the first 100 km (62 miles) step carefully on the brakes

to avoid rough and long braking. That is to permit the adequate adjustment of the pad friction material to the brake disc.

- **0-500 km (0-312 miles)** During the first 500 km (312 miles) do not ride the scooter over 80% of the predetermined maximum speed.
- AVOID KEEPING A CONSTANT SPEED ALONG LONG SECTIONS OF ROAD.
- **After the first 1000 km (625 miles)**, gradually increase the speed until the maximum performance is reached.

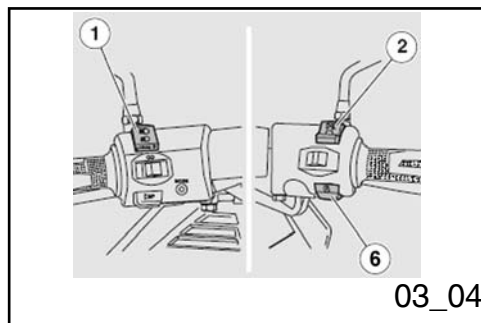
#### CAUTION



AFTER THE FIRST 1000 KM (625 MILES) IN OPERATION, PERFORM THE CHECKS IN THE "RUN-IN END" COLUMN IN THE SCHEDULED MAINTENANCE CHART TO AVOID INJURIES TO YOURSELF, OTHERS AND/OR DAMAGING THE VEHICLE.

#### NOTE

ONLY AFTER THE FIRST RUN-IN 1000 KM (625 MILES) IT IS POSSIBLE TO ATTAIN THE BEST SPEED AND ACCELERATION PERFORMANCE OF YOUR SCOOTER.



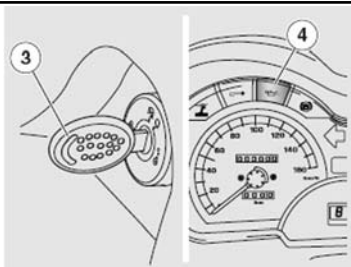
**Starting up the engine (03\_04, 03\_05, 03\_06, 03\_07, 03\_08, 03\_09, 03\_10, 03\_11)**

#### CAUTION

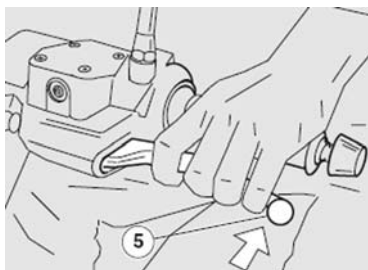


EXHAUST FUMES CONTAIN CARBON MONOXIDE, AN EXTREMELY HARMFUL SUBSTANCE IF INHALED. NEVER START THE ENGINE IN CLOSED OR NOT WELL-VENTILATED ROOMS.

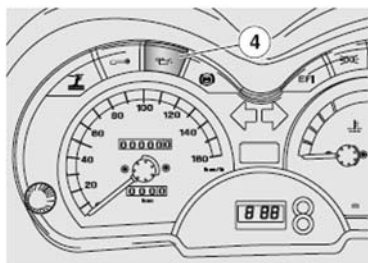
FAILURE TO OBSERVE THIS WARNING COULD LEAD TO UNCONSCIOUSNESS AND EVEN DEATH CAUSED BY SUFFOCATION.



03\_05



03\_06



03\_07

**DO NOT CLIMB ON THE VEHICLE TO START IT UP. DO NOT START THE ENGINE WHILE THE VEHICLE RESTS ON ITS SIDE STAND.**

- To start the engine, rest the vehicle on its centre stand.
- Make sure that the light switch «1» is set to «low-beam».
- Set the engine cut-off switch «2» to «ON» (countries where available).

- Turn the key "3" and set the ignition switch to "ON".

#### CAUTION



**NOW:**

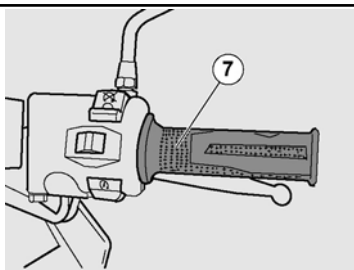
**THE ENGINE OIL PRESSURE WARNING LIGHT "4" TURNS ON THE INSTRUMENT PANEL AND REMAINS SO UNTIL THE ENGINE STARTS UP.**

**IF THIS WARNING LIGHT DOES NOT TURN ON OR IF AFTER THREE SECONDS THE WARNING LIGHTS DO NOT TURN OFF, CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**

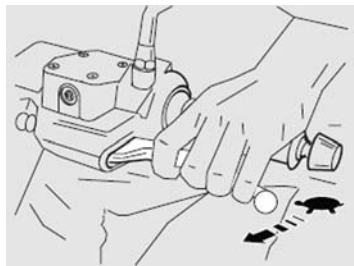
- Block one wheel at least by operating one brake lever «5». If the engine fails to start, it means there is no current at the ignition relay and the engine does not start.
- Press the starter button «6» but do not accelerate, and release it as soon as the engine starts.

#### NOTE

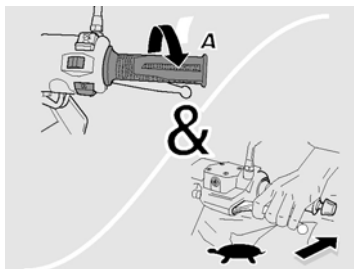
**IF THE VEHICLE IS NOT USED FOR A LONG TIME, FOLLOW THE PROCEDURE FOR STARTING THE ENGINE AFTER PROLONGED INACTIVITY.**



03\_08



03\_09



03\_10

**NOTE**

TO AVOID EXCESSIVE BATTERY CONSUMPTION, DO NOT HOLD DOWN THE STARTER BUTTON FOR MORE THAN FIVE SECONDS (TEN WHEN STARTING UP AFTER PROLONGED INACTIVITY). IF THE ENGINE FAILS TO START AFTER THIS TIME, WAIT TEN SECONDS AND REPEAT THE PROCEDURE.

**CAUTION**

NEVER PRESS THE STARTER BUTTON «6» WHEN THE ENGINE IS ALREADY RUNNING: DOING SO MAY DAMAGE THE STARTER MOTOR.

**CAUTION**

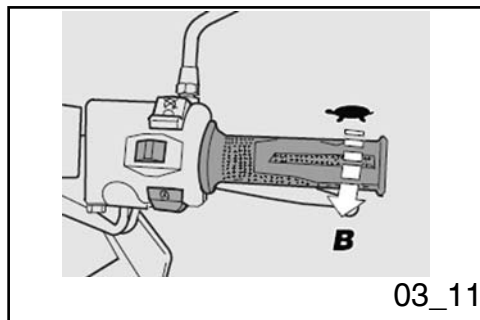
WHEN THE ENGINE IS RUNNING, THE ENGINE OIL PRESSURE WARNING LIGHT "4" SHOULD TURN OFF. IF THE WARNING LIGHT STAYS ON OR TURNS ON WHILE THE ENGINE IS WORKING PROPERLY THIS MEANS THAT THE OIL PRESSURE IN THE CIRCUIT IS NOT ENOUGH. IF THIS OCCURS STOP THE ENGINE AT ONCE AND CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER. NEVER USE THE VEHICLE WITH LOW ENGINE OIL SO AS TO AVOID DAMAGING ENGINE PARTS.

- Keep at least one brake lever operated and accelerate only when setting off.

**CAUTION**

DO NOT SET OFF SUDDENLY WHEN THE ENGINE IS COLD.

TO MINIMISE THE EMISSION OF AIR POLLUTING SUBSTANCES AND FUEL CONSUMPTION, WARM UP THE ENGINE BY RIDING THE FIRST KILOMETRES AT A LIMITED SPEED.



To set off: t

- Release the throttle grip «7» (pos. **A**), operate the rear brake and take the scooter off the stand.
- Get on the vehicle and, for stability reasons, keep at least one foot on the ground.
- Adjust the rear-view mirrors angle correctly.

#### CAUTION



**WITH THE VEHICLE AT A STANDSTILL, PRACTICE USING THE REAR-VIEW MIRRORS. THE MIRROR REFLECTING SURFACE IS CONVEX SO OBJECTS MAY SEEM FARTHER THAN THEY REALLY ARE. THESE MIRRORS OFFER A WIDE-ANGLE VIEW AND ONLY EXPERIENCE HELPS YOU JUDGE THE DISTANCE SEPARATING YOU AND THE VEHICLE BEHIND.**

- Release the brake lever and accelerate, gradually twisting the throttle grip; the scooter starts moving forward.

#### CAUTION



**NEVER ACCELERATE AND DECELERATE REPEATEDLY AND CONTINUOUSLY AS YOU MAY INADVERTENTLY LOSE CONTROL OF YOUR VEHICLE.**

**IF YOU HAVE TO BRAKE, DECELERATE AND OPERATE BOTH BRAKES TO OBTAIN A UNIFORM BRAKING, CAREFULLY ACTIVATING THE BRAKING PARTS IN AN ADEQUATE MANNER.**

OPERATING ONLY EITHER THE FRONT OR THE REAR BRAKE SIGNIFICANTLY DECREASES THE BRAKING POWER AND A WHEEL MAY GET BLOCKED RESULTING IN LACK OF GRIP. IN CASE OF STOP IN ASCENT, FULLY DECELERATE AND ONLY USE THE BRAKES TO KEEP THE VEHICLE STOPPED. USING THE ENGINE TO KEEP THE SCOOTER STOPPED MAY CAUSE THE VARIATOR TO OVERHEAT.

#### CAUTION

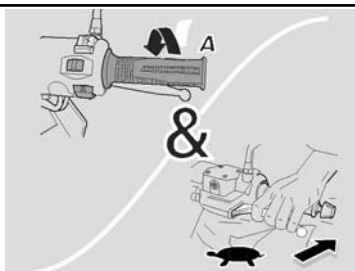


BEFORE GETTING INTO A BEND, REDUCE SPEED OR BRAKE; WHILE BENDING, RIDE AT THE SAME MODERATE AND CONSTANT SPEED OR SLIGHTLY ACCELERATE; DO NOT BRAKE IN EXCESS: THERE IS HIGH RISK OF SKIDDING.

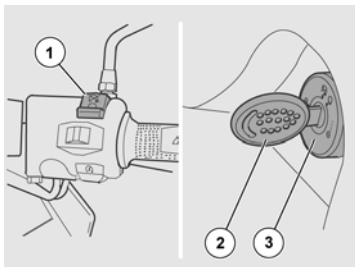
BRAKING CONTINUOUSLY WHILE GOING DOWNHILL MAY RESULT IN FRICTION GASKET OVERHEATING AND CONSEQUENTLY IN POOR BRAKING. TAKE ADVANTAGE OF THE ENGINE COMPRESSION USING THE BRAKES ALTERNATIVELY. WHEN GOING DOWNHILL NEVER RIDE WITH THE ENGINE OFF. WHEN RIDING ON WET SURFACES OR WITH POOR GRIP (SNOW, ICE, MUD, ETC.) AT A MODERATE SPEED AVOIDING SUDDEN BRAKING OR MANOEUVRES THAT MAY LEAD TO LACK OF GRIP AND CONSEQUENTLY TO FALLS. PAY ATTENTION TO OBSTACLES ON OR VARIATIONS IN THE ROAD SURFACE. UNEVEN ROADS, RUTS, DRAINS, TRAFFIC SIGNS PAINTED ON THE ROADS, PIPEWORK METAL SHEETS MAY BECOME SLIPPERY WHEN IT RAINS. CROSS OVER THEM WITH EXTREME CAUTION, RIDE CAREFULLY AND INCLINE THE SCOOTER THE LEAST POSSIBLE.

### Difficult start up

The fuel supply system can control ignition based on the engine condition (hot/cold) or the ambient temperature and pressure.



03\_12



03\_13

## Stopping the engine (03\_12, 03\_13)

- Release the throttle grip (pos. **A**) and press the brakes gradually to stop the scooter.
- Keep at least one brake operated for a brief stop.

### CAUTION



**WHENEVER POSSIBLE, AVOID ROUGH BRAKING, SUDDEN DECELERATION AND BRAKING IN EXCESS.**

### CAUTION



**PARK ON SAFE AND LEVEL GROUND TO PREVENT THE VEHICLE FROM FALLING.**

**DO NOT LEAN THE VEHICLE ON A WALL OR LAY ON THE GROUND.**

**MAKE SURE THE VEHICLE AND SPECIALLY ITS HOT PARTS DO NOT POSE ANY RISK TO PEOPLE OR CHILDREN. DO NOT LEAVE YOUR VEHICLE UNATTENDED WITH THE ENGINE ON OR THE KEY IN THE IGNITION SWITCH.**

**DO NOT SEAT ON THE VEHICLE WHEN THE STAND IS LOWERED.**

- Stop the vehicle.
- Set the engine stop switch «1» to **OFF**.
- Turn the key «2» and set the ignition switch «3» to **OFF**.
- Rest the scooter on its stand.
- Block the steering and pull out the key.

### CAUTION





**WHEN THE ENGINE IS OFF AND THE IGNITION SWITCH IS SET TO «ON» THE BATTERY CAN GET DISCHARGED.**

**CAUTION**

**DO NOT LEAVE THE KEY INSERTED IN THE IGNITION SWITCH.**

## **Catalytic silencer**

Scooter owners are warned that the law may prohibit the following:

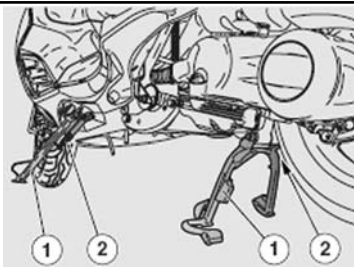
- the removal of any device or element belonging to a new scooter or any other action by anyone leading to render it non-operating, if not for maintenance, repair or replacement reasons, in order to control noise emission before the sale or delivery of the vehicle to the ultimate buyer or while it is used;
- using the scooter after that device or element has been removed or rendered non-operating.

Check the muffler/exhaust silencer and the silencer pipes, make sure there are no signs of rust or holes and that the exhaust system works properly.

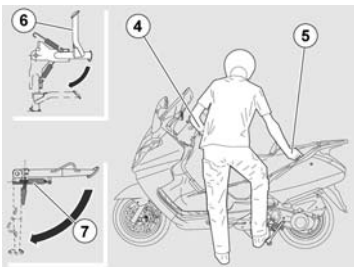
If exhaust noise increases, take your scooter at once to an **Official aprilia Dealer**.

**NOTE**

**DO NOT TAMPER WITH THE EXHAUST SYSTEM.**



03\_14



03\_15

## Stand (03\_14, 03\_15)

The rotation of the stand "1" should be free of obstacles.

Carry out the following checks:

- The springs "2" should not be damaged, worn, rusty or slacken.
- The stand should turn freely, grease the joint if necessary.

### NOTE

THE FOLLOWING INFORMATION REFERS TO ONE STAND BUT IS VALID FOR BOTH.

### RESTING THE VEHICLE ON ITS STAND

#### Centre stand

- Hold the left handgrip «4» and the passenger handgrip «5».
- Push the stand lever «6».

#### Side stand

- Hold the left handgrip «4» and the passenger handgrip «5».
- Push the side stand «7» with your right foot to fully lower it.
- Tilt the vehicle until the stand touches the ground.
- Turn the handlebar fully leftwards.

### CAUTION



MAKE SURE THE SCOOTER IS STABLE.

## Suggestions to prevent theft

NEVER leave the ignition key in the lock and always use the steering lock.

Park the scooter in a safe place such as a garage or a place with guards.

Whenever possible, use the aprilia "Body-Guard" armoured cable or an additional antitheft device.

Make sure all scooter documents are in order and the road tax paid.

Write down your personal details and telephone number on this page to help identifying the owner in case of scooter retrieval after a theft.

LAST NAME: .....

NAME: .....

ADDRESS: .....

.....

TELEPHONE No: .....

#### **CAUTION**

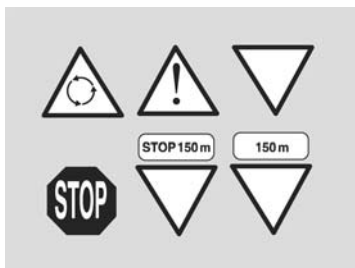
**DO NOT USE DISC LOCKING DEVICES. FAILURE TO OBSERVE THIS WARNING MAY CAUSE SERIOUS DAMAGE TO THE BRAKING SYSTEM AND ACCIDENTS RESULTING IN PHYSICAL INJURIES OR EVEN DEATH.**

#### **NOTE**

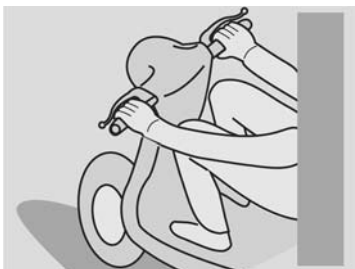
**IN MANY CASES, STOLEN VEHICLES CAN BE IDENTIFIED THROUGH DATA INDICATED IN THE USE AND MAINTENANCE BOOKLET.**



03\_16



03\_17



03\_18

## Safe driving (03\_16, 03\_17, 03\_18, 03\_19, 03\_20, 03\_21, 03\_22, 03\_23, 03\_24, 03\_25, 03\_26, 03\_27)

### MAIN SAFETY RULES

To ride the vehicle it is necessary to comply with all legal requirements (driving license, minimum driving age, psychophysical performance, insurance, taxes and fees, registration, license plate, etc.).

You should practise using the vehicle in traffic-free areas and/or private property until you have become thoroughly acquainted with the vehicle.

Driving under the influence of medication, alcohol and narcotic drugs or psychotropic substances dramatically increases the risk of accidents.

Do not ride your vehicle if you feel tired or drowsy and always keep safe psychophysical riding conditions.

The main cause of motorcycle accidents is users' inexperience.

NEVER lend the vehicle to beginners and always make sure that the rider complies with all necessary requirements for a safe riding.

Strictly obey all national and local traffic signs and rules.

Avoid any abrupt and dangerous swerves for your own as well as others' safety (for example: rearing up on the back wheel, riding over the speed limit, etc.). Besides, always assess and bear in mind the road surface conditions, visibility, etc.

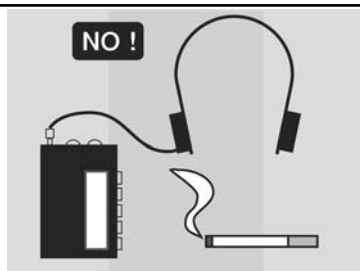
Do not knock obstacles that can damage the vehicle or cause loss of control.

Do not ride on the course of the vehicle in front of you just to improve your own speed.

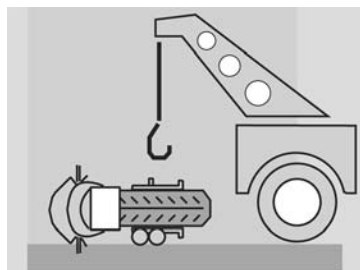
### CAUTION



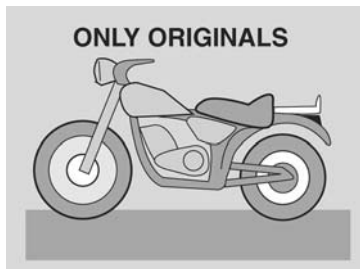
**ALWAYS RIDE WITH BOTH HANDS ON THE HANDLEBAR AND FEET ON THE FOOTRESTS (OR THE RIDER'S FOOTRESTS) IN THE ADEQUATE RIDING POSITION.**



03\_19



03\_20



03\_21

Never stand on your feet or stretch yourself while riding.

The rider should always be attentive, never get distracted or influenced by people, things or actions (never smoke, eat, drink, read, etc.) while riding.

Always use fuel and lubricants specific for the vehicle, of the type recommended in the "LUBRICANT TABLE". Check fuel, oil and coolant frequently for correct level.

In case of an accident or after the vehicle has fallen down or suffered a sudden bump, make sure the control levers, piping, cables, brake circuit and main parts of the vehicle have not been damaged.

If necessary, take the vehicle to an Official aprilia Dealer to check especially the frame, handlebar, suspensions, safety components and any device the user cannot assess without the aid of a specialist.

Report any malfunction to the engineers and/or mechanics in order to facilitate their work.

Never ride the vehicle if the damage jeopardises safety.

Do not modify the position, angle or colour of: license plate, turn indicators, lighting devices and horn.

Any changes to the vehicle will void the warranty.

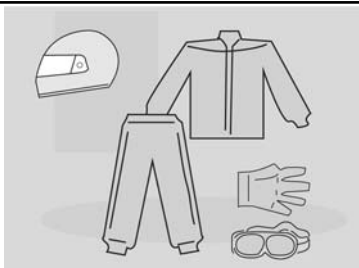
Any change introduced to the vehicle and the removal of original parts may jeopardise the vehicle performance and therefore reduce safety or even render the vehicle inappropriate for legal riding.

Comply with all national and local laws and regulations on vehicle equipment.

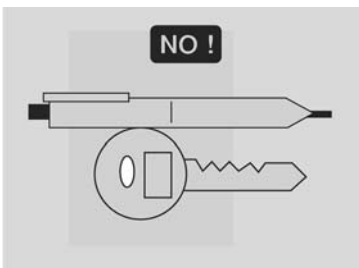
In particular do not introduce technical changes leading to improve performance and under no circumstances alter the original specifications of the vehicle.

Never race with vehicles.

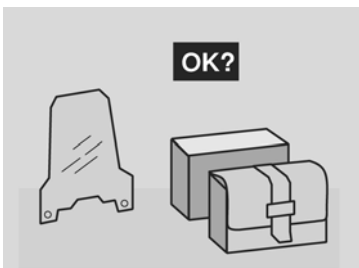
Never ride off-road.



03\_22



03\_23



03\_24

## CLOTHING

Before riding off, remember to put on the helmet and fasten it correctly. Make sure it is a homologated model, that it is undamaged, of the right size and that the visor is clean.

Wear appropriate protective clothes, preferably light-coloured and/or in reflective material. In this way you will be easily visible to other drivers, thus reducing the risk to be hit and you will be better protected in case of falling.

Always wear tight-fitting clothes without open cuffs; avoid hanging strings, belts or ties; these or any other objects should not interfere with a safe riding when getting entangled with the riding elements or due to a special movement.

Never carry in your pockets objects that can be potentially dangerous in case of fall, like: pointed objects such as keys, pens, glass containers, etc. (the same rule applies to passengers).

## ACCESSORIES

User is personally responsible for the installation and use of the accessories.

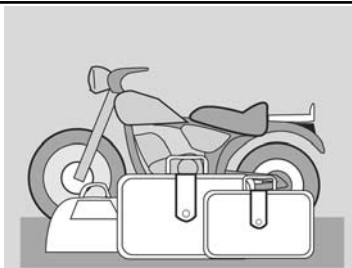
While assembling accessories, make sure that they do not cover the sound or light alarm devices or affect their correct functioning, do not limit the suspension travel or the steering angle, do not obstruct control actuation or reduce the ground clearance and inclination angle at corners.

Do not use accessories that hinder access to the controls as they may increase the reaction time in case of an emergency.

Fairings and large windshields fitted to the vehicle may cause aerodynamic forces that affect the vehicle stability while riding, mainly at high speeds.

Make sure the accessory is firm and secured to the vehicle and that it does not pose any risks while riding the vehicle.

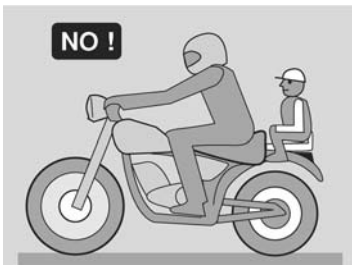
Do not add or modify electrical equipment that exceed the vehicle capacity as this may result in a sudden stop or a dangerous lack of power required to keep the sound and light alarm devices operative.



03\_25



03\_26



03\_27

**aprilia** advises using original accessories (**aprilia** genuine accessories).

### LOADING

Do not overload your vehicle. Keep packages as close as possible to the vehicle centre of gravity and distribute load evenly on both sides to minimise imbalance. Check also that the load is firm and secured to the vehicle, mainly for long trips.

Do not hang anything from your vehicle's handlebars, mudguards or forks, such as protruding, bulky, heavy and/or dangerous objects: this will slow the vehicle performance when turning and will upset the handling of your vehicle.

Do not carry packages that protrude from vehicle sides as this may hit people or objects and result in loss of control of your vehicle.

Never carry packages that are not securely fastened to the vehicle.

Do not carry packages that protrude from the luggage rack or which cover any of the sound and light alarm devices.

Never carry animals or small children on the glove-box or the luggage rack.

Never exceed the maximum weight allowed for each luggage rack.

Overloading the vehicle may result in lack of stability and poor handling.



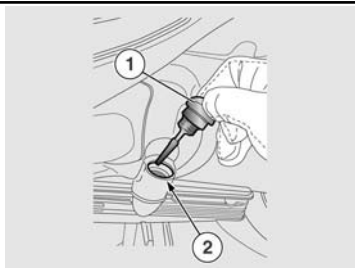


# **ATLANTIC**

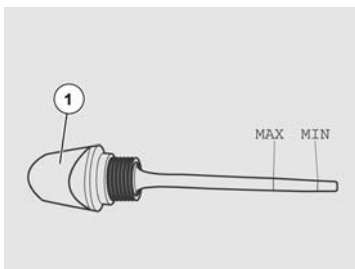
## **250 i.e.**



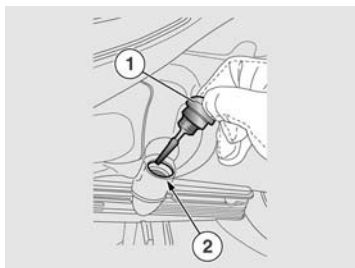
**Chap. 03**  
**Maintenance**



04\_01



04\_02



04\_03

## Engine oil level

Check engine oil level frequently.

See the Scheduled maintenance chart for engine oil checking and changing.

Take your scooter to an **Official aprilia Dealer** to carry out the replacement.

### CAUTION



**HANDLING OIL FOR PROLONGED PERIODS AND ON A REGULAR BASIS CAN CAUSE SERIOUS SKIN DAMAGE.**

**WASH YOUR HANDS CAREFULLY AFTER HANDLING OIL.**

**WHEN CARRYING OUT MAINTENANCE OPERATIONS, IT IS ADVISABLE TO WEAR LATEX GLOVES.**

**KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN**

**DO NOT DISPOSE OF OIL INTO THE ENVIRONMENT.**

### CAUTION



**PROCEED WITH CAUTION.**

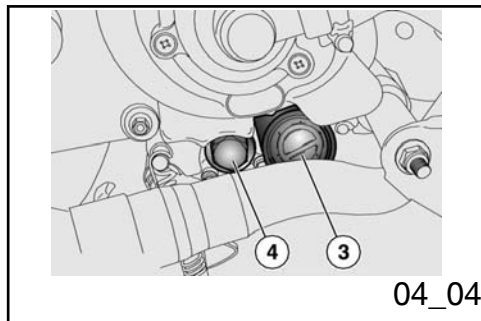
**DO NOT SPILL OIL.**

**BE CAREFUL NOT TO DIRTY COMPONENTS, THE WORKING OR SURROUNDING AREA.**

**THOROUGHLY WASH OUT ANY OIL TRACE.**

**IN CASE OF OIL LEAKS OR MALFUNCTIONING, TAKE YOUR VEHICLE TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**

### NOTE



**DO NOT EXCEED THE "MAX" MARK WHEN TOPPING UP ENGINE OIL.**

#### NOTE

**USE OIL OF THE TYPE SPECIFIED IN THE RECOMMENDED PRODUCTS TABLE.**

### Level check (04\_01, 04\_02)

- Rest the vehicle on its centre stand.

#### CAUTION



**PARK THE VEHICLE ON SAFE AND LEVEL GROUND.**

#### CAUTION



**THE ENGINE AND THE COMPONENTS OF THE EXHAUST SYSTEM CAN GET VERY HOT AND REMAIN SO FOR SOME TIME EVEN AFTER THE ENGINE IS TURNED OFF. WEAR INSULATING GLOVES BEFORE HANDLING THESE PIECES OR WAIT UNTIL THE ENGINE AND THE EXHAUST SYSTEM COOL DOWN.**

- Stop the engine and let it cool off so that the oil in the crankcase flows down and cools as well.

#### NOTE

**FAILURE TO FOLLOW THESE OPERATIONS MAY RESULT IN AN INCORRECT READING OF THE ENGINE OIL LEVEL.**

- Unscrew and take out the measuring cap-dipstick "1".
- Clean the area in contact with oil with a clean cloth.
- Screw the cap-dipstick "1" fully down into its tube "
- 2".
- Extract the cap-dipstick "1" again and read the oil level on the cap-dipstick:

**MAX** = maximum level;

**MIN** = minimum level.

The difference between the «**MAX**» and «**MIN**» levels is about:

200 cc

- The level is correct when it is close to the «**MAX**» level marked on the measuring dipstick.
- Top up if necessary.

#### CAUTION



**IN ORDER TO AVOID DAMAGING THE ENGINE OIL LEVEL MUST NEVER EXCEED THE "MAX" MARK OR FALL BELOW THE "MIN" MARK.**

### Oil top up

- Pour a little oil through the dipstick tube "2" and wait one minute so that the oil flows uniformly into the crankcase.
- Check oil level and top up if necessary.
- Do so with small quantities of oil at a time until the specified level is reached.
- After finishing this operation, screw and tighten the tap/dipstick "1".

#### CAUTION



**DO NOT RIDE THE VEHICLE WITH INSUFFICIENT LUBRICATION OR WITH CONTAMINATED OR INCORRECT LUBRICANTS AS THIS ACCELERATES THE WEAR AND TEAR OF THE MOVING PARTS AND CAN CAUSE IRRETRIEVABLE DAMAGE.**

## **Oil replacement (04\_03, 04\_04)**

### **ENGINE OIL AND FILTER REPLACEMENT**

Take your scooter to an **Official aprilia Dealer** to carry out the replacement.

#### **CAUTION**



**PARK THE VEHICLE ON SAFE AND LEVEL GROUND.**

- Park the scooter on its centre stand.

#### **CAUTION**



**THE ENGINE AND THE COMPONENTS OF THE EXHAUST SYSTEM CAN GET VERY HOT AND REMAIN SO FOR SOME TIME EVEN AFTER THE ENGINE IS TURNED OFF. WEAR INSULATING GLOVES BEFORE HANDLING THESE PIECES OR WAIT UNTIL THE ENGINE AND THE EXHAUST SYSTEM COOL DOWN.**

- Stop the engine and let it cool down. This will allow the oil to settle into the crankcase and cool down.
- Unscrew and take out the measuring tap-dipstick «1».

- Unscrew and remove the cartridge engine oil filter «3».

#### CAUTION



**DO NOT RIDE THE SCOOTER WITH INSUFFICIENT LUBRICATION OR WITH CONTAMINATED OR INCORRECT LUBRICANTS AS THIS ACCELERATES THE WEAR AND TEAR OF THE MOVING PARTS AND CAN CAUSE IRRETRIEVABLE DAMAGE.**

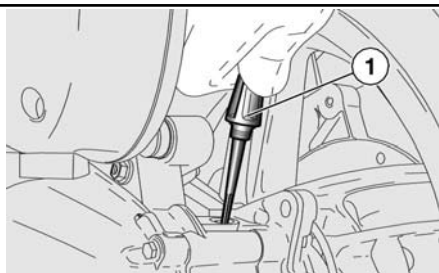
- Unscrew and remove the oil drainage plug «4» and then drain all engine oil.
- Fit a new oil cartridge filter «3» and take special care to lubricate with oil the filter sealing O-rings.
- Screw and tighten the engine oil drainage plug «4».
- Refill through the engine oil fill opening «2».
- Screw and tighten the oil level dipstick «1».
- Start the engine and let it run for several minutes. Stop the engine and let it cool down. Check engine oil level again using the dipstick «1» and if necessary top up but never exceed the «MAX» level.

**Use new oil of the type specified in the recommended products table at every top-up or change.**

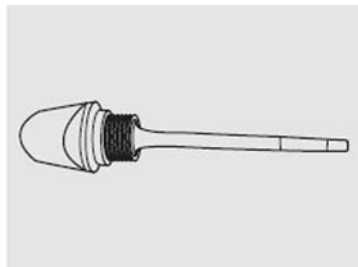
#### CAUTION



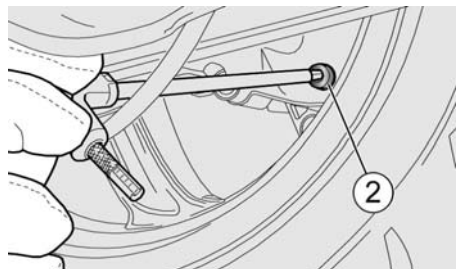
**AS USED OIL HAS SUBSTANCES HARMFUL TO THE ENVIRONMENT, TAKE YOUR SCOOTER TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER TO HAVE THE OIL CHANGED. THESE CENTRES CAN CARRY OUT ENVIRONMENTALLY-FRIENDLY DISPOSAL OF USED OIL IN COMPLIANCE WITH REGULATIONS IN FORCE.**



04\_05



04\_06



04\_07

## Hub oil level (04\_05, 04\_06, 04\_07)

- Park the scooter on its centre stand.

### CAUTION



**PARK THE VEHICLE ON SAFE AND LEVEL GROUND.**

### CAUTION



**THE ENGINE AND THE COMPONENTS OF THE EXHAUST SYSTEM CAN GET VERY HOT AND REMAIN SO FOR SOME TIME EVEN AFTER THE ENGINE IS TURNED OFF. WEAR INSULATING GLOVES BEFORE HANDLING THESE PIECES OR WAIT UNTIL THE ENGINE AND THE EXHAUST SYSTEM COOL DOWN.**

- Unscrew and take out the measuring tap-dipstick "1".
- Clean the area in contact with oil with a clean cloth.
- Screw the tap-dipstick "1" fully down into its tube.
- Extract the tap-dipstick "1" again and read the oil level on the tap-dipstick:

**MAX** = maximum level;

**MIN** = minimum level.

- The level is correct when it is close to the «**MAX**» level marked on the measuring dipstick.
- Top up if necessary.

### CAUTION



**DO NOT GO BEYOND THE MAX AND MIN LEVEL MARK TO AVOID SEVERE ENGINE DAMAGE.**

#### **TOPPING-UP**

- Pour a small quantity of oil in the tube and wait about one minute so that the oil flows evenly into the crankcase.
- Check the oil level and top up, if necessary.
- Top up with small quantities of oil, until the recommended level is reached.
- At the end of the operation, screw and tighten the tap-dipstick «1».

**Use new oil of the type specified in the recommended products table at every top-up or change.**

#### **CAUTION**



**DO NOT RIDE THE SCOOTER WITH INSUFFICIENT LUBRICATION OR WITH CONTAMINATED OR INCORRECT LUBRICANTS AS THIS ACCELERATES THE WEAR AND TEAR OF THE MOVING PARTS AND CAN CAUSE IRRETRIEVABLE DAMAGE.**

#### **Recommended products**

**AGIP GEAR SYNTH SAE 75W-90**

*Transmission oil*

API GL4, GL5

#### **GEARBOX OIL CHANGE**

Take your scooter to an **Official aprilia Dealer** to carry out the replacement.

#### **CAUTION**





**PARK THE VEHICLE ON SAFE AND LEVEL GROUND.**

- Park the scooter on its centre stand.

**CAUTION**

**THE ENGINE AND THE COMPONENTS OF THE EXHAUST SYSTEM CAN GET VERY HOT AND REMAIN SO FOR SOME TIME EVEN AFTER THE ENGINE IS TURNED OFF. WEAR INSULATING GLOVES BEFORE HANDLING THESE PIECES OR WAIT UNTIL THE ENGINE AND THE EXHAUST SYSTEM COOL DOWN.**

- Stop the engine and let it cool off so that the oil in the crankcase flows down and cools as well.

**CAUTION**

**WHEN CHANGING THE TRANSMISSION OIL, AVOID THE OIL COMING INTO CONTACT WITH THE REAR BRAKE DISC.**

- Unscrew and take out the measuring tap-dipstick «1».
- Unscrew and remove the transmission oil drainage screw «2».
- Let the transmission oil drain out completely and collect it in a container with suitable capacity.
- Screw and tighten the transmission oil drainage screw «2».
- Refill with the quantity and type of transmission oil specified in the recommended products table.
- Screw and tighten the measuring tap-dipstick «1».

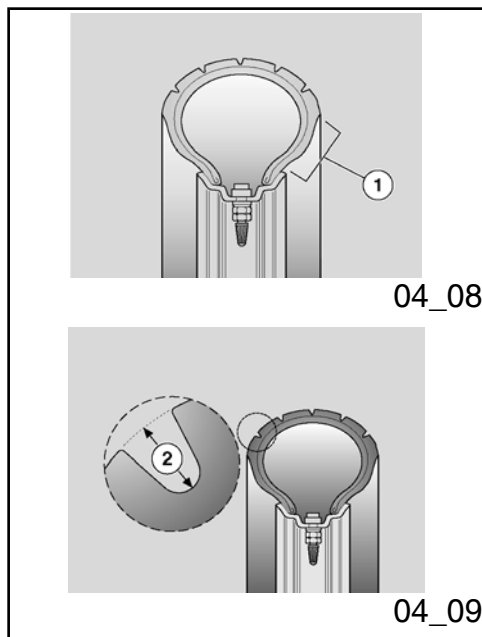
- Check transmission oil level again using the dipstick «1» and if necessary top up but never exceed the «MAX» level.

Use new oil of the type specified in the Recommended Products Table at every top-up or change.

### **Characteristic**

Oil quantity:

250 cc



### **Tyres (04\_08, 04\_09)**

#### **TYRES**

This vehicle is fitted with tyres without inner tubes (tubeless).

#### **CAUTION**



**CHECK FREQUENTLY TYRE PRESSURE WITH TYRES AT AMBIENT TEMPERATURE.**

**THE MEASUREMENT MAY BE INCORRECT IF TYRES ARE WARM. CHECK PRESSURE MAINLY BEFORE AND AFTER LONG TRIPS. IF TYRE PRESSURE IS TOO HIGH, THE SURFACE UNEVENNESS IS NOT CUSHIONED AND IS SENT TO THE HANDLEBAR, RESULTING IN UNPLEASANT RIDING AND POOR ROAD GRIP SPECIALLY WHEN TURNING.**

**CONVERSELY, WITH INADEQUATE TYRE PRESSURE, TYRE SIDES "1" BEAR MORE STRESS AND THE TYRE CAN SLIDE ON THE RIM OR EVEN GET DETACHED RESULTING IN LOSS OF CONTROL OVER THE SCOOTER. IN CASE OF SHARP BRAKING, TYRES CAN EVEN GET OFF THE RIMS. LASTLY, THE VEHICLE MIGHT SKID IN A BEND. INSPECT TREAD SURFACE AND CHECK FOR WEAR. BADLY WORN TYRES ADVERSELY AFFECT TRACTION AND HANDLING. SOME TYRE TYPES HOMOLOG-**

ATED FOR THIS SCOOTER FEATURE WEAR INDICATORS. THERE ARE SEVERAL TYPES OF WEAR INDICATORS.

CONSULT YOUR DEALER ON METHODS TO CHECK FOR WEAR. CARRY OUT A VISUAL INSPECTION FOR TYRE CONSUMPTION, REPLACE THEM IF WORN. OLD TYRES THAT ARE NOT FULLY WORN CAN GET HARD RESULTING IN LACK OF GRIP. REPLACE TYRES IF THIS OCCURS. REPLACE TYRES WHEN WORN OR IF THE TREAD HAS A HOLE BIGGER THAN 5 MM. AFTER A TYRE IS MENDED, BALANCE THE WHEELS. USE ONLY TYRE SIZES INDICATED BY THE MANUFACTURER. DO NOT FIT TYRES WITH INNER TUBES ON RIMS FOR TUBELESS TYRES OR VICE VERSA. CHECK THAT THE INFLATION VALVES HAVE THEIR CAPS IN ORDER TO AVOID UNEXPECTED FLAT TYRES.

REPLACEMENT, REPAIR, MAINTENANCE AND BALANCING OPERATIONS ARE HIGHLY IMPORTANT AND SO THEY SHOULD BE CARRYING OUT USING THE SPECIFIC AND WITH THE ADEQUATE KNOWLEDGE. IT IS THEREFORE ESSENTIAL TO TAKE YOUR SCOOTER TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER OR SPECIALISED TYRE WORKSHOP TO CARRY OUT THE OPERATIONS ABOVE. NEW TYRES CAN BE COVERED BY A SLIPPERY COAT: RIDE WITH CAUTION DURING THE FIRST KILOMETRES. DO NOT APPLY UNSUITABLE LIQUIDS ON TYRES.

#### **TREAD DEPTH MINIMUM THRESHOLD "2"**

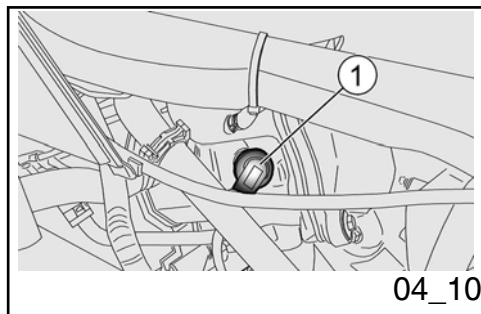
<b>Specification</b>	<b>Desc./Quantity</b>
Front:	1.5 mm
Rear	1.5 mm

**TYRE WEAR MINIMUM THRESHOLD "2" (USA  
VERSION)**

<b>Specification</b>	<b>Desc./Quantity</b>
Front (USA version)	3 mm
Rear (USA version)	3 mm

**TYRE MODEL**

<b>Specification</b>	<b>Desc./Quantity</b>
Front tyre	BRIDGESTONE 110/90 -13" 56P HOOP
Rear tyre	BRIDGESTONE 130/70 -13" 63P REINF HOOP
Front tyre	SAVA 110/90-13" 56P MC28 DIAMONDS
Rear tyre	SAVA 130/70 13" 63P REINF MC28 DIAMONDS



04\_10

## Spark plug dismantlement (04\_10)

Check the spark plug at each scheduled maintenance operation. Remove the spark plug regularly, clean off carbon scales, and replace it if necessary.

To access the spark plug:

- Remove the right inspection cover.

For removal and cleaning:

### CAUTION



**BEFORE CARRYING OUT THE FOLLOWING STEPS, ALLOW THE ENGINE AND THE MUFFLER TO COOL DOWN UNTIL THEY REACH ROOM TEMPERATURE IN ORDER TO AVOID ANY BURNS.**

- Disconnect the cap «1» of the high voltage cable from the spark plug.
- Clean off any trace of dirt from the spark plug base. Then unscrew it using the spanner supplied in the tool kit and remove it from its seat, being careful not to let dust or any other substance into the cylinder.
- Check that the spark plug electrode and centre porcelain are free of carbon deposits or signs of corrosion. If necessary, clean using suitable spark plug cleaners, a wire and/or metal brush.
- Blow with a strong air blast to avoid removed dirt getting into the engine. Replace the spark plug if there are cracks on the spark plug insulating material, corroded electrodes or several deposits.
- Check the electrode gap with a thickness gauge. It should be 0.7 - 0.8 mm; adjust it if necessary by carefully bending the earth electrode.
- Make sure the washer is in good conditions. Once the washer is fitted, manually screw the spark plug to avoid damaging the thread.
- Tighten using the spanner supplied in the tool kit, make the spark plug complete 1/2

a turn to press the washer.

#### CAUTION



**TIGHTEN THE SPARK PLUG CORRECTLY, OTHERWISE THE ENGINE MAY OVERHEAT AND GET IRRETRIEVABLE DAMAGED. USE SPARK PLUGS OF THE RECOMMENDED TYPE ONLY; OTHERWISE THE ENGINE PERFORMANCE AND LIFE CAN BE AFFECTED.**

#### **Characteristic**

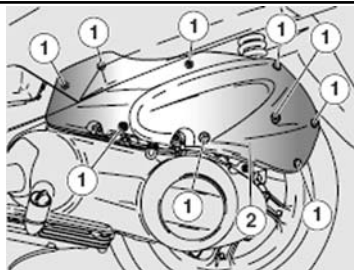
**Spark plug tightening torque:**

12 ÷ 14 Nm (1.2 ÷ 1.4 kg).

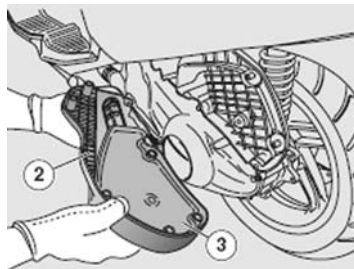
**Spark plug electrode gap**

0.7 -0.8mm

- Insert the spark plug tube correctly so that it does not get detached due to engine vibrations.
- Refit the right inspection cover.



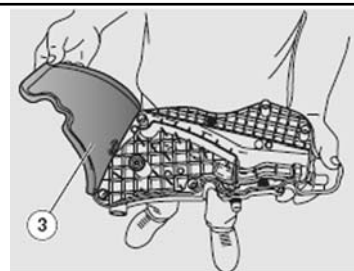
04\_11



04\_12

## Removing the air filter (04\_11, 04\_12)

- Place the scooter on its centre stand.
- Unscrew and remove the nine screws «1».
- Remove the filter housing cover «2» together with the filtering element «3».
- Check the filtering element «3» and replace it if necessary.



04\_13

## Air filter cleaning (04\_13)

Clean and check the air filter following the instructions on the Scheduled maintenance chart. If the scooter is used on dusty or wet roads, clean or replace the filter more frequently.

- Remove the filtering element from the scooter for cleaning.
- Clean the filtering element «3» with a blast of pressurised air.

### CAUTION



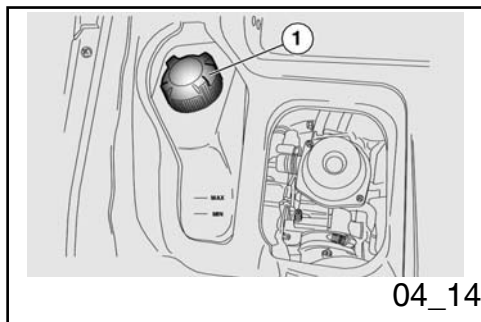
**DO NOT USE PETROL OR FLAMMABLE SOLVENTS TO CLEAN THE FILTERING ELEMENT TO AVOID RISK OF FIRE OR EXPLOSION.**

**DO NOT USE ADDITIVES OR LIQUIDS WHEN CLEANING TO AVOID HUMIDITY INSIDE THE FILTER HOUSING. USE COMPRESSED AIR ONLY.**

#### CAUTION



**DO NOT OIL THE FILTERING ELEMENT OR OIL MAY GET INTO THE BELT HOUSING AND DAMAGE OR MAKE IT SLIDE.**



### Cooling fluid level (04\_14, 04\_15, 04\_16)

Check the coolant level periodically or after long trips; have it changed every 2 years at an **Official aprilia Dealer**.

Coolant solution is 50% water and 50% antifreeze fluid. This mixture is ideal for most operating temperatures and provides a good protection against corrosion. It is advisable to use the same mixture even in hot weather, as this minimises loss due to evaporation and the need of frequent top-ups. Thus, mineral salt deposits formed in the radiator by evaporated water are also minimised and the efficiency of the cooling system is not affected. When the temperature drops below zero degrees centigrade, check the cooling system frequently and add more antifreeze if needed (up to 60% max.).

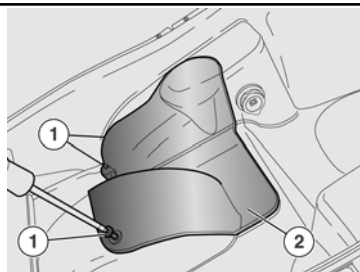
Use distilled water for the coolant solution so as not to damage the engine.

#### CAUTION

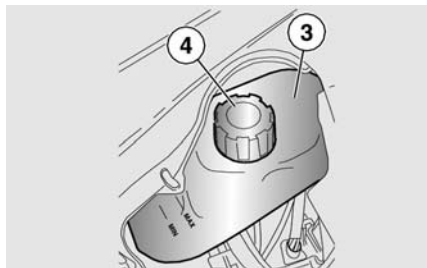


**DO NOT USE YOUR VEHICLE IF THE COOLANT LEVEL IS BELOW THE MINIMUM**





04\_15



04\_16

LEVEL MARKED "MIN".

**CAUTION**



COOLANT IS TOXIC IF INGESTED; CONTACT WITH EYES OR SKIN MAY CAUSE IRRITATION. IN THE EVENT OF CONTACT WITH EYES OR SKIN, RINSE REPEATEDLY WITH ABUNDANT WATER AND SEEK MEDICAL ADVICE. IF INGESTED, INDUCE VOMITING, RINSE MOUTH AND THROAT WITH ABUNDANT WATER AND SEEK MEDICAL ADVICE IMMEDIATELY.

**CAUTION**



DO NOT DISPOSE OF THE FLUID INTO THE ENVIRONMENT.

**CAUTION**



KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN

**CAUTION**

PAY ATTENTION NOT TO POUR COOLANT ONTO THE ENGINE HOT COMPONENTS; IT MAY CATCH FIRE PRODUCING INVISIBLE FLAMES. WHEN CARRYING OUT MAINTENANCE OPERATIONS, IT IS ADVISABLE TO WEAR LATEX GLOVES. TAKE THE VEHICLE TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER TO CARRY OUT THE REPLACEMENT.

**CAUTION**



DO NOT REMOVE THE EXPANSION TANK PLUG «4» WHEN THE ENGINE IS HOT, SINCE COOLANT IS UNDER PRESSURE AND VERY HOT. CONTACT WITH SKIN OR CLOTHES MAY CAUSE SEVERE SCALDING AND/OR DAMAGES.

## CHECKING

Shut off the engine and wait until it cools off.

- Open the helmet compartment under the saddle.
- Undo the two screws «1» and remove the inspection cover «2».
- Make sure that the coolant level in the expansion tank «3» is between the «**MIN**» and «**MAX**» reference marks.

**MIN** = minimum level.

**MAX** = maximum level.

Otherwise:

- Loosen (turning it clockwise) but do not remove the filler cap «4».
- Wait for some seconds so that possible pressure may be purged.
- Unscrew and remove the tap «4».

## CAUTION



**WAIT FOR THE ENGINE TO COOL DOWN BEFORE CHECKING OR TOPPING UP THE COOLANT LEVEL.**

## CAUTION



**COOLANT IS TOXIC IF INGESTED; CONTACT WITH EYES OR SKIN MAY CAUSE IRRITATION. DO NOT INTRODUCE YOUR FINGERS OR ANY OTHER OBJECT TO CHECK IF THERE IS COOLANT OR NOT.**

## TOP-UP

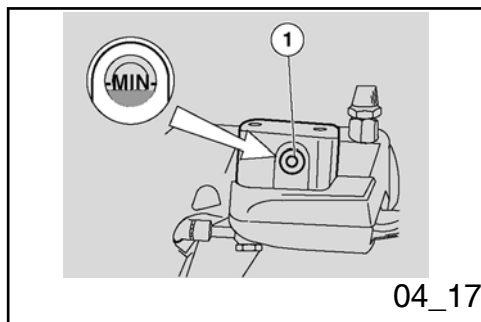
- Top up with coolant until the fluid level is close to the «**MAX**» mark.
- Refit the filler cap «4».
- Refit the inspection cover, carefully checking it is correctly fixed.

**CAUTION**

**WHEN TOPPING-UP, DO NOT EXCEED THE "MAX" LEVEL OR THE FLUID WILL FLOW OUT WHEN THE ENGINE IS RUNNING.**

**CAUTION**

**IF THERE IS AN EXCESSIVE CONSUMPTION OF COOLANT OR THE RESERVOIR REMAINS EMPTY, CHECK THAT THERE ARE NO LEAKS IN THE CIRCUIT. FOR REPAIRS, TAKE YOUR VEHICLE TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**



04\_17

## Checking the brake oil level (04\_17)

The information provided below relates to an individual braking system but is applicable to both.

When the friction pads wear out, the brake fluid level in the reservoir goes down to automatically compensate for that wear.

The brake fluid reservoirs are located on the handlebar, near the brake lever attachments.

Check frequently the brake fluid level in the reservoirs and the brake pad wear.

**NOTE**

**THIS VEHICLE IS EQUIPPED WITH FRONT AND REAR DISC BRAKES, EACH OPERATED BY AN INDEPENDENT HYDRAULIC CIRCUIT.**

**CAUTION**



**DO NOT USE YOUR VEHICLE IF A FLUID LEAK IN THE BRAKING CIRCUIT IS DETECTED.**

To check level:

**CAUTION**



**PARK THE VEHICLE ON SAFE AND LEVEL GROUND.**

- Rest the scooter on its centre stand.
- Rotate the handlebar so that the fluid in the brake fluid reservoir is parallel to the «**MIN**» reference mark on the sight glass «1».
- Check that the fluid in the reservoir is over the «**MIN**» reference mark on the sight glass «1».

**MIN** = minimum level.

**CAUTION**



**DO NOT USE YOUR SCOOTER IF THE FLUID IS NOT AT LEAST AT THE "MIN" MARK.**

**CAUTION**

**BRAKE LEVEL DECREASES GRADUALLY AS THE BRAKE PADS WEAR DOWN.**

If the level is too low:

- Check the brake pads and discs for wear

If pads and/or the disc need not to be replaced:

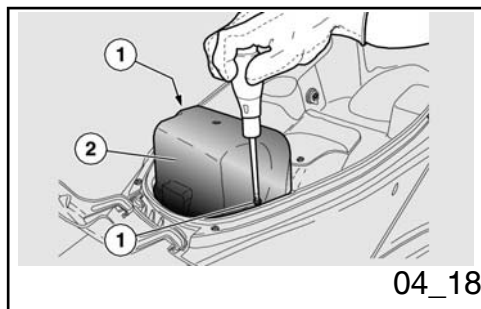
- Take your scooter to an **Official aprilia** Dealer to carry out the top-up.

#### CAUTION



#### CHECK BRAKING EFFICIENCY.

**IN CASE OF EXCESSIVE TRAVEL OF THE BRAKE LEVER OR POOR PERFORMANCE OF THE BRAKING CIRCUIT, TAKE YOUR SCOOTER TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER AS IT MAY BE NECESSARY TO PURGE AIR IN THE CIRCUIT.**



04\_18

### Battery (04\_18, 04\_19)

Check electrolyte level and terminal tightening according to the indications in the scheduled maintenance table and to the cylinder capacity.

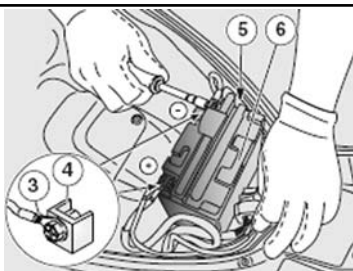
#### CAUTION



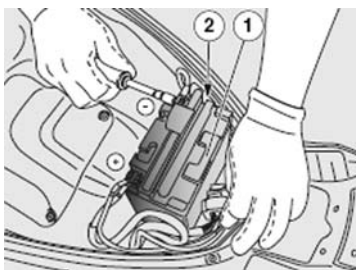
**FIRE HAZARD. FUEL OR ANY OTHER FLAMMABLE SUBSTANCES MUST NOT BE CLOSE TO ELECTRICAL COMPONENTS.**

**THE BATTERY ELECTROLYTE IS TOXIC, CORROSIVE AND AS IT CONTAINS SULPHURIC ACID, IT CAN CAUSE BURNS WHEN IN CONTACT WITH THE SKIN. WEAR PROTECTION CLOTHES, A FACE MASK AND/OR SAFETY GOGGLES WHEN CARRYING OUT MAINTENANCE OPERATIONS. IF THE ELECTROLYTIC FLUID GETS INTO CONTACT WITH THE SKIN, WASH WITH ABUNDANT COOL WATER.**

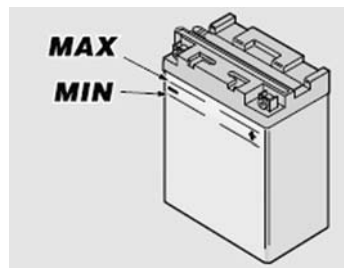
**IF THE FLUID GETS INTO CONTACT WITH THE EYES, WASH WITH ABUNDANT WATER FOR FIFTEEN MINUTES AND CONSULT AN EYE SPECIALIST IMMEDIATELY.**



04\_19



04\_20



04\_21

IF IT IS ACCIDENTALLY SWALLOWED, DRINK A LOT OF WATER OR MILK, THEN MILK OF MAGNESIA OR VEGETAL OIL, AND SEEK MEDICAL ADVICE IMMEDIATELY.

THE BATTERY RELEASES EXPLOSIVE GASES. KEEP IT AWAY OF FLAMES, SPARKS, CIGARETTES OR ANY OTHER HEAT SOURCE.

WHEN RECHARGING OR USING THE BATTERY, BE CAREFUL TO HAVE THE ROOM ADEQUATELY AIRED. DO NOT BREATHE GASES RELEASED WHEN THE BATTERY IS RECHARGING.

KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN

PAY ATTENTION NOT TO TILT THE SCOOTER EXCESSIVELY TO AVOID DANGEROUS SPILLS OF BATTERY FLUID.

#### CAUTION



DO NOT INVERT THE CONNEXIONS OF THE BATTERY LEADS.

CONNECT AND DISCONNECT THE BATTERY WITH THE IGNITION SWITCH SET TO «OFF», OTHERWISE THIS MAY DAMAGE SOME COMPONENTS. FIRST CONNECT THE POSITIVE TERMINAL (+) AND THEN THE NEGATIVE ONE (-). DISCONNECT IN THE REVERSE ORDER.

BATTERY FLUID IS CORROSIVE.

DO NOT POUR OR SPREAD IT ESPECIALLY ON PLASTIC PARTS.

USE A SPECIFIC BATTERY CHARGER (CONSTANT VOLTAGE/CURRENT OR CONSTANT VOLTAGE TYPE) WHEN RECHARGING A "MAINTENANCE FREE" BATTERY INSTALLED.

USING A CONVENTIONAL BATTERY CHARGER MAY DAMAGE THE BATTERY.

#### BATTERY COVER REMOVAL

- Make sure the ignition switch is set to «OFF».

- Lift the saddle.
- Unscrew and remove the two screws «1».
- Slide off the battery cover «2».

#### CAUTION



**PARK THE VEHICLE ON SAFE AND LEVEL GROUND.**

#### CHECKING AND CLEANING LEADS AND TERMINALS

- Remove the battery cover.
- Make sure the ignition switch is set to «OFF».
- Check that the leads «3» and the terminals «4» of the battery are:
  - in good conditions (not corroded or covered by deposits);
  - covered by neutral grease or petroleum jelly.

If necessary:

- Disconnect first the negative lead (-) and then the positive one (+).
- Brush with a metal bristle brush to remove all signs of corrosion.
- Connect again first the positive lead (+) and then the negative one (-).
- Cover the leads and terminals with neutral grease or petroleum jelly.

#### BATTERY REMOVAL

- Remove the battery cover.
- Disconnect the negative lead (-) first and then the positive one (+).
- Remove the battery «6» from its housing and put it away on a level surface in a cool and dry place.

#### CAUTION



**ONCE REMOVED THE BATTERY MUST BE PUT AWAY IN A SAFE PLACE AND OUT OF THE REACH OF CHILDREN.**

- Refit the battery cover.

#### **CAUTION**



**HANDLE WITH CARE AND MAXIMUM ATTENTION AS ELECTROLYTE FLUID MAY SPILL OUT THROUGH THE BREATHER PIPE.**

#### **BATTERY RECHARGE**

- Remove the battery.
- Connect the battery to a battery charger.
- It is advisable to recharge at a current of 1/10 of the battery rated capacity.

#### **NOTE**

**REFIT THE BATTERY ONLY 5-10 MINUTES AFTER DISCONNECTING THE CHARGER AS THE BATTERY KEEPS PRODUCING GAS FOR A SHORT TIME.**

### **Use of a new battery (04\_20)**

- Remove the battery cover.
- Place the battery «1» in its housing.
- Connect the battery breather pipe «2».

#### **CAUTION**





**ALWAYS CONNECT THE BATTERY BREATHER TO AVOID THAT SULPHURIC ACID STEAM FROM THE BREATHER CAN CORRODE THE ELECTRICAL SYSTEM, PAINTED PARTS, RUBBER COMPONENTS OR GASKETS.**

- Connect the positive lead (+) first and then the negative one (-).
- Cover the leads and terminals with neutral grease or petroleum jelly.
- Refit the battery cover.

## Checking the electrolyte level (04\_21)

To check the electrolyte level

- Remove the battery cover.
- Check that the electrolyte level is between the two «**MIN**» and «**MAX** » notches stamped on the battery side.

Otherwise:

- Remove the cell caps.
- Restore the electrolyte level by adding distilled water.

### CAUTION



**USE DISTILLED WATER ONLY TO TOP UP ELECTROLYTE FLUID. DO NOT EXCEED THE «MAX» SINCE THE LEVEL INCREASES DURING RECHARGE.**

## Long periods of inactivity

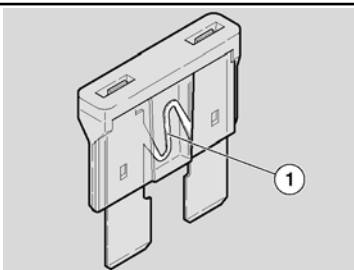
If the scooter is inactive longer than fifteen days, it is necessary to recharge the battery to avoid sulphation,

- Remove the battery and put it away in a cool and dry place.

In winter or when the vehicle remains stopped, check the charge frequently (about once a month) to avoid deterioration.

- Fully recharge with an ordinary charge.

If the battery is still on the vehicle, disconnect the cables from the terminals.



04\_22



04\_23

## Fuses (04\_22, 04\_23, 04\_24, 04\_25, 04\_26)

### CAUTION



**NEVER ATTEMPT TO REPAIR FAULTY FUSES. NEVER USE A FUSE OF A RATING OTHER THAN SPECIFIED. THIS COULD DAMAGE THE ELECTRICAL SYSTEM OR CAUSE A SHORT CIRCUIT, WITH THE RISK OF FIRE.**

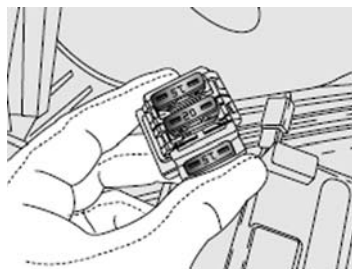
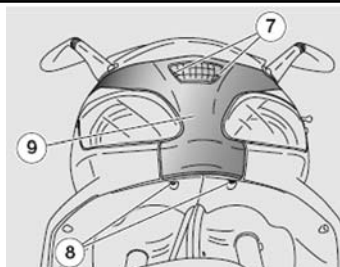
### CAUTION



**IF A FUSE BLOWS OUT FREQUENTLY, THAT MAY BE DUE TO A SHORT CIRCUIT OR OVERLOAD. IN THIS EVENT, CONTACT AN APRILIA OFFICIAL DEALER.**

Checking the fuses is necessary whenever an electrical component fails to operate or is malfunctioning or when the engine does not start.

First check the 15A fuses, and then the 20A fuses.



**In order to reach the fuses:**

Rest the vehicle on its main stand

**Main fuses:**

- Remove the battery cover.

**Secondary fuses:**

- Unscrew and remove the two screws **«6»**.
- Unscrew and remove the two screws **«7»**.
- Unscrew and remove the two screws **«8»**.
- Pull carefully to remove the front case **«9»**.

**To carry out the check:**

- Extract a fuse at a time and check whether the link bar «1» is divided.
- When you find a blown fuse, determine and rectify the cause (if possible), before fitting a new one.
- Replaced any failed fuses with a fuse of equal current rating.

## NOTE

**WHEN YOU USE ONE OF THE SPARE FUSES, REMEMBER TO ADD A NEW ONE OF EQUAL RATING TO THE FUSE BOX.**

**MAIN FUSES LAYOUT (BATTERY COMPARTMENT)**

Specification	Desc./Quantity
20A fuse	From the battery to: ignition switch, fan relay, control unit.
15A fuse	From the battery to: plug socket, helmet compartment light.

**SECONDARY FUSES LAYOUT (FRONT CASE)**

Specification	Desc./Quantity
15A fuse	From the ignition switch to: instrument panel warning lights, lights, horn, stop lights.
15A fuse	From the ignition switch to: ignition safety logic, injection relay, instrument panel warning lights.

**Lamps****CAUTION**

**FIRE HAZARD. FUEL OR ANY OTHER FLAMMABLE SUBSTANCES MUST NOT BE CLOSE TO ELECTRICAL COMPONENTS.**

**CAUTION**



**BEFORE REPLACING A BULB, TURN THE IGNITION SWITCH TO "OFF" AND WAIT A FEW MINUTES FOR THE BULB TO COOL OFF.**

**WEAR CLEAN GLOVES OR USE A CLEAN DRY CLOTH TO REPLACE THE BULB.**

**DO NOT LEAVE PRINTS ON THE BULB AS THIS MAY CAUSE IT TO OVERHEAT OR EVEN BLOW OUT. IF YOU TOUCH THE BULB WITHOUT WEARING GLOVES, CLEAN OFF PRINTS WITH ALCOHOL TO AVOID DAMAGING THE BULB.**

**DO NOT FORCE ELECTRICAL CABLES.**

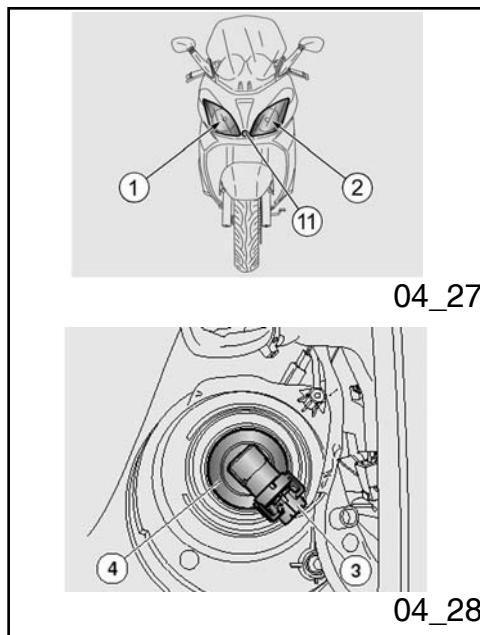
#### **NOTE**

**BEFORE CHANGING A BULB, CHECK THE FUSES.**

### **BULBS**

<b>Specification</b>	<b>Desc./Quantity</b>
Rear light bulbs / brake	12V - 5W/21W
Turn indicators bulb	12V - 10W
Tail light bulb	12V - 16W
High beam bulb	12V - 55W
Low beam bulb	12V - 55W
Instrument panel lighting warning light	12V - 1.2W
Turn indicator warning light	12V - 1.2W
Engine oil pressure warning light	12V - 1.2W

Low-beam warning light	12V - 1.2W
High-beam warning light	12V - 1.2W
Low fuel warning light	12V - 1.2W



## Front light group (04\_27, 04\_28, 04\_29, 04\_30, 04\_31)

### Front headlamp bulb replacement

In the front headlight there are:

- One high-beam light bulb «1».
- One low-beam light bulb «2».
- One front tail light bulb «11».

For replacement:

- Open the glove-box and release the end of stroke side rods by pressing them down moderately.

### High-beam and low-beam bulbs

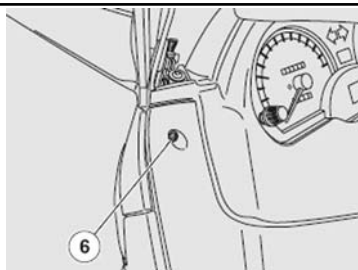
- Hold the electrical bulb connector «3», pull and disconnect it from the bulb.
- Turn the bulb «4» anticlockwise and remove it from the parabol fitting.

When refitting:

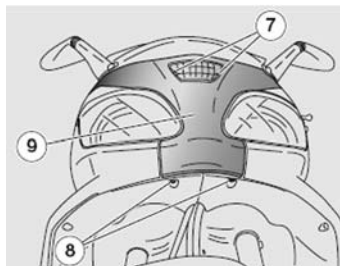
- Place the bulb «4» in the parabol fitting and turn it clockwise.
- Connect the bulb electrical connector «3».

### CAUTION

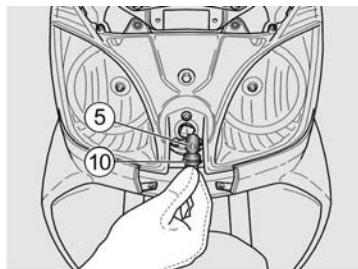
**DO NOT PULL THE ELECTRICAL CABLES WHEN TAKING OUT THE BULB ELECTRICAL CONNECTOR.**



04\_29



04\_30



04\_31

**NOTE**

**INSERT THE BULB IN THE PARABOLE FITTING SO THAT THE THREE BULB TABS COINCIDE WITH THEIR SLOTS IN THE BULB HOLDER.**

**Tail light bulb replacement**

- Rest the scooter on its centre stand.
- Unscrew and remove the two screws «6».

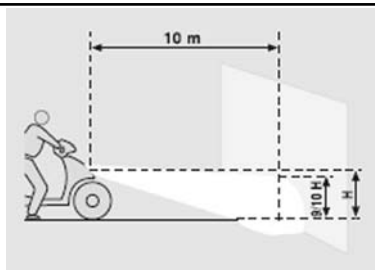
- Unscrew and remove the two screws «7».
- Unscrew and remove the two screws «8».

**CAUTION**

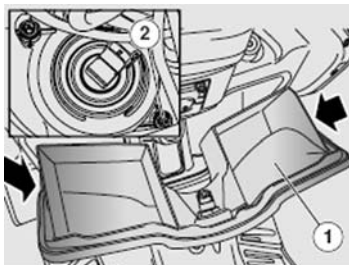
**UPON REMOVAL, BE CAREFUL NOT TO DROP THE CLIPS INSTALLED ON THE TONGUES.**

- Pull carefully to remove the front case «9» .
- Working from the rear part of the bulb holder «10», turn and extract the entire bulb holder.
- Extract the bulb «5» from its fitting.
- Fit a new bulb of the same type correctly .
- To refit, follow the same procedure but in reverse order.

**NOTE**



04\_32



04\_33



04\_34

IT IS NOT NECESSARY TO OPERATE OR REMOVE THE HEADLIGHT GLASS OR PARABOLE TO REPLACE THE TAIL LIGHT BULB.

#### CAUTION



PROCEED WITH CAUTION.

DO NOT DAMAGE THE TABS AND/OR THEIR CORRESPONDING SLOTS.

HANDLE THE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE, DO NOT SCRATCH OR IMPAIR THEM.

#### NOTE

INSERT THE BULB «5» IN THE BULB HOLDER «10» SO THAT THE TWO GUIDING PINS COINCIDE WITH THEIR GUIDES ON THE BULB HOLDER.

#### NOTE

WHEN REFITTING INSERT TABS IN THEIR SLOTS WITH THE CORRESPONDING CLIPS.

## Headlight adjustment (04\_32, 04\_33, 04\_34)

### LIGHT BEAM VERTICAL ADJUSTMENT

For a quick check of the correct direction of the front light beams, place the scooter ten metres from a vertical wall and make sure the ground is level.

Turn on the low beam light, sit on the scooter and check that the light beam projected to the wall is a little below the headlight horizontal straight line (about 9/10 of the total height).

To adjust the light beam:

- Open the glove-box «1» and release the end of stroke side rods by pressing them down moderately.
- Remove the right and left protection covers by levering the upper release tongue.



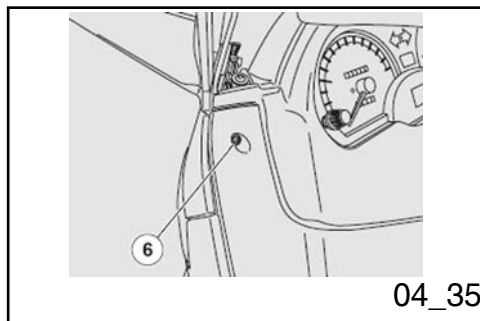
- Use a screwdriver or an 8 mm combination spanner to undo the lower set screws «2» for both headlights:
  - Turn it CLOCKWISE to lower the light beam.
  - Turn it ANTICLOCKWISE to raise the light beam.

### LIGHT BEAM HORIZONTAL ADJUSTMENT

- Open the glove-box «1» and release the end of stroke side rods by pressing them down moderately.
- Remove the right and left protection covers using the upper fixing tongue.

To adjust the light beam:

- Use a screwdriver or an 8 mm combination spanner to undo the upper set screws «2» for both headlights: turn them CLOCKWISE to move the light beam to the LEFT (in relation to the riding direction). Turn them ANTICLOCKWISE to move the light beam to the RIGHT (in relation to the riding direction).



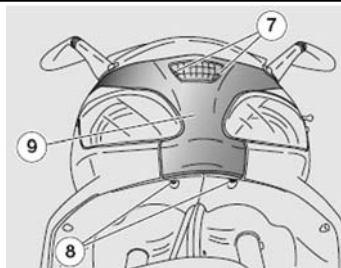
### Front direction indicators (04\_35, 04\_36, 04\_37)

#### BULB REPLACEMENT

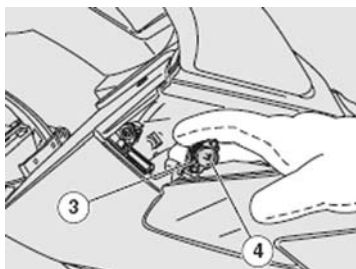
For replacement:

- Rest the scooter on its centre stand.
- Unscrew and remove the two screws «6».
- Unscrew and remove the two screws «7».
- Unscrew and remove the two screws «8».

#### CAUTION



04\_36



04\_37

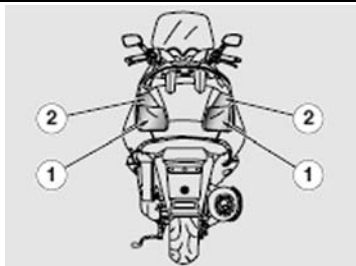


**UPON REMOVAL, BE CAREFUL NOT TO DROP THE CLIPS INSTALLED ON THE TONGUES.**

- Pull carefully to remove the front case «9» .
- Working from the front part of the vehicle, turn the holder «3» with the bulb «4» clockwise and extract them from their fitting.
- Press the bulb «4» moderately and turn it anticlockwise.
- Extract the bulb from its fitting.
- Install a bulb of the same type adequately.
- Reinstall in the reverse order.

#### NOTE

**INSERT THE BULB IN THE BULB HOLDER SO THAT THE TWO GUIDING PINS COINCIDE WITH THEIR GUIDES ON THE BULB HOLDER.**



04\_38

## Rear optical unit (04\_38, 04\_39, 04\_40)

### REAR HEADLAMP BULB REPLACEMENT

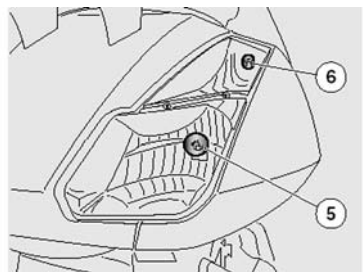
In the rear headlamps there are:

- Two tail light/stop light bulbs «1».
- Two rear turn indicator bulbs «2».

For replacement:



04\_39



04\_40

- Unscrew the two fixing screws «3» and remove the glass «4».

**NOTE**

THE FOLLOWING INFORMATION REFERS TO ONLY ONE INDICATOR BUT IT APPLIES TO BOTH.

**CAUTION**

PROCEED WITH CAUTION.

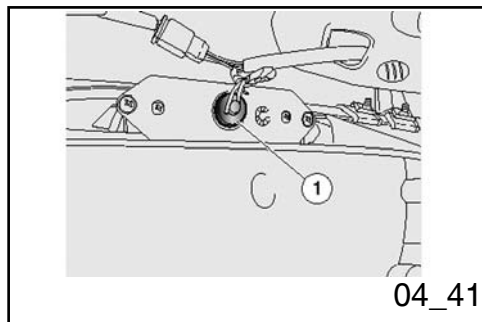
DO NOT DAMAGE THE TABS AND/OR THEIR CORRESPONDING SLOTS.

HANDLE THE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE, DO NOT SCRATCH OR IMPAIR THEM.

- Turn anticlockwise and extract the (tail light/stop light) bulb «5» or the (turn indicator) bulb «6».
- Install a bulb of the same type adequately.

**CAUTION**

UPON REFITTING, PLACE THE GLASS «4» CORRECTLY INTO PLACE.



### Number plate light (04\_41)

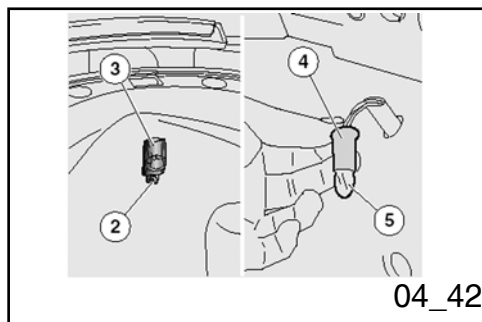
For replacement:

- Hold and pull the bulb holder «1» to extract it from its seat.
- Slide off and replace the bulb with another of the same type.

#### CAUTION



**DO NOT PULL THE ELECTRICAL CABLES WHEN TAKING OUT THE BULB HOLDER.**



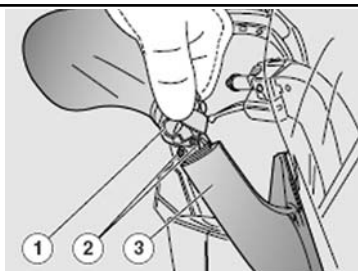
### Helmet compartment lighting bulb (04\_42)

For replacement:

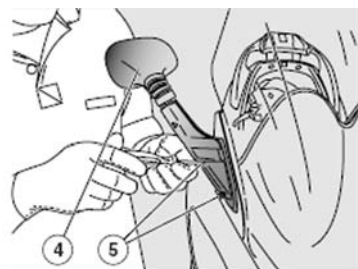
- Lift the saddle.
- Loosen and remove the fixing screw «2» on the battery cover glass.
- Remove the glass «3» and slide it off downward.
- Hold and pull the bulb holder «4» to extract it from its seat.
- Slide off the bulb «5» and replace it with another of the same type.

#### CAUTION

**DO NOT PULL THE ELECTRICAL CABLES WHEN TAKING OUT THE BULB HOLDER.**



04\_43



04\_44

## Rear-view mirrors (04\_43, 04\_44)

The following information refers to one rear view mirror but is valid for both.

- Rest the scooter on its centre stand.
- Lift the protection rubber ring «1» and unscrew the two fixing screws «2» .
- Remove the protection cover «3».
- Remove the two fixing screws «5».
- Remove the rear-view mirror «4».

### NOTE

**ASSEMBLE THE COMPONENTS FOR THE RIGHT AND THE LEFT REAR -VIEW MIRRORS SEPARATELY.**

### CAUTION

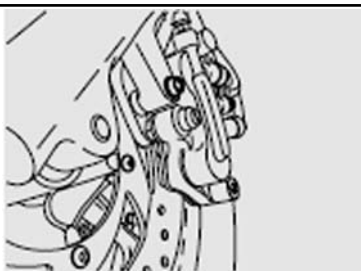


**HOLD THE REAR-VIEW MIRROR "4" TO AVOID DROPPING IT BY ACCIDENT.**

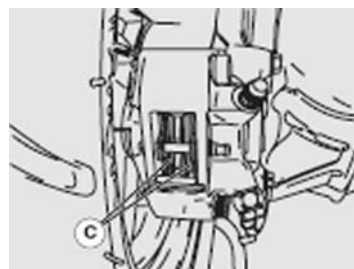
### CAUTION



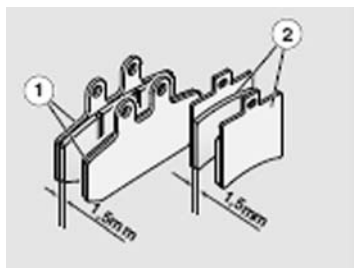
**HANDLE THE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE, DO NOT SCRATCH OR IMPAIR THEM.**



04\_45



04\_46



04\_47

## Front and rear disc brake (04\_45, 04\_46, 04\_47)

### NOTE

THIS VEHICLE IS FITTED WITH FRONT AND REAR DISC BRAKES WITH INDEPENDENT HYDRAULIC CIRCUITS. THE FOLLOWING INFORMATION REFERS TO ONE BRAKING CIRCUIT BUT IS VALID FOR BOTH.

### CAUTION



SUDDEN BACKLASH CHANGES OR ELASTIC RESISTANCE IN THE LEVER ARE DUE TO MALFUNCTION OF THE HYDRAULIC CIRCUIT. CONTACT AN APRILIA OFFICIAL DEALER IN CASE OF DOUBTS ON THE CORRECT OPERATION OF THE SYSTEM AND WHEN UNABLE TO CARRY OUT ROUTINE CHECKS.

### CAUTION



PAY SPECIAL ATTENTION TO THE BRAKE DISC AND THE FRICTION GASKETS AND CHECK THAT THEY ARE NOT OILY OR GREASY, SPECIALLY AFTER MAINTENANCE OPERATIONS OR CHECKS.

CHECKED THAT THE BRAKE PIPE IS NOT TWISTED OR THREADBARE.

DO NOT DISPOSE OF THE FLUID INTO THE ENVIRONMENT.

KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN

### CAUTION



BRAKES ARE THE MOST IMPORTANT COMPONENTS TO ENSURE SAFETY AND THEREFORE THEY HAVE TO BE ALWAYS IN PERFECT CONDITIONS; CHECK THEM BEFORE EVERY RIDE.

**A DIRTY DISC SMEARS THE PADS RESULTING IN POOR BRAKING. REPLACE DIRTY PADS AND CLEAN AGAIN THE DIRTY DISC USING A TOP QUALITY DEGREASING PRODUCT.**

**THE BRAKE FLUID SHOULD BE REPLACED EVERY TWO YEARS AT AN OFFICIAL APRILIA DEALER.**

**DO NOT HESITATE TO CONTACT AN OFFICIAL APRILIA DEALER IN CASE OF DOUBTS ON THE CORRECT OPERATION OF THE BRAKING SYSTEM AND WHEN THE ORDINARY CHECKS CAN NOT BE CARRIED OUT.**

#### **Pads wear check**

Check brake pads for wear according to the indications in the Scheduled maintenance chart.

Disc brake pad wear depend on the use, the riding style and the roads.

#### **NOTE**

**THE FOLLOWING INFORMATION REFERS TO ONE BRAKING CIRCUIT BUT IS VALID FOR BOTH.**

#### **CAUTION**



**CHECK BRAKE PADS FOR WEAR MAINLY BEFORE EACH RIDE.**

To carry out a quick pad check:

- Rest the scooter on its centre stand.
- Carry out a visual inspection of brake disc and pads as follows.

#### **Front brake calliper**

- From the front bottom side for both pads.

**Rear brake calliper**

- From the back bottom side for both pads «C».

**NOTE**

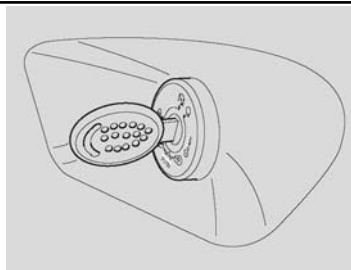
**EXCESSIVE WEAR OF THE FRICTION MATERIAL MAKES THE PAD METAL SUPPORT GET INTO CONTACT WITH THE DISC, WHICH RESULTS IN METALLIC NOISE AND SPARKS IN THE CALLIPER; THEREFORE, BRAKING EFFICIENCY AND DISC SAFETY AND INTEGRITY ARE AT RISK.**

- If the friction material thickness (even in only one pad) is reduced to about 1.5 mm, replace both pads.
- Front pads «1».
  - Rear pads «2».

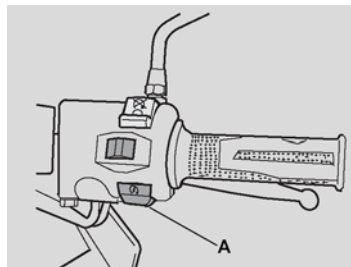
**CAUTION**

**TAKE YOUR VEHICLE TO AN OFFICIAL APRILIA DEALER TO CARRY OUT THE REPLACEMENT.**





04\_48



04\_49

## Periods of inactivity (04\_48, 04\_49)

Take some measures to avoid the side effects of not using the scooter. Besides, it is necessary to carry out general repairs and checks before garaging the scooter as one can forget to do so afterwards.

Proceed as follows:

- Empty the fuel tank completely.
- Remove the spark plug.
- Pour a teaspoonful (5 -10 cm<sup>3</sup>) of engine oil into the cylinder.

### NOTE

**PLACE A CLEAN CLOTH ON THE CYLINDER NEXT TO THE SPARK PLUG SEAT TO PROTECT IT FROM POSSIBLE OIL SPLASHES.**

- Set the ignition switch to "ON" and press the starter button "A" for a few seconds to distribute the oil on the cylinder surfaces uniformly.
- Remove the protection cloth.
- Refit the spark plug.
- Remove the battery.
- Wash and dry the scooter.
- Polish the painted surfaces.
- Inflate tyres.
- Place the scooter so that both tyres do not touch the ground using a specific support.
- Store the vehicle in a cool, dry place, away from sunlight and with steady temperature.
- Put a plastic bag on the muffler exhaust end and tie it so that humidity cannot get in.
- Cover the scooter but do not use plastic or waterproof materials.

### AFTER STORAGE

- Uncover and clean the scooter.
- Check that the battery charge is OK and fit it.
- Refill the fuel tank.
- Carry out the preliminary checks.

**CAUTION**

**AS A TEST, RIDE THE SCOOTER FOR A FEW KILOMETRES AT A MODERATE SPEED AND AWAY FROM TRAFFIC AREAS.**

## Cleaning the vehicle

Clean the scooter frequently when riding in the following areas or conditions:

- Air pollution (cities and industrial areas)
- Salinity and humidity in the atmosphere (sea areas, hot and wet weather).
- Special ambient/seasonal conditions (use of salt, anti-icing chemical products on the roads in winter).
- Pay special care that industrial or polluting dust deposits do not form on the bodywork and also remove tar stains, dead insects, bird droppings, etc.
- Avoid parking your scooter under trees; Resins, fruits or leaves falling from trees may contain aggressive chemical substances that may damage the paintwork.

**CAUTION**

**AFTER CLEANING YOUR VEHICLE, BRAKING EFFICIENCY MAY BE TEMPORARILY AFFECTED DUE TO THE PRESENCE OF WATER ON THE FRICTION SURFACES OF THE BRAKING CIRCUIT. CALCULATE A LONGER BRAKING DISTANCE IN ORDER TO AVOID ACCIDENTS. BRAKE REPEATEDLY TO RESTORE NORMAL OPERATION. CARRY OUT THE PRELIMINARY CHECKS.**

To remove dirt and mud deposited on the painted surfaces, use a low pressure water blast to soak all dirty parts carefully. Wipe off mud and dirt with a soft sponge for bodywork soaked in a lot of water and shampoo (2 ... 4% parts of shampoo in water). Then rinse abundantly with

water and dry with a shammy cloth. To clean the engine outer parts, use degreasing detergent, brushes and cloth

#### NOTE

##### SCOOTER CLEANING TIPS

1. REMOVE ALL OBJECTS FROM INSIDE THE FRONT CASE AND THE HELMET COMPARTMENT; REMOVE MOQUETTE CARPET IN THE HELMET COMPARTMENT;
2. MAKE SURE ALL THE COMPARTMENTS ARE ADEQUATELY CLOSED;
3. WASH ONLY WITH NEUTRAL DETERGENT AND RINSE WITH WATER BUT NOT WITH PRESSURE.

#### CAUTION



REMEMBER TO CLEAN THE SCOOTER CAREFULLY BEFORE ANY POLISHING WITH SILICON WAX. DO NOT POLISH MATT-PAINTED SURFACES WITH POLISHING PASTE. THE SCOOTER SHOULD NEVER BE WASHED IN DIRECT SUNLIGHT, ESPECIALLY DURING SUMMER, WITH THE BODYWORK STILL HOT, AS THE SHAMPOO CAN DAMAGE THE PAINTWORK IF IT DRIES BEFORE BEING RINSED OFF. DO NOT USE LIQUIDS AT TEMPERATURES OVER 40 °C WHEN CLEANING PLASTIC PARTS OF THE SCOOTER. DO NOT DIRECT HIGH PRESSURE WATER OR AIR JETS OR STEAM TO THE FOLLOWING PARTS: WHEEL HUBS, CONTROLS LOCATED ON THE RIGHT OR LEFT SIDE OF THE HANDLEBAR, BEARINGS, BRAKE PUMPS, INSTRUMENTS AND GAUGES, MUFFLER EXHAUST, GLOVEBOX/TOOL KIT, IGNITION SWITCH/STEERING. DO NOT USE ALCOHOL, PETROL OR SOLVENTS TO CLEAN RUBBER AND PLASTIC PARTS. USE ONLY WATER AND NEUTRAL SOAP INSTEAD. DO NOT USE SOLVENTS OR PETROL BY-PRODUCTS (ACETONE, TRICHLOROETHYLENE, TURPENTINE, PETROL, THINNERS) TO CLEAN THE SADDLE. USE INSTEAD DETERGENTS WITH SURFACE ACTIVE AGENTS NOT EXCEEDING 5% (NEUTRAL SOAP, DEGREASING DETERGENTS OR ALCOHOL). DRY THE SADDLE WELL AFTER CLEANING.

#### CAUTION

DO NOT APPLY PROTECTIVE WAX ON THE SADDLE OR IT MAY BECOME SLIPPERY.

## Transport

### NOTE

**BEFORE TRANSPORTING THE SCOOTER, EMPTY THE FUEL TANK WELL AND MAKE SURE IT IS PERFECTLY DRY.**

**WHILE TRANSPORTING THE SCOOTER, IT SHOULD BE AT ALL TIMES VERTICAL AND WELL ANCHORED IN ORDER TO AVOID FUEL, OIL OR COOLANT LEAKS.**

**IN CASE OF FAILURE, DO NOT HAVE THE SCOOTER TOWED. ASK FOR AN ADEQUATE ASSISTANCE.**

### Emptying the fuel tank

### CAUTION



**FIRE HAZARD.**

**WAIT UNTIL THE ENGINE AND THE MUFFLER ARE COLD.**

**FUEL VAPOURS ARE HARMFUL TO HEALTH.**

**BEFORE ANY OPERATION, MAKE SURE THAT THE ROOM WHERE YOU ARE HAS ADEQUATE AIR VENTILATION.**

**DO NOT INHALE FUEL VAPOURS.**

**DO NOT SMOKE OR USE NAKED FLAMES.**

**DO NOT DISPOSE OF FUEL INTO THE ENVIRONMENT.**

- Rest the scooter on its centre stand and on safe and level ground.

- Shut off the engine and wait until it cools off.
- Take a container with a capacity higher than the amount of fuel in the tank and place on the scooter left hand side.
- Remove the fuel tank cap.
- To drain the fuel off the tank use a hand-operated pump or a similar system. Take care not to damage the pump unit (probe checking fuel level in the tank).

**CAUTION**

**AFTER EMPTYING THE TANK, REFIT THE FUEL TANK CAP ADEQUATELY.**



# **ATLANTIC**

## **250 i.e.**



**Chap. 04**  
**Technical data**

**TECHNICAL DATA**

<b>Specification</b>	<b>Desc./Quantity</b>
Max. length	2085 mm
Max. width	785 mm
Max height (to windscreen)	1370 mm
Saddle height	790 mm
Centre to centre distance	1480 mm
Minimum ground clearance	190 mm
Kerb weight (in running order)	170 kg
Variator transmission	Continuous, automatic
Main transmission	V belt
Secondary transmission	Gear reduction unit
Engine/wheel total ratio	short 1:19.30 long 1:6.80
Fuel capacity (reserve included)	9.5 l
Fuel reserve	1.5 l
Engine oil capacity	1300 cm <sup>3</sup>
Gearbox oil capacity	150 cm <sup>3</sup>
Cooling system capacity	1200 cm <sup>3</sup>
Seats	2



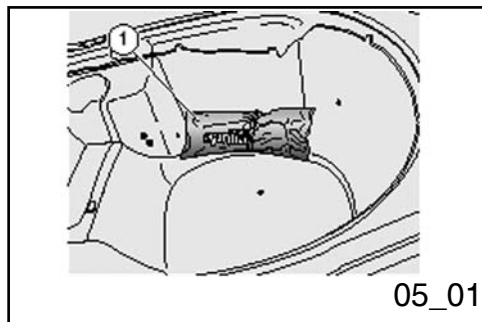
Scooter max load (rider + passenger + luggage)	210 kg (462.910 lb)
Chassis type	Single spar with superimposed double cradle
Steering inclination angle	28°
Front stroke	104 mm
Front suspension	hydraulic telescopic fork
Front suspension (travel)	105 mm
Rear suspension	One hydraulic shock absorber
Rear suspension (travel)	105 mm
Front brake	Ø 240 mm disc brake with hydraulic transmission
Rear brake	Ø 190 mm disc brake with hydraulic transmission combined with front brake
Front wheel rim	E - 13 x 3.00 DOT - D
Rear wheel rim	E - 13 x 3.50 DOT - D
Tyre type	Without inner tube (tubeless)
front tyre	110 /90 -13" 56P
rear tyre	130 /70 -13" 63P
Front tyre standard inflation pressure	200 kPa
Rear tyre standard inflation pressure	220 kPa

Front tyre standard inflation pressure with passenger	220 kPa
Rear tyre standard inflation pressure with passenger	240 kPa
Battery	12V - 12 Ah
Fuses	20- 15- 7.5 A
Generator (permanent magneto)	12V - 235W

### **ENGINE TECHNICAL DATA**

<b>Specification</b>	<b>Desc./Quantity</b>
Engine	M23AM
Engine type	Single-cylinder, 4-stroke, 4 valves, wet sump forced lubrication system, overhead camshaft.
Cylinder quantity	1
overall cylinder capacity	244 cm <sup>3</sup>
Bore stroke	72 x 60 mm
Compression ratio	11.0 ± 0.5 : 1
Ignition	Electric
Clutch	Centrifugal

Transmission	Automatic
Cooling	Fluid (50% water + 50% coolant), forced-circulation system
Valve clearance	Intake 0.10 / Discharge 0.15
Fuel supply	Ø 32 mm throttle body
Fuel	Premium unleaded petrol, minimum octane rating of 95 (NORM) and 85 (NOMM)
Ignition	Capacitive discharge ignition at variable advance
Ignition advance	Variable managed by control unit  4°/idle speed - 15°/4000 -6000 rpm
Spark plug	Standard: NGK - CR8EB Alternatively: CHAMPION RG6YC, CHAMPION RG4HC, NGK - CR7EB, NGK - CR9EB



### Kit equipment (05\_01)

- The tool kit «1» is fixed inside the helmet compartment / glove-box, under the saddle.

To reach it:

- Unlock the saddle.

The tools supplied are:

- twin screwdriver;
- 16 mm box-spanner;
- toolkit pouch.

# **ATLANTIC**

## **250 i.e.**



**Chap. 05**  
**Programmed**  
**maintenance**

## Scheduled maintenance table

### CAUTION



**FIRE HAZARD.**

**FUEL OR ANY OTHER FLAMMABLE SUBSTANCES MUST NOT BE CLOSE TO ELECTRICAL COMPONENTS.**

**BEFORE ANY MAINTENANCE OPERATION OR INSPECTION ON THE VEHICLE, SHUT OFF THE ENGINE AND REMOVE THE KEY. WAIT UNTIL THE ENGINE AND THE EXHAUST SYSTEM ARE COLD, IF POSSIBLE LIFT THE VEHICLE WITH A SPECIFIC TOOL ON A FIRM AND LEVEL GROUND.**

**BEFORE ANY OPERATION, MAKE SURE THAT THE ROOM WHERE YOU ARE HAS ADEQUATE AIR VENTILATION.**

**TO AVOID BURNS PAY SPECIAL CARE WITH HOT ENGINE AND EXHAUST SYSTEM PARTS.**

**DO NOT HOLD ANY MECHANICAL OR OTHER VEHICLE PARTS WITH YOUR MOUTH: VEHICLE COMPONENT ARE NOT EDIBLE, ON THE CONTRARY SOME OF THEM ARE HARMFUL AND EVEN TOXIC.**

### NOTE

**UNLESS OTHERWISE INDICATED, REFIT THE UNIT FOLLOWING THE REMOVAL STEPS BUT IN REVERSE ORDER.**

**WHEN CARRYING OUT MAINTENANCE OPERATIONS, IT IS ADVISABLE TO WEAR LATEX GLOVES.**

In general routine maintenance operations can be carried out by the user; in some cases it is necessary to use specific tools and have some technical knowledge.

If you need assistance or technical advice, consult an Official aprilia Dealer who will provide a precise and quick service.

Ask your Official aprilia Dealer to test the scooter on the road after a repair or a scheduled maintenance operation.

Nonetheless, personally carry out the Preliminary checks after a maintenance operation.

### Periodic maintenance chart

Adequate maintenance is fundamental to ensuring long-lasting, optimum operation and performance of your vehicle.

To this end, aprilia offers a set of checks and maintenance services (at the owner's expense), that are summarised in the table shown on the following page. Any minor fault should be reported without delay to an Official aprilia Dealer without waiting for the next scheduled service to solve it.

Carrying out scheduled services on time is necessary to ensure your warranty remains valid. For any other information concerning Warranty procedures and Scheduled Maintenance, please refer to the Warranty Booklet.

#### **EVERY 2 YEARS**

##### **Action**

Coolant- Check
----------------

Brake fluid - Change
----------------------

#### **EVERY 5000 KM**

##### **Action**

Engine oil - Level check/topping-up
-------------------------------------

---

Brake pad wear - check

---

### **AFTER 1000 KM**

---

#### **Action**

Safety locks - check

Throttle lever - adjustment

Oil filter - replace

Electrical system and battery - check

Coolant level - check

Brake fluid level - check

Engine oil - Change

Brake pad wear - check

Tyre pressure and wear - check up

Vehicle and brake test - test ride

Hub oil - Change

Steering - check up

---

### **AFTER 10,000 KM, 50,000 KM AND 70,000 KM**

---

#### **Action**

Safety locks - check

---



Throttle lever - adjustment
Air filter - cleaning
Air filter in belt compartment - Check
Engine oil filter - Replace
Electrical system and battery - check
Coolant level - check
Brake fluid level - check
Engine oil - Change
Brake pad wear - check
Tyre pressure and wear - check up
Vehicle and brake test - test ride
Hub oil - Check
Suspension - Check
Steering - check up

### **AFTER 15,000 KM, 45,000 KM AND 75,000 KM**

Action
Driving belt - Replacement

**AFTER 20,000 KM, 40,000 KM AND 80,000 KM**

<b>Action</b>	
Spark plug - Replacement	
Throttle lever - adjustment	
Air filter - cleaning	
Air filter in belt compartment - Check	
Engine oil filter - Replace	
Valve clearance - check	
Electrical system and battery - check	
Coolant level - check	
Brake fluid level - check	
Engine oil - Change	
Brake pad wear - check	
Sliding block/ variable speed rollers - Replacement	
Tyre pressure and wear - check up	
Vehicle and brake test - test ride	
Hub oil - Change	
Suspension - Check	
Steering - check up	

**AFTER 30,000 KM**

Action
Safety locks - check
Driving belt - Replacement
Throttle lever - adjustment
Air filter - cleaning
Air filter in belt compartment - Check
Engine oil filter - Replace
Electrical system and battery - check
Coolant level - check
Brake fluid level - check
Engine oil - Change
Brake pad wear - check
Sliding block/ variable speed rollers - Replacement
Tyre pressure and wear - check up
Vehicle and brake test - test ride
Hub oil - Check
Suspension - Check
Steering - check up

**AFTER 60,000 KM**

Action
Spark plug - Replacement
Driving belt - Replacement
Throttle lever - adjustment
Air filter - cleaning
Air filter in belt compartment - Check
Engine oil filter - Replace
Valve clearance - check
Electrical system and battery - check
Coolant level - check
Brake fluid level - check
Engine oil - Change
Brake pad wear - check
Sliding block/ variable speed rollers - Replacement
Tyre pressure and wear - check up
Vehicle and brake test - test ride
Hub oil - Change
Suspension - Check
Steering - check up

**RECOMMENDED PRODUCTS TABLE**

<b>Product</b>	<b>Description</b>	<b>Specifications</b>
AGIP CITY HI TEC 4T	Engine oil	API SL, ACEA A3, JASO MA
AGIP GEAR SYNTH SAE 75W-90	Transmission oil	API GL4, GL5
AGIP FORK 5W or FORK 20W	Fork oil	-
AGIP GREASE SM2	Lithium grease with molybdenum for bearings and other points needing lubrication	NLGI 2
AGIP BRAKE FLUID DOT 4	Brake fluid	FMVSS DOT4+
AGIP PERMANENT PLUS	Coolant	CUNA NC 956-16



## THE VALUE OF SERVICE

Thanks to continuous technical updates and specific training programs on aprilia products, only **aprilia Official Network** mechanics know this vehicle fully and have the special tools necessary to carry out maintenance and repair operations correctly.

The reliability of the vehicle also depends on its mechanical conditions. Checking the vehicle before riding it, its regular maintenance and the use of **Original aprilia Spare Parts** only are essential factors!

For information about the nearest **Official Dealer and/or Service Centre**, consult the Yellow Pages or search directly on the inset map in our Official Website:

**[www.aprilia.com](http://www.aprilia.com)**

Only aprilia Original Spare Parts ensure products already studied and tested during the vehicle design stage. All aprilia Original Spare Parts undergo quality control procedures to guarantee full reliability and duration.

The descriptions and illustrations given in this publication are not binding; While the basic characteristics as described and illustrated in this manual remain unchanged, aprilia reserves the right, at any time and without being required to update this publication beforehand, to make any changes to components, parts or accessories, which it considers necessary to improve the product or which are required for manufacturing or construction reasons.

Not all versions shown in this publication are available in all Countries. The availability of individual versions should be confirmed with the official aprilia sales network.

© Copyright 2006- aprilia. All rights reserved. Reproduction of this publication in whole or in part is prohibited. aprilia - After sales service.

aprilia trademark is property of Piaggio & C. S.p.A.